

# 緑の募金

## 事業報告集

平成29年度

大切な森を、これからも元気に保っていくためには、育った木を上手に使って、森を若返りさせていくことが必要です。  
健全な森を次の世代へ・・・。  
みんなの思いを、緑の募金でつなぎましょう。

「植える」  
緑化から  
「使う」  
緑化へ



「緑の募金」は、地球温暖化防止をはじめとした課題に向けて、国内外の森林の整備や森林ボランティアの育成などに大切に活用されています。

公益社団法人 国土緑化推進機構

# 緑の募金 事業報告集

平成 29 年度

公益社団法人 国土緑化推進機構



## はじめに

自然災害が多発する傾向にあり、健全な森林を育成することが益々重要な課題となっています。

緑の募金事業は、「緑の募金法」に基づき、国内・海外における「国民参加の森林づくり」を進めるものであり、森林ボランティア団体等が行う森林整備、緑化推進、国際協力の活動を支援するものです。

平成28年度事業においては、

- ① 地球温暖化防止や水源涵養等に資する森林の整備
- ② 東日本大震災被災地、熊本地震被災地の復興のための海岸林の再生、被災地域の学校緑化
- ③ 地域のシンボルとなる森林づくり
- ④ 災害跡地の復旧や災害に強い森林づくり
- ⑤ 竹林の整備
- ⑥ 砂漠化の防止や住民生活の向上に資する植林、マングローブ林の造成

等の事業を支援しました。

本報告集は、緑の募金の社会的意義、役割に鑑み、緑の募金事業の実行結果について、募金者をはじめ、広く一般市民、企業・団体等の方々にも知って頂くためのものです。

本報告集によって、国民の皆さまの「緑の募金」への一層の理解と更なるご支援・ご協力の輪が広がるとともに、豊かな森林を次の世代に引き継いでいくための活動の一助になれば幸いです。



緑の募金

公益社団法人 国土緑化推進機構

# 目次

(注) 1. 本報告集に掲載した事業は、平成 28 年 7 月から平成 29 年 6 月までに事業決定・承認した直接事業及び公募事業である。

2. 最左欄は交付決定番号、( ) 地名は事業実施都道府県等である。

3. 交付決定番号の区分の説明

SC 直接事業(森林整備)／東震 SC 東日本大震災復興事業(森林整備)／S 公募事業(森林整備)／災 S 公募事業(災害に強い森林づくり事業：森林整備)

RC 直接事業(緑化推進)／東震 RC 東日本大震災復興事業(緑化推進)／熊震 RC 熊本地震復興事業(緑化推進)／R 公募事業(緑化推進)／災 R 公募事業(災害に強い森林づくり事業：緑化推進)／ふ R 公募事業(ふるさとの森林再生事業)

KC 直接事業(国際協力)／K 公募事業(国際協力)

## 森林の整備

28SC-01	緑のボランティアの森記念造成事業「フォレスト21さがみの森」(神奈川)……………	10
28SC-02	「キリン千歳水源の森」整備の森づくり(北海道)……………	10
28SC-03	岡山水源の森整備事業(岡山)……………	11
28SC-04	地球温暖化防止のための北海道の森づくり事業(北海道)……………	11
28SC-05	原村あゆみの森整備事業(長野)……………	12
28SC-06	アドプト フォレスト仏並エネオスの森づくり活動(大阪)……………	12
28SC-07	玖珠町ふれあいの森づくり事業(大分)……………	13
28SC-08	日本リスの森整備事業(岡山)……………	13
28SC-09	湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業(神奈川)……………	14
28SC-10	栗原市のジオパーク崩壊跡地の植生復元事業(宮城)……………	14
28SC-11	積水化学・水源の森づくり事業(北海道)……………	15
28SC-12	「積水化学の森・木津川」生物多様性保全の森づくり(京都)……………	15
28SC-13	「積水化学の森・うきは」生物多様性保全の森づくり(福岡)……………	16
28SC-14	山の日記念・減災の森づくりに向けた、全国協働による苗木づくり事業(宮城)……………	16
28SC-15	いのちの森づくり植樹祭IN 奥沢水源地 VOL.4(北海道)……………	17
28SC-16	緑のESDの森づくり事業(宮城)……………	17
28SC-17	「赤西溪谷・水源の森」保全事業(兵庫)……………	18
28SC-18	日本の緑化の原点を守る森普請プロジェクト(茨城)……………	18
28SC-19	富士山緑の募金の森造成事業(静岡)……………	19
28SC-20	水源地保全活動(茨城)……………	19
28SC-21	いのちを守る森づくり植樹祭 in 時ノ寿(静岡)……………	20
28SC-22	学校教育環境向上のための緑化事業(魚津市清流小学校)(富山)……………	20
28SC-23	筑波山森育ワークショップ (苗作り、植樹、伐倒見学、木彫り体験から木の循環を学ぶ)(茨城)……………	21
28SC-24	海の森育樹プロジェクト(東京)……………	21
28SC-25	「みたけ木曾川水源の森づくり」活動(岐阜)……………	22
28SC-26	学校教育環境向上のための緑化事業(まんのう町立長炭小学校)(香川)……………	22
28SC-27	学校教育環境向上のための緑化事業(まんのう町立満濃南小学校)(香川)……………	23
28SC-28	和木町協働の森づくり事業(山口)……………	23
28SC-29	さいたまの森林づくり支援事業(埼玉)……………	24
28SC-30	奈良県吉野山の森づくり事業(奈良)……………	24
28SC-31	木曾川・やおつ水源の森づくり活動(岐阜)……………	25
28SC-32	地域と製紙会社、自治体との協働、地域就業を創出するモデル事例化づくり(鹿児島)……………	25
28SC-33	多摩動物公園 豊かな里山の森づくり(東京)……………	26
28東震SC-01	浦安絆の森整備事業(千葉)……………	26
28東震SC-02	旭復興事業2016(千葉)……………	27
28東震SC-03	山武市制施行10周年復興植樹祭(千葉)……………	27

28東震SC-04	3.11復活の森づくり～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業（千葉）	28
28東震SC-05	「岩沼潮除須賀松の森」植樹事業（宮城）	28
28東震SC-06	松川浦海岸防災林（相馬市大洲国有林）植樹事業（福島）	29
28S-01	森と街を繋ぐ森の循環プロジェクト（北海道）	29
28S-02	札幌市澄川環境林に於ける外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業（北海道）	30
28S-03	ふらの森と人づくり事業（北海道）	30
28S-04	活樹祭 in 新郷村（青森）	31
28S-05	森林の整備（森の回復事業）（宮城）	31
28S-06	里山整備事業と子どもの里山体験活動（茨城）	32
28S-07	茨城県県民の森「スギ採種園の跡地」及び他フィールドの森林整備活動（茨城）	32
28S-08	地域の子供たちを森へ誘う事業（埼玉）	33
28S-09	東日本大震災復興支援緑化木苗育苗（千葉、宮城）	33
28S-10	「玉原高原ブナ林の復元を目指したボランティアによる森林整備」事業（群馬）	34
28S-11	長野県北信地域森林整備活動（長野）	34
28S-12	アースデイのちの森（東京、滋賀、茨城、宮城）	35
28S-13	広葉樹林帯における「自伐型林業」の森林整備と新たな流通開拓プロジェクト（全国）	35
28S-14	森林ボランティアの森林再生活動（植栽・下刈・間伐など）による健全な森づくり事業（千葉）	36
28S-15	住居周りの緑の環境改善および森の緑の再生（災害に強い）事業（東京）	36
28S-16	富士山休養林の森林整備（静岡）	37
28S-17	里山保全ボランティアの若手現場リーダー育成研修（神奈川）	37
28S-18	水源林の保全・整備と森林の多目的利用の推進（神奈川）	38
28S-19	山からの間伐材を活用した町の公園整備（栃木、東京、群馬）	38
28S-20	南高尾風景林の整備活動と森林体験スクール事業（東京）	39
28S-21	森林公園生物多様性復元事業（石川）	39
28S-22	京都とかわだを結ぶ未来への森づくりプロジェクト（福井）	40
28S-23	昆虫の住める森づくり（山梨）	40
28S-24	森林イノベーション～住民参加の自伐林業でヤマ（森林）から地域を復活させる。（長野）	41
28S-25	沼津市千本浜クロマツ林を主体とした樹勢調査及び樹勢回復（静岡）	41
28S-26	水源地支援間伐作業（愛知）	42
28S-27	森林整備による地域貢献プロジェクト（静岡、愛知）	42
28S-28	森の健康診断全国出前事業（全国）	43
28S-29	緑の森公園づくりと斎王竹利道里山整備保全（三重）	43
28S-30	森林施業・林業生産等の体験と森林整備（京都）	44
28S-31	下ノ加江川水系の森里川海のつながり再生プロジェクト（高知）	44
28S-32	里山保全振興活動（熊本）	45
28災S-01	金華山の倒木・流木整備事業（宮城）	45
28災S-02	三宅島復興森林づくり交流事業（東京）	46
28災S-03	緑の遺産「胎内」災害に強い森づくり（新潟）	46
28災S-04	国民参加による災害強い森づくり事業（新潟）	47
28災S-05	山村と都市住民の交流・協働による 海岸防災林やスキー場跡地等の森林整備事業（千葉、長野）	47
28災S-06	「銀林の恵み森活プロジェクト」で山林災害を無くそう！事業（島根）	48
28災S-07	みやぎ山元地区海岸防災林再生活動（宮城）	48
28災S-08	宮城県名取市「海岸林再生プロジェクト10か年計画」（宮城）	49
28災S-09	上下流連携による継続可能な循環型森づくり事業（群馬）	49
28災S-10	山村住民と中京圏・都市住民との協働による森林ボランティア活動（岐阜）	50
28災S-11	徳島県那賀町木沢 森林整備事業（徳島）	50
28災S-12	永続的な森林整備で豊かな森と災害に強い森を目指す収入を得る森業（高知）	51

## 緑化の推進

28RC-01	獅子吼 森のふれあい音楽会（石川）	54
---------	-------------------	----

28RC-02	エコキャンプ2016（岡山）	54
28RC-03	日豪環境ボランティアプログラム2017 in松代 ー森林保全で蘇る、里山の暮らしー（新潟）	55
28RC-04	げんきの森づくりと森の学習活動（北海道）	55
28RC-05	みんなでつくる・未来へつなげる森と水辺の里山づくり事業（北海道）	56
28RC-06	新たな市民協働の森づくり（北海道）	56
28RC-07	こどもからお年寄りまで元気になる森づくり事業（北海道）	57
28RC-08	地域の暮らしに根づいた「フォークロアの森づくり」の推進（新潟、千葉、愛知、福岡）	57
28東震RC-01	震災地域における学校教育環境向上のための 緑化事業（壬生町立壬生北小学校学校林）（栃木）	58
28東震RC-02	震災地域における学校教育環境の向上のための 緑化事業等（松島町立松島第五小学校）（宮城）	58
28東震RC-03	震災地域の学校教育環境向上のための緑化事業（白子町立白瀧小学校）（千葉）	59
28東震RC-04	震災地域における学校教育環境向上のための緑化事業（南相馬市立大甕小学校）（福島）	59
28東震RC-05	東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！ Project-D（岩手、宮城、福島）	60
28東震RC-06	「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業（米川地区）（宮城）	60
28東震RC-07	第五次緑と木を通じた子供たちのふれあい事業（青森）	61
28東震RC-08	震災地域における学校教育環境の向上のための 緑化事業等（陸前高田市米崎小学校）（岩手）	61
28熊震RC-01	間伐材等の組立て仕器（組手仕）を用いた熊本地震復興支援事業（熊本）	62
28熊震RC-02	緑の絆づくりプロジェクト（熊本）	62
28熊震RC-03	間伐材等の組立て仕器（組手仕）を用いた熊本地震復興支援事業（熊本）	63
28熊震RC-04	熊本地震復興支援事業（学校等緑化推進）（熊本）	63
28熊震RC-05	熊本地震復興支援事業（学校等木製品提供）（熊本）	64
28熊震RC-06	熊本地震復興支援事業（仮設住宅団地等緑化推進）（熊本）	64
28熊震RC-07	熊本地震復興支援事業（仮設団地等木製品提供）（熊本）	65
28熊震RC-08	木育拠点を通じた森づくりによる共存共生の復興モデルづくり（熊本）	65
28熊震RC-09	熊本地震被災地支援「仮設住宅×緑のカーテン」プロジェクト（熊本）	66
28熊震RC-10	熊本市等応急仮設住宅及びみんなの家グリーンカーテン設置事業（熊本）	66
28熊震RC-11	益城町等応急仮設住宅及びみんなの家グリーンカーテン設置事業（熊本）	67
28R-01	森と緑と湖のマチ、そららの森づくりプロジェクト事業（北海道）	67
28R-02	八幡山桜（はな）の森整備事業「新・深緑の森」整備事業（山形）	68
28R-04	宇宙から見える森づくりの一步（福島）	68
28R-05	どんぐりの木植樹会（茨城）	69
28R-06	渡良瀬川源流の荒廃地緑化事業（栃木）	69
28R-07	沖縄県国頭村“やんばるやんわり”プロジェクト（沖縄）	70
28R-08	25年後を見据えた青少年森林ボランティア養成活動（東京）	70
28R-09	次世代につなぐ里山づくり（福井）	71
28R-10	日本百名山 荒島岳カドハラ桜坂建設（福井）	71
28R-11	コミュニティ・フォレスト活動及び富士山麓の自然現地調査実施（静岡）	72
28R-12	猿投山北西山麓斜面の環境林整備（愛知）	72
28R-13	豊かな自然の復元を願って（兵庫）	73
28R-14	国民の祝日「山の日」記念植樹祭（広島）	73
28R-15	「永遠（とわ）の森」づくり（奈良）	74
28R-16	香川県満濃池森林公園「みんなの森」整備事業（香川）	74
28災R-01	住民参加による災害被害林の森林再生事業（北海道）	75
28災R-02	苗木2016本プロジェクトforいわき（福島）	75
28災R-03	平成28年度斐伊川流域荒廃林等再生整備住民交流会（島根）	76
28災R-04	三宅島復興支援緑化再生プロジェクト（東京）	76
28災R-05	A-WASS循環と共生の森づくりinときがわ（埼玉）	77
28災R-07	グリーンベイOSAKA（大阪）	77
28災R-08	蘇る熊野の森・大日山プロジェクト2016（5番区）（和歌山）	78

28災R-09	「地球に緑を 桜島を緑に」 どんぐり照葉樹の森づくり第16回桜島どんぐりころころ植樹祭（鹿児島）	78
28災R-10	大浦干拓防風林保全事業（鹿児島）	79
28ふR-01	「百年かけて百年前の自然の浜を」お魚殖やす植樹運動促進事業（北海道）	79
28ふR-02	小鳥のさえずりが聞こえる河畔林づくり事業（北海道）	80
28ふR-03	サケの上る森づくり記念植樹祭事業（北海道）	80
28ふR-04	下田公園湿性花園間伐事業（青森）	81
28ふR-05	「下関のエゾエノキ」樹勢回復事業（岩手）	81
28ふR-06	希望と期待と試練のみどり道整備事業（宮城）	82
28ふR-07	気仙沼波路上地区の緑化による生活環境改善事業（宮城）	82
28ふR-08	西長野古米沢の森林再生事業（秋田）	83
28ふR-09	癒しの森づくり（山形）	83
28ふR-10	健康の森ブナ林整備事業（山形）	84
28ふR-11	川内ふるさと触れあいの森づくり（福島）	84
28ふR-12	外大野しだれ桜樹勢回復と周辺森林整備事業（茨城）	85
28ふR-13	佐久の大スギ樹勢回復と周辺環境整備事業（茨城）	85
28ふR-14	百年生美林散策と関東ツツジ山復活を目指す事業（栃木）	86
28ふR-15	ふるさとの桜山救助活動（群馬）	86
28ふR-16	睦沢町ひと・もり・さと再生事業（千葉）	87
28ふR-17	桜の弘法山、森林再生事業（神奈川）	87
28ふR-18	六国見山森林公園の里山再生プロジェクト（神奈川）	88
28ふR-19	慈光寺のスギ並木樹勢回復事業（新潟）	88
28ふR-20	阿賀町中ノ沢地区天然スギ巨木の森整備事業（新潟）	89
28ふR-21	カタクリと動物たちの森づくり（福井）	89
28ふR-22	越前おおの・九頭竜花桃回廊（福井）	90
28ふR-23	岩窪のヤツブサウメ樹勢回復事業（山梨）	90
28ふR-24	小那比地域環境保全活動（岐阜）	91
28ふR-25	彦谷の里 里山保存継承事業（岐阜）	91
28ふR-26	学校のシンボル「メタセコイヤ」の樹勢回復（愛知）	92
28ふR-27	小面積皆伐による里山再生モデル事業（三重）	92
28ふR-28	正法寺のフジ樹勢回復事業（滋賀）	93
28ふR-29	地域とともに育む鎮守の森（大阪）	93
28ふR-30	ふるさとの森林再生事業（兵庫）	94
28ふR-31	境港市竹内西緑地マツ林復元・整備事業（鳥取）	94
28ふR-32	国指定天然記念物「玉若酢命神社の八百スギ」再生事業（島根）	95
28ふR-33	緑の景観事業による里山再生（山口）	95
28ふR-34	「国指定名勝 毛利氏庭園」サクラ保全保護活動（山口）	96
28ふR-35	みんなの高森山 花咲かそうプロジェクト（高知）	96
28ふR-36	岡垣町（一丁溜池周辺地区）の放置竹林伐採・植樹プロジェクト事業（福岡）	97
28ふR-37	大園地区 椋の木保存整備事業（熊本）	97
28ふR-39	一本松ふれあいの森林（もり）づくり（宮崎）	98
28ふR-40	高座神社の杜再生事業（鹿児島）	98

## 国際協力

28KC-01	地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業（マリ）	100
28KC-02	日本ーラオス友好の森展示林造成事業（ラオス）	100
28KC-03	カンボジア国クラチェ州における生物多様性の保全を目指した植林事業（カンボジア）	101
28KC-04	平成28年度 緑の国際ボランティア研修（カンボジア国）（カンボジア）	101
28KC-05	地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業（中国）	102
28KC-07	インドネシア 森林と水保全のための学校地域連携プロジェクト（インドネシア）	102
28KC-08	ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための 寒帯林保全及び荒廃造林事業（ロシア）	103



28KC-09	モンゴル森林火災被災地再生事業（モンゴル）	103
28K-01	モンゴルにおける北方型生活環境保全林の造成事業（モンゴル）	104
28K-02	泰安県日中友好経済型生態造林プロジェクト（中国）	104
28K-03	苗木生産・供給をベースとした住民主体の コミュニティ完結型緑化事業（継続）（エチオピア）	105
28K-04	小学校周辺の防風、防寒を目的とした植林事業（エクアドル）	105
28K-05	インドネシア北マルク州南モロタイ県ダルバ郡における ボンガミアの植林事業（インドネシア）	106
28K-06	セレゲレン苗木生産センターにおける 育苗及び砂漠化防止のための植林普及事業（モンゴル）	106
28K-07	パレスチナ自治区ナブルス県における耕作放棄地へのオリーブの植樹事業（パレスチナ）	107
28K-08	ジャカルタ湾岸マングローブ林再生プロジェクト（インドネシア）	107
28K-09	カンボジア国モンドルキリ州の里山再生を目指した緑化推進事業（カンボジア）	108
28K-10	モンゴル・ウランバートル市学校緑化モデル事業（モンゴル）	108
28K-11	カンボジア世界遺産ブレアピビア周辺地区での植林活動（カンボジア）	109
28K-12	マダガスカル、アンジアマングラナ監視森林とその周辺地域での植林（マダガスカル）	109
28K-13	タイ北部チェンライ県森林再生プロジェクト（タイ）	110
28K-14	第2期モンゴル国セレンゲ県における人材育成を伴う 村民参加型生態混交林再生事業（モンゴル）	110
28K-15	ガーナ植林・日本式炭焼普及プロジェクト（ガーナ）	111
28K-16	インドネシア・東スンバ県における環境保全および 住民の所得向上のための植林事業（インドネシア）	111
28K-17	バングラデシュ国モヘシュカリ島ドルガタ地区におけるサイクロンシェルター型学校区 などでの生態系アプローチに沿った住民参加型植林（バングラデシュ）	112
28K-18	中国内モンゴル自治区錫林郭勒盟正蘭旗鳥日図巡査フィサンダクー沙地地域における 沙丘からの流沙防止のための植林（中国）	112
28K-19	ヒマラヤ山麓伐採荒地に 「笑顔はじける環境を子供たちへ！未来の緑の森づくり」（ネパール）	113
28K-20	ブルキナファソ国コングシ郡におけるバム湖周辺地区での生活改善のための 植林プロジェクト（ブルキナファソ）	113
28K-21	ネパール・カブレバランチョク郡バネバ市における住民参加型の 植林活動を通じた都市緑化（ネパール）	114
28K-22	インドネシア 中央カリマンタンの森林火災で消失した森林を再生するための 植樹事業（インドネシア）	114
28K-23	モンゴル国DRHADYN盆地ツァガンノール村の植林と中央ゴビ県の 森林公園造成支援（モンゴル）	115
28K-24	岐阜県と江西省との友好を未来へつなぐ森林づくり事業（中国）	115
28K-25	タジキスタン国における森林および草地生態系保全のための植林（タジキスタン）	116
28K-26	フィリピン西ネグロス州における少数民族の組織化と 水源の森再生活動（第3年次）（フィリピン）	116
28K-27	マダガスカル北部の山岳地帯の土砂流失防止のための 植林による整備事業（マダガスカル）	117
28K-28	ブラジル国パラ州トメアス郡におけるアグロフォレストリーを活用した 水源涵養植林事業（ブラジル）	117
28K-29	世界遺産の棚田を守るための植林事業「NIWAKAT PUNTANUMAN（小規模多地域植林法）」 ～2年目は観光客と一緒に木を植え続けるために～（フィリピン）	118
28K-30	ケニア半乾燥地の世帯を対象にしたMelia Volkensii（現地名：ムカウ） 普及による緑化推進事業（ケニア）	118
28K-31	タイ北部山岳地域 ホイドウア村の森林再生と農村開発（タイ）	119
28K-32	徳島烏雲の森植林事業（中国）	119
28K-33	ミャンマー連邦共和国シャン州（南部）シャン地域における アグロフォレストリーモデル化事業（ミャンマー）	120
平成28年度	中央事業実施状況一覧	121

---

# 森林の整備

---

## 緑のボランティアの森記念造成事業 「フォレスト21 さがみの森」

### フォレスト21 さがみの森連絡協議会

東京都文京区本郷

#### ●事業概要

神奈川県相模原市にある仙洞寺山国有林内約19haをフィールドに、国民参加のモデルフォレストづくりを一層推進するために、下記活動を行う。

- ① 環境や資源の持続性に配慮した森林造成活動。
- ② 地域・企業・学校などと連携し、自然とのふれあいを通して学ぶ森林環境教育。
- ③ 森づくりの知識・技術のスキルアップ。
- ④ 森林環境のなかで心身をリフレッシュできる活動などを推進し、「森と人」「人と人」のきずなを再構築する。

#### ●事業成果

2014年度より体験間伐を続けたことで、間伐材の活用や伐倒技術に関心をもつ参加者が増加した。また間伐エリアの拡大のため、作業道整備・補修も同時期に進め、材の搬出路としても活用できる部分が増えた。

また、ヒノキ植林エリアには一定の光が入るようになった。また、20周年記念イベントには20人が参加し、今後の提案や希望を聞くことができた。

#### ●自己評価

体験間伐を定期的に行う形で積極的に進めているが、一部エリアでは未だ樹冠密度が高く、林床に光が届いていないため、引き続き間伐作業を継続していく必要がある。安全性を考慮した伐倒の研修も計画している。獣害への普及啓発と関連付けたヤマビル被害対策活動を計画したい。

#### ●参加者の声

- ・ボランティア講座で教えてもらったことを実践できた。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	枝打ち・除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.6ha	1.1ha	1.3ha	136	98	234
実施場所：神奈川県相模原市					



間伐実習

## 「キリン千歳水源の森」整備の森づくり

### 北海道林業技士会

札幌市中央区北4条

#### ●事業概要

アカエゾマツ人工林の枝打ち、除伐等の森林整備活動と近隣の国有林天然性林において自然のダイナミックな推移、生物多様性について勉強する森林観察を行った。なお、活動は、主に一般市民、ボーイスカウトなどが中心となって実施された。なお、周辺の子植物図鑑と上流域の森林がたどった歴史をまとめた資料を作成し、故郷を知るきっかけを作り、森林・林業の普及啓蒙活動を実施した。

また、昼食時には子どもたちに葉っぱのシールづくり、コースターづくりを指導した。

#### ●事業成果

アカエゾマツ人工林の枝打ちと除伐体験には、主に、一般市民とボーイスカウト、ガールスカウトが参加した。ノコギリを初めて使う子どももいて、当会ガイドから使い方を教えてもらいながら真剣に取り組み、時間が来てもやめないで頑張る子どもも多く、除伐体験に満足していた。

午後、国有林天然林における森林観察は、初めて見るクロエゾマツの推定300年を超える大木と倒木更新の様子、その他ミズナラ、カエデ類の広葉樹と林床の天然更新など本物の自然にふれ感動していた。葉っぱのシールづくりやコースターづくりは楽しい思い出となったようである。

#### ●自己評価

地球環境をめぐる環境問題や森林林業の大切や重要性について普及啓蒙の効果があつた。

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
枝打ち	道内
0.2ha	91人
樹種：アカエゾマツ	
実施場所：北海道千歳市	



枝打ちに取り組む子どもたち

## 岡山水源の森整備事業

### グリーンOB会

岡山県津山市福田

#### ●事業概要

マツカイ虫の被害により穴のあいた場所に広葉樹の植栽。残っている有用広葉樹を守るための除伐・ツル切り・管理道の整備を、企業及び市民ボランティアの参加を得て、保水機能を高めるとともに生物多様性の森林づくりを行う。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成19～28年)

初年度、作業道刈払、伐採から地拵植付下刈と企業ボランティア参加を得て実施し、翌年度からは、作業道刈払、下刈と実施。ボランティア参加者と順調に生育した植栽木を眺めながら、心地よい汗を流した。ここ数年企業ボランティアの参加がなく、下刈などの管理保全実施。

##### ②今年度新たに得られた成果等

管理保全業務実施のみだった。

#### ●自己評価

植栽木の成長は良好、今後は、下枝払い、ツル切りも実施したい。

#### 実績とりまとめ表

作業内容
下刈面積
0.36ha
実施場所：岡山県美咲町



広葉樹林を整備

## 地球温暖化防止のための 北海道の森づくり事業

### 北海道林業技士会

札幌市中央区北4条

#### ●事業概要

千歳蘭越国有林にある法人の森をフィールドに、エネオス社員等とその家族の参加により、森林散策と広葉樹二次林における天然林除伐、及び広葉樹植栽地の下刈り作業と一部補植(アカエゾマツ)作業を実施する予定であったが、森林観察後雨となり、各作業は中止した。

#### ●事業成果

当日の大会が作成した資料にもとづく森の観察は、森林・林業の普及啓蒙に成果があったものとする。

#### ●自己評価

- ①平成17年から風倒木跡地にトドマツを植栽した林分はその後、約10年の歳月が経過する中で、良好に生育し難い状況にあり、逆にミズナラやハリギリなど広葉樹の旺盛な天然更新が見られるようになってきているので、今後は広葉樹育成天然林に誘導していくことが良いと考えている。作業開始前、参加者に対し、当会会長からこれまでの実行経過と特にトドマツ植栽地を広葉樹育成天然林に誘導することと大自然の営みについて説明し、森林林業の啓蒙を実践することができた。
- ②昨年、天然性林の除伐を実行した場所に、森を手入(除伐実行)することによってどのように変化するのかモニタリングの箇所を設定した。今回の観察会でも当会ガイドにより、モニタリング箇所に多くの天然更新樹種が成長していることを参加者に説明を行った。森の活性化が地球温暖化の防止や生物多様性の保持に如何に貢献するのかについて知る格好の普及啓蒙活動であった。

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
下刈面積	道内
0.21ha	77人
実施場所：北海道千歳市(蘭越国有林)	



森林観察

## 原村あゆみの森整備事業

### 原村あゆみの森実行委員会

長野県茅野市宮川

#### ●事業概要

村有林及び学校林を、ENEOS社員などボランティアの参加により、下刈り、枝打ち除伐、外来植物の駆除などの森林整備活動を行う事業である。主な活動は、次のとおり。

- ①刈払い機やチェーンソーなどの作業機械に触れ、森林整備の意義を確認する。
- ②学校林と村有林の枝打ちや除伐を実施する。
- ③長野県林業女性グループと森林環境教育を実施する。

#### ●事業成果

村有林の森林整備を実施することにより、藪や灌木で密林していた山林が綺麗に開け、遊歩道整備や枝打ちにも係わり、景観的にも心理的にも満足できる達成感を得られた。

林内整備体験をすることで、自然環境の保全、自然を大切にすることを育んでいくこともできた。

長野県林業女性グループと交流する中で、森林に触れ合う機会をつくり、身近に感じる事ができた。参加者の親子連れを中心に森林教室を開催し、森林分野に関心・興味を持たせ森林学習を行うことができた。

#### ●自己評価

本年度は、計画以上に作業効率が上がった。初心者や子ども連れのグループには難しい作業であったが、指導者を増やすことで、安全面に対する対策ができた。

今後も、安全性を高め、伐採技術を有するボランティア団体との連携を密にし、十分な経過観察と保育のための体制整備や、環境教育に力を入れる必要がある。

#### ●参加者の声

また参加したい。除伐した場所が綺麗になった。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.9ha	1.5ha	55人	245人	300人
実施場所：長野県原村				



歩道整備

## アドプト フォレスト 仏並エネオスの森づくり活動

### いずみの森の会

大阪府堺市南区庭代台

#### ●事業概要

目的は、所有者の高齢化から手入れ不足となっている私有林の森林整備であり、主たる活動は、エネオス社員との共同作業による、①人工林の枝打ち・間伐、②雑木林の林内整備、③子どもたちへの森林体験である。

#### ●事業成果

- ①昨年度までの成果等（平成24年度～27年度）

人工林の主要部は概ね3割程度間伐され、下層の雑木も少なくなり風通し・見通しの良い林となった。また、林内の階段など通路も一部を残してほぼ完成した。

- ②今年度新たに得られた成果

今年度は本活動の最終年度であり、最後に残った雑木林の林内整備と10年生のヒノキの枝打ちを主体に、少し残った人工林の間伐を行い、無事怪我もなく終了した。

#### ●自己評価

- ・共同作業時は一回あたり100人程度に達し、安全面での苦労があった。
- ・子どもを含めた家族の参加も多く、多彩なメニューで対応した。
- ・急峻な地区は主として当会会員で対応したため、迅速かつ安全に作業を終えることができた。

#### ●参加者の声

- ・クラフトで素敵なステンドグラスを作れ、子どもと一緒に楽しめました。
- ・指導員の方が休憩をしっかりと取ってくれて、安全に作業ができた。（新入社員）

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
下刈面積	除伐面積	間伐面積	府内	計
0.1ha	0.37ha	0.2ha	274人	274人
実施場所：大阪府和泉市仏並町				



間伐

## 玖珠町ふれあいの森づくり事業

### 玖珠郡森林組合

大分県玖珠郡玖珠町

#### ●事業概要

多くの町民ならびに企業ボランティア参加を募り、大分県玖珠地域の里山に生物多様性に富む豊かな生態系と美しい景観を創出し、人と森との共生する文化の創造に資する。

#### ●事業成果

3回の作業に334人の参加があり、植樹、下刈り、ほだ木起こし、駒打、花壇整備、木工工作などを行った。参加者は、人とのふれあいを持ち自然の優しさ、厳しさを感じながら山での作業に良い汗をかき生々とした表情だった。

#### ●自己評価

3回の計画が、ほぼ達成できた。反省点は雨天時の屋内作業を考えたい。今後の取り組みとして、数年後フィールドの変更を考えているので今までに実践してない作業を実施したい。

#### ●参加者の声

・下刈りは、初め不慣れな鎌を使うことに戸惑いがあったが、徐々に慣れていき、参加者全員で力を合わせて下刈りを終えた時は、とても気持ちが良かった。JXグループの行動指針の一つに「地球環境との調和」があるが、森林保全活動に参加することで、そのことを実感できる一日になった。(女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.3ha	300本	1.5ha	334人	334人
実施場所：大分県玖珠町				



下刈り

## 日本リスの森整備事業

### グリーンOB会

岡山県津山市福田

#### ●事業概要

美作の森を豊かな生態系と美しい景観を有する森林に誘導するための植付、下刈、ツル切り、ベンチ作り、遊歩道作設等の森林作業を行う。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成17～28年)

初年度、歩道昨設、伐採から地拵植付下刈と企業ボランティア参加を得て実施し、翌年度からは、歩道刈払、下刈と枯れたマツ伐採を実施。ボランティア参加者と心地よい汗を流した。

ここ数年企業ボランティアの参加がなく、下刈などの管理保全実施。

##### ②今年度新たに得られた成果等

管理保全業務実施のみだった。

#### ●自己評価

保全管理センター。植栽木の成長は、周囲の樹木の繁茂によりあまり良くない。

#### 実績とりまとめ表

作業内容
下刈面積
0.04ha
実施場所：岡山県美咲町



広葉樹林の下刈りほかを実施

## 湯河原で進める 企業の森づくり体験活動事業

### (公財) かながわトラストみどり財団

横浜市西区岡野

#### ●事業概要

湯河原町の協力を得て進める企業の森は、下流には町の浄水場があり重要な水源林である。そのため、水源林として下層植生の豊かな水源涵養機能の高い森林づくりを目指すとともに、生物多様性など森林の様々な働きへの理解深める体験活動を行うものである。主な活動は、間伐、除伐、植栽、下刈り、水源整備、自然観察会を行い、新たな活動としてシイタケの駒打ちを行った。

#### ●事業成果

間伐、除伐（アオキなど）作業によりヒノキの人工林内が明るくなり下層植生の生育環境が改善されるとともに、植栽及び下刈り作業により、参加者が長期的な森林づくりを体験することができた。また、森林づくりの大変さや大切さ、森林の重要性や働きについて体験・学ぶことができた。

#### ●自己評価

間伐作業については、まだ必要などころがあり当面継続して実施する。一昨年行った広葉樹の植栽は、大半が立ち枯れとなってしまったため、再度コナラ・クヌギを30本補植した。毎回、水源整備を行ったため見違えるほど明るくきれいになった。自然観察会などは親子で参加できる活動として作業活動と併用して実施した。今後は、水生生物の観察など、子ども向けのメニューを増やすなどしたい。

#### ●参加者の声

・一度ですんなりと木が倒せないもどかしさややっと切り倒せたうれしさで、達成感を強く感じた。（間伐班）

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	間伐面積	計
0.02ha	40本	0.5ha	168人
樹種：コナラ、クヌギ			
実施場所：神奈川県湯河原町			



間伐

## 栗原市のジオパーク崩壊跡地の 植生復元事業

### (特非) 森林との共生を考える会

仙台市太白区青山

#### ●事業概要

平成20年の岩手内陸地震において、最大規模の山腹崩壊で、荒砥沢ダム周辺では大規模な災害復旧工事を行った。その地域で災害前の植生の森林に戻すためにその周辺の植生調査と調査に基づいて植樹活動を行った。今回の植樹作業地は大崩壊地域で、普段立入のできない場所での作業であり、現地に入るにはその都度宮城北部管理署の所員立ち合いでの作業となった。

#### ●事業成果

植生調査を基に秋に植樹を行ったが、翌年植樹跡地で草刈りをしながら生育調査を行った。植樹地は川沿いで傾斜地にあるために雪による枝が折れている苗や鉄砲水により流された苗が多く見られた。しかし草に隠れていた苗など探してみると70%ほどの苗が生き残っていた。

#### ●自己評価

当初の計画では、植樹地の土の状態は良好と思ったが、最初の現地確認で10cmほど掘ると硬い土ということが解り、植樹の本数を500本から300~350本へ修正をした。種取りも試みたが、今年是不作で種はほとんど見つからなかった。苗の確保は事前の掘り取り作業で多くの苗を確保し、可能な限り種を拾い育て次の植樹作業につなげたい。

#### ●参加者の声

・大崩落地の目の前で植樹は恐怖を感じるが、この植樹に参加しなければ体験できなかったことなので参加してよかった。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.1ha	350本	0.2ha	129人	129人
樹種：ミズナラ・カエデ				
実施場所：宮城県栗原市				



ミズナラ、カエデを植樹

## 積水化学・水源の森づくり事業

### (公社)北海道森と緑の会

札幌市中央区北4条

#### ●事業概要

当事業は、積水化学工業株式会社が「緑の募金」を活用して行う企業の森造成の取り組み。

当別町に所在する「道民の森」で3年間植樹を行い、今年度から札幌市白旗山をフィールドとして植樹活動を積水化学グループの社員及び家族の参加により行った。

#### ●事業成果

札幌市白旗山に、2日間にわたって積水化学グループの社員及び家族、総勢70人が参集した。

両日とも、午前10時30分より植樹会の開会式が行われ、趣旨説明や来賓挨拶があり、その後、参加者全員による植樹を行った。

植栽したのは、この地域の自生している広葉樹（ヤチダモ、ヤマモミジ、ハルニレ、イタヤカエデ、エゾヤマザクラ、シラカンバ）200本。木を植えることが初めての人も多く、木を植えることの大切さを多くの参加者が実感した。

#### ●自己評価

事業は計画どおり進んでいる。昨年に続いての参加者も多く、参加者の評判もいいことから、植樹活動への理解は得られている。特に、これまでは本社主導で行われていたが、地元社員が積極的に関わるようになってきた。

#### ●参加者の声

- ・森林の役割を理解するいい機会になった。
- ・来年以降も参加したい。

#### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	地拵え	道内	道外	計
0.1ha	200本	0.3ha	0.05ha	66人	4人	70人
樹種：ヤチダモ、ヤマモミジ、ハルニレほか						
実施場所：北海道当別町及び札幌市白旗山						



ヤチダモ、ヤマモミジ、ハルニレほかを植樹

## 「積水化学の森・木津川」 生物多様性保全の森づくり

### 木津川市地域連携保全活動応援団

京都府木津川市木津南

#### ●事業概要

本活動地は、ニュータウン事業が中止となった地区である。本地区には、希少生物が多く存在し、これらの保護と豊かな自然を守るため、里山の維持・再生活動を進めていくことを目的に行うものである。

また、本事業は、「木津川市地域連携保全活動応援団」（以下：応援団）が主体となって運営し、継続的な里山の維持・再生活動と併せて、年2回程度を目安に積水化学グループの社員がイベント形式で森林保全活動を行う。

#### ●事業成果

4年目にあたる平成28年度は、まず、積水化学グループ社員によるCSR活動を2回実施し、主に竹林整備や作業通路整備を行った。

また、応援団に所属する各活動団体と共に事業地内の通路整備作業を2回実施した。この通路整備作業を行うことにより、一般の方でも散策できる通路の完成を目指しており、通路整備及び新たなルート整備を始めた。

今後は、既設通路の日常管理・部分修繕など及び通路整備の新たなルート開拓、また、毎年、竹林の除間伐作業や下刈り作業などの範囲を広げていく予定である。

#### ●自己評価

本年度に策定した実施計画に基づき「自然・生態系の保全、動植物の保護、里地里山景観の維持再生などに向けて継続的に取り組んでいきたい。

#### ●参加者の声

- ・自然の中で、仲間が植付けした苗木の成長に感動した。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	間伐面積	計
0.05ha	8本	0.7ha	234人
実施場所：京都府木津川市			



竹林整備



# 「積水化学の森・うきは」 生物多様性保全の森づくり

## うきは市森林セラピー実行委員会

福岡県うきは市浮羽町

### ●事業概要

うきは市は、森を企業とのCSR活動「生物多様性保全の森づくり」を担うフィールドとして活用し、企業との連携による森づくりを進めることを目的としている。

今年度は、生き物が賑わい、多くの人々が訪れて森と親しむ「生物多様性保全の森づくり」に繋がる取り組みとして、下記活動を実施した。

#### ①植樹地の下草刈り・ツル切り作業を実施

#### ②森林セラピー遊歩道への木材チップ施設作業を実施

### ●事業成果

水源の森保全の活動には、地域住民も参加し、森と親しむ「生物多様性保全の森づくり」に繋がる活動となった。また、活動後に、森林保全の講話を行い、森づくりの大切さ、森への愛着が深まった。

### ●自己評価

・活動内容は毎年同じ活動ではなく、参加者が森づくりに興味を持っていただくような、ストーリー性のある体験内容の工夫が必要である。

### ●参加者の声

- ・植樹した木を久しぶりに見られて、大きく生育していたのでうれしかった。(30代女性)
- ・草刈りは大変だけど、自分たちが植えた木が大きく育ってほしい。(20代男性)
- ・木材チップがふかふかして気持ちよかった。楽しかった。(小学生)

### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
下刈面積	176人	176人
0.25ha		
実施場所：福岡県うきは市浮羽町		



木材チップを敷く

# 山の日記念・減災の森づくりに向けた、 全国協働による苗木づくり事業

## つながる森づくり実行委員会

東京都千代田区一ツ橋

### ●事業概要

東日本大震災の被災地・南三陸町の支援の一環として、2020年予定の津波除け森林づくりの植樹祭に活用する町木・タブノキ実生苗木を育成し、森林の防災効果の理解を広めるのが目的。さらに、阪神大震災や竜巻、熊本地震などの他の被災地の団体が協力し関わることで、森林が取り持つ防災の絆づくりに貢献する。

### ●事業成果

参加者34人のうち子どもは12人が参加したが、屋敷林が家屋の被害を食い止めた場所も見学し、森林の防災効果を実感したことで、苗作りや植樹を実施する意味を理解できた。さらに、森林づくりが大規模、大がかりな事業ではなく、種を拾って手軽に苗作りができ、しかもマンションのベランダでも苗を育成できることも学び、特に子どもは森林づくりに関心を持つことができた。

### ●自己評価

400粒を種播き、鉢上げできたのは280本で活着率は7割だが、2020年の津波除け森林づくりの植樹祭で活用できる苗木はさらに減ることが予想される。特に寒冷地の同町で苗木を越冬させる工夫が課題。また、種を培養土に深植えたことで発芽し難かったことが反省点でもある。

### ●参加者の声

タブの大木を根元から梢を見上げると、葉が重なる事なく広がっていることなど自然の不思議さに感動した子どももいた。作業や苦勞を共有したことで仲間意識も芽生え、「植樹祭にはみんなで参加したい」との声も多く聞かれた。

### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
タブ種拾い	トロ箱種播き	鉢上げ	県内	県外	計
400粒	8箱	280鉢	30人	46人	76人
樹種：タブノキ					
実施場所：宮城県南三陸町					



タブノキの種を播く子どもたち

# いのちの森づくり植樹祭 IN 奥沢水源地 VOL.4

## “北海道” 千年の森プロジェクト

北海道小樽市稲穂

### ●事業概要

高齢者から子ども達まで年齢や思想の異なる私達が地球環境を意識し、地域住民との協働で植樹を行う事で、防災や自然環境への意識を高めると共に、近年、都市開発などにより多くの自然が破壊されるなか、その土地本来の植生が失われつつある「いのちの森」を守り再生させる為、同会場にて4回目となる「いのちの森づくり植樹祭」を開催した。

### ●事業成果

土地所有者の小樽市、北海道の関係機関との協働体制もとれ、スムーズな運営ができた。参加者も200人を数え、近年協力頂いている小樽海洋少年団員の子も達を始め近隣中学校の生徒会の参加もあった、千年の森会員企業の家族での参加が多くみられたのも効果が出てきた実感である。

また、市内のボランティア団体が各団体の事業として参加すると共に運営資金を寄付いただいた。市民が寄与する市民公園造りを進め、今後も環境教育との二本柱で事業を進めていきたい。

### ●自己評価

この水源地での植樹は10年計画で公園計画の中で進めていく上で近隣の町会や学校との連携の中で進めていくものである為、小樽市より苗づくりなども協力頂ける事となり、連携した中で計画を広め、植樹、育樹はもとよりメンテナンスなども市民と共同して進めていきたい。

### ●参加者の声

おおむね満足いただいている。

### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	道外	計
0.07ha	2000本	0.21ha	180人	20人	200人
樹種：ミズナラほか					
実施場所：北海道小樽市					



ミズナラほかを植樹

# 緑のESDの森づくり事業

## (特非) 宮城県森林インストラクター協会

宮城県宮城郡利府町

### ●事業概要

宮城県が始めた「わたしたちの森づくり事業」により宮城県と協定を結んだ県有林2.5haのうち、特に整備の必要なフィールドを利用して多様な主体の協働による森づくり活動を行った。活動の柱は11月12日に108名が参加し広葉樹等134本を植樹した10周年記念植樹祭と、4月22日にヒノキや広葉樹125本を植樹した春のいろいろ森づくり大会で、この活動を中心に、スギ林や雑木林の整備活動や地域ボランティアによる活動、協力企業との協働によるボランティア活動、小中学生による森づくり活動も実施した。

### ●事業成果

長い間未立木地だった0.2haを整備し、たくさんの方が参加して植樹を行った他、これまでササと枯損木でひどい状態だった約0.3haのスギ林が、見通しと風通しの良いフィールドに変わり、新しい遊歩道も完成した。また、小中高校生に学校単位で森づくり活動体験をしてもらったほか、親子の体験活動も実施できた。

### ●自己評価

当協会会員や地域の協力ボランティアは数的にも実力的にも常に充実しており、参加者不足を心配することはなかった。協働企業は予定通り3回の活動に参加し、のべ205名のご参加をいただいたが、さらに前向きに取り組んでもらえるよう説明していきたい。

### ●参加者の声

・定期的に参加していたら現役中よりも体調が良くなった。  
(地域ボランティア)

### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
約0.2ha	336本	5.3ha	1020人	90人	1110人
樹種：オニグルミ、マユミ、キハダ、モチノキ、ヒノキ、モッコクほか					
実施場所：宮城県利府町（県有林）					



広葉樹を植樹

## 「赤西溪谷・水源の森」保全事業

(特非) ひょうご森の倶楽部

神戸市中央区中山手通

### ●事業概要

企業および森林管理署と協働して森林整備や教育研修などを行い、環境林、水源かん養林の保全活動を行うことを目的とする。主な活動は以下のとおりである。

1. 国有林伐採跡地への植樹、国有スギ人工林の間伐、植林地の下刈り、サプリガードの補修
2. 森林環境教育(新入社員研修、森林観察、水棲生物観察)
3. 木工クラフト(木の実などを使った木工作品づくりなど)
4. 一般市民(県内ボーイスカウト)による森林環境学習

### ●事業成果

この保全活動も9年目に入り、活動の定着化をさらに進めることができた。

本年度は、企業の森林保全活動イベントに、地元子ども会の親子が初めて参加し、活動内容を体験・理解してもらった。また、県内のボーイスカウト団体の森林環境学習を本年度も実施、この環境学習に兵庫県森林大学の学生たちが参加した。また、企業の保全活動では、初めて一般社員によるスギの間伐作業を体験してもらった。

以上のように、参加者の広がりが見られ、また事業への理解の深まりも確認できた。

### ●自己評価

計画した保全活動をほぼ予定通りに実施することができ、目標は達成できたものと判断する。

### ●参加者の声

間伐には小学生も加わり、参加者が力を合わせて伐倒することに達成感を味わえたとの感想が聞かれた。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.1ha	30本	0.1ha	0.6ha	216人	155人	371人
樹種：ケヤキほか						
実施場所：兵庫県宍粟市(赤西国有林)						



スギの間伐

## 日本の緑化の原点を守る 森普請プロジェクト

つながる森づくり実行委員会

東京都千代田区一ツ橋

### ●事業概要

国土緑化の原点である、全国緑化運動発祥地(石碑)周辺の森林や山道が荒廃していることから、森林や山道の整備作業を通じて、森林の重要性や循環型整備に木材活用が欠かせないことなどの意識啓発を図るのが目的。具体的な作業内容は協力団体の茨城森林管理署の許可を得て、①間伐や除伐の実施②伐採間伐木を活用した丸太橋の架橋や階段の設置③枯れ木の伐採をはじめ、風倒木や道をふさぐ倒木、枯れ枝の整理、撤去④草刈りやツル切り、石碑の清掃など

### ●事業成果

自然に触れる機会がなく森林の中で遊べない首都圏の子どもたちが、作業を通して森林内の生態系に気づき、仲間と遊ぶようになった。大人たちは、現場作業をすることで人工林のすがすがしさや、保水力に驚き人工林を再評価するようになった。

### ●自己評価

都会育ちの子どもたちはのほとんどは、森林で遊んだ経験を持っていないことから、森林の楽しさを知らないと同時に、自然の怖さもイメージできない。道具の危険性も感覚的理解できないことから、現場ではマンツーマンの指導が必要か、と感じた。

### ●参加者の声

- ・森の散歩より作業する方が楽しい。
- ・森の中の空気が街中と違う。(子ども)
- ・外観は美しい森でも中はマツ枯れなど荒廃が進んでいる。
- ・間伐も作業をすることで、その重要性が明確になった。(参加者)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
草刈り	丸太橋・階段	間伐本数	県内	県外	計
0.41ha	10箇所	47本	87人	46人	133人
実施場所：茨城県真壁町					



丸太の階段設置

## 富士山緑の募金の森造成事業

### 富士山緑の募金の森造成事業実行委員会

静岡市葵区追手町

#### ●事業概要

台風被害の復旧を目的に開始された事業であり、「国土緑化運動50周年記念事業」として、多くの森林ボランティア団体に呼びかけ、今日まで委員会方式で実施してきた。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等（平成11～27年）

現地は、8箇所の針葉樹植栽区域と富士山特有の植生を考慮した7箇所の広葉樹主体のプロットをモザイク状に配置し、森林整備を行うとともにこの間の遷移の状況を調査した。また、企業の参加による森林体験活動を通して緑の募金事業のPRを図ることができた。

##### ②今年度新たに得られた成果等

今年度は、植生調査等継続するとともに、昨年度整備したシカ柵維持・修繕を実施した。

また、企業参加による森林体験活動として針葉樹区域内のヒノキ枝打ちを実施した。

#### ●自己評価

事業のスタートが若干遅れてしまったが、計画通りに実施できた。しかし、現地での検証が実施できなかったのは課題。また、事業実行のサポート団体が高齢化しており、これまで現場作業に従事してきた者が引退する動きも見られ、今後の森林整備活動を推進する上で課題。

#### ●参加者の声

企業からの参加者（ローソン、リコーリースの社員、関連企業、家族等の参加）は例年どおり200人を超え、リピート参加者も多く、大変好評であった。

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
枝打ち	35人	236人	271人
実施場所：静岡県富士宮市（富士山国有林）			



枝打ち

## 水源地保全活動

### 美和木材協同組合

茨城県常陸大宮市鷺子

#### ●事業概要

水を生み出す森林を保全するため、企業ボランティアが森林整備と、環境活動、環境教育、森林散策などを実施し森林保全の意識の向上を図ることを目的としている。

企業ボランティアなどが、平成17年から毎年森林整備活動を実施してきたが、今回は、混んでいる部分の間伐作業や遊歩道刈払、林内整備、森林教室などを実施した。

#### ●事業成果

間伐作業などを体験することによって、森林整備の重要性や大変さが分かった。

#### ●自己評価

活動を始める前に、間伐を実施する目的や林内整備をする目的を丁寧に説明し、これらを実施することが本事業の目的である水源地の保全にいかに関与するかを理解してもらうことに努めたので、水を生み出す森林の大切さが分かってもらえたと思う。

#### ●参加者の声

- ・森林整備の重要性と間伐作業の大変さが分かった。
- ・自然の中で汗をかくことがたいへん気持ちよかった。
- ・集団で作業することによって新たなコミュニケーションが生まれた。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
間伐面積	林内整備	県内	計
2.65ha	0.6ha	48人	48人
実施場所：茨城県常陸太宮市			



間伐

# いのちを守る森づくり植樹祭 in 時ノ寿

## (特非) 時ノ寿の森クラブ

静岡県掛川市倉真

### ●事業概要

当団体は、掛川市内の源流域を拠点とし、「山と海をつなげるいのちの森づくり」運動を推進している。今回の植樹祭は、その運動を市民をはじめ社会全体の参加により持続していくことを願い、森林の原点である源流域に市内外から250人の参加者を集め、荒廃原野を植樹会場として地域樹種の広葉樹を植える植樹祭を実施した。

### ●事業成果

#### ①前年度までの成果等(平成21～28年)

掛川市、公益財団及び企業と連携し、これまで源流の森林から海岸の防災林まで、「いのちの森づくり」をキャッチフレーズに広葉樹の植樹活動を実施してきた。

#### ②今年度新たに得られた成果等

そのような植樹活動であるが、まだ掛川市の源流域も海岸域も、荒廃地は広大に及んでおり、行政・市民・企業による協働の森づくりは、今後も推進する必要がある。そのような状況において、本事業を含む今年度植樹事業により、いのちの森づくり植樹総本数は10万本を超えた。

### ●自己評価

行政・市民・企業の協働による植樹事業を目標としていたが、掛川市長の参加をはじめ、市内外から250人の参加者を得て、さらには市内企業との連携による基盤整備もできた。今後も継続していきたい。

### ●参加者の声

- ・地方の森林の状況を知ることができ、今後も応援していきたい。(東京からの参加者)

### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
植付面積			
0.05ha	240人	10人	250人
実施場所：静岡県掛川市			



地域に育つ広葉樹を植樹

# 学校教育環境向上のための緑化事業 (魚津市清流小学校)

## 魚津市立清流小学校

富山県魚津市吉島

### ●事業概要

目的は、学校教育環境の向上と森林環境教育の増進であり、主な活動は、(1)中庭・グラウンドの環境整備 ①中庭花壇の土壌改良 ②中庭法面の緑化、擬木柵の設置 ③高木の剪定 (2)記念植樹 ①コナラの植樹 ②記念標柱の設置である。

### ●事業成果

中庭・グラウンドの環境整備では、中庭花壇の土壌改良により植物の生育環境が改善された。中庭とプールの間の法面に芝生を張り擬木柵を設置したことで中庭での活動中の安全が保障されるようになった。また、樹高が高く枝が張り出して教職員が行うには危険な高木を剪定し学校周辺の景観向上に役立った。

記念植樹では、花とみどりの少年団に入団した6年生が、全国植樹祭に向けて、県の事業「苗木のホームステイ」で育てたコナラの苗木を植樹することを通して、緑を守り育てる大切さを実感し活動への意欲を高めた。

### ●自己評価

- ・代表の児童が植樹を行ったが、より多くの児童に植樹や苗木の世話を体験させたい。
- ・植樹したコナラや土壌改良を行った花壇の植物への関心をさらに高めるための児童への働きかけを工夫したい。

### ●参加者の声

- ・植物のお陰で私たちが生きている。これからも、植物を大切に育てていきたい。(小学生女子)

### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
植付本数			
2本	124人	3人	127人
樹種：コナラ			
実施場所：富山県魚津市(清流小学校)			



コナラを記念植樹

## 筑波山森育ワークショップ (苗作り、植樹、伐倒見学、木彫り 体験から木の循環を学ぶ)

### (特非) 地球の緑を育てる会

茨城県つくばみらい市陽光台

#### ●事業概要

【目的】従来の「植える」だけの「緑化」から、「育てる」、「植える」、「伐る」、「使う」の樹木の循環を通しての「緑化」を体験し、この循環を世に啓発すること。

#### 【内容】

1. 業者による発育不全や枯死したスギ、ヒノキ、マツなどの間伐とその間伐材を土留めとして設置、植栽地の雑草を除き、植栽地を造成する。
2. 当会圃場で発芽した広葉樹の幼苗をポットに移植する作業を参加者が行い、「育てる」を体験する。
3. 参加者がこの日植える苗を植栽地まで運び上げる。
4. 参加者による苗の植付け作業。
5. 参加者によるマルチング作業をして植樹終了。
6. 20人が木片から木皿に彫り「使う」ことを学んだ。

#### ●事業成果

今回の植樹は全く別の視点からのものであり、参加者にとってフレッシュな、また盛り沢山の内容となった。

#### ●自己評価

樹木循環として一体となったプロジェクトを展開することができた。

#### ●参加者の声

・「育てる」「植える」「伐る」「使う」という循環を一日で体験できるプロジェクトは素晴らしい。(ジャイカ研修生)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加数		
植栽面積	植栽本数	間伐面積	県内	県外	計
0.04ha.	800本	0.04ha	61人	52人	113人
樹種：シラカシ、アカガシ、ウラジロガシ、スダジイ、タブノキ、ヤマザクラ、ヤブツバキ、ユズリハ、シロタモ、サカキ					
実施場所：茨城県つくば市 筑波山神社林内					



シラカシ、アカガシ、スダジイ、タブノキ、ヤマザクラほかを植樹

## 海の森育樹プロジェクト

### (特非) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区神田小川町

#### ●事業概要

海の森は、平成27年11月の植樹で植樹予定エリアは植樹が完了した。平成23年4月に植樹したエリアでは、苗木が2～3mほどの高さに成長しているものの、クズなどのツル性植物により枯死しているものも多く見られる状態になってしまっている。そこで、下記の活動を行う予定だったが、活動当日が荒天となり止むを得なく中止とした。

- ①ツル性植物の除去(主にクズ) ②苗木枯死エリアの除草

#### ●事業成果

- ①前年度までの成果等(平成22～27年)

平成22年の植樹から始まり、植樹終了後も場所・活動への関心を維持し、植樹と環境整備活動を推進してこることができた。

- ②今年度新たに得られた成果等

今回は荒天により残念ながら中止となってしまったが、直前まで実施意欲があり、これまでの活動に向けた熱意を感じた。こうしたことが見られたのもこれまでの成果と考えている。

また、実施までに向けた準備の段階で、環境整備の一環で下刈、クズの切断を行っていたため、中止によりまったく意味がなかったわけではなく目標に近い整備まで進めることができた。

#### ●自己評価

当日の雨と気温の状況から中止の判断は正しかった。

今後海の森には立ち入りが制限されるため、今回中止になったことは残念な結果となった。今後現場に入れるようになるまで海の森への関心を維持することが課題である。



参加者が安全に通れるように目線の高さにある枝を落とし、事前に環境を整えた

## 「みたけ木曾川水源の森づくり」活動

### みたけ木曾川水源の森づくり実行委員会

岐阜県可児郡御嵩町

#### ●事業概要

目的は、木曾川流域の里山において企業の社員や家族、地域住民等が森林や環境について学びながら、水源林の整備を行うものであり、主な活動は、除伐、ササ刈り、育樹、選木等である。

ただし、平成29年度は2度の開催予定がいずれも雨天中止となったため準備作業のみ実施した。

#### ●事業成果

作業路周辺のササ刈りが進み、より広範囲で整備できるようになった。

#### ●自己評価

雨天中止のため準備段階としての除伐等のみとなり、計画通りの実施ができなかった。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
除伐面積	選木教室	県内	県外	計
0.2ha	2回	82人	71人	153人
実施場所：岐阜県御嵩町				



作業路周辺を整備

## 学校教育環境向上のための緑化事業 (まんのう町立長炭小学校)

### まんのう町立長炭小学校

香川県仲多度郡まんのう町

#### ●事業概要

学校敷地内の緑化環境整備により、学校環境の向上を図った。玄関前の「前庭」は、ソメイヨシノの新規植樹、既存の樹木の移植及び石積み改修などを行った。校舎と体育館の間の「中庭」は、通路のアスファルト面とを隔てる縁石の設置などを行った。

#### ●事業成果

前庭は、石積み改修と、既存の100周年記念の石碑やサツキとの調和も考慮したバランスの良い植樹などにより、これまでより立派な景観になった。また、前庭がある運動場側の校庭は、枯損などにより失われて久しいソメイヨシノの大苗を3本植樹したことで、学校の庭らしさが戻った。中庭も、アスファルト面との境がはっきりとし、植物のプランターなども整理して並べることができるようになった。

#### ●自己評価

緑化事業の完成などを記念する式典を行うことで、緑化の大切さが実感できるとともに愛校心を養うことができた。期待以上の立派な前庭に仕上がった。工事内容や期間も計画どおりであった。

#### ●参加者の声

児童たちは、春にサクラが咲くことを期待している。また、高学年児童は、「前庭を通ると、この“いい空間”を感じることができる」と喜んでいる。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.04ha	3本	137人	2人	139人
樹種：ソメイヨシノ				
実施場所：香川県まんのう町（長炭小学校）				



記念植樹

## 学校教育環境向上のための緑化事業 (まんのう町立満濃南小学校)

### まんのう町立満濃南小学校

香川県仲多度郡まんのう町

#### ●事業概要

校庭に樹木などを植栽することで、教育環境の整備と子ども達が緑に関心を持ち親しむ環境づくりを行った。このうち、校舎と運動場の間で老朽化した花壇を撤去し行った芝生化は、子ども達が素足で駆け回れる遊びの場としてだけでなく、運動場との一体的な活用などを考慮したものである。

#### ●事業成果

傷んでいた校庭の低木を撤去し県・町木などを植栽することで、学校の玄関辺りが整備され明るい雰囲気になった。校庭では季節に応じ花や果実を愛でる子どもの姿が見られ、緑化活動に対する関心の高まりが見られる。実際に県花・県木オリーブや町木カリンの花や実を見て、親近感を感じている子どもも多い。芝生化したことによって緑を身近に感じることができ、子ども達の情操教育にも寄与できている。

#### ●自己評価

緑の少年団が参加した緑化事業の完成など記念式典を行うことで、緑化活動や地元まんのう町で開催される第41回全国育樹祭への関心が高まった。また、子ども達は芝生を走り回ったり遊んだりできる空間として楽しんでいる。

#### ●参加者の声

立派な式典ができてよかった。子ども達にも思い出に残る式典となった。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.02ha	3本	134人	2人	136人
樹種：オリーブ、ハナミズキ				
実施場所：香川県まんのう町（満濃南小学校）				



記念植樹

## 和木町協働の森づくり事業

### 和木町里山研究会

山口県玖珂郡和木町

#### ●事業概要

本事業は、「豊かで美しい森林づくり」と「地球環境の保全」を目的とし、和木町里山研究会が主体となって地元企業のJXTGエネルギー株式会社麻里布製油所の社員や家族、OB及び和木町、山口県の職員ボランティアと協働で和木町有林約7haの整備を平成23年から継続している。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等（平成23～28年）

多くのボランティアが参加して事業を実施したことにより、雑木や下草でうっそうとし、陽の光が届かなかったヤマモモ林等が適度な日の差す美しい森林によみがえった。

また小学生を対象としたシイタケの植菌体験では、植菌から成長、収穫までを学びながら、森の恵みを実感するとともに森林の大切さを考え、学ぶ貴重な機会となった。

##### ②今年度新たに得られた成果等

開催日の1か月前に、事前準備として草刈りをした。このことで、地元住民と企業の交流が図られた。

#### ●自己評価

事業はほぼ計画通り実施し、十分に目的を達成できたと評価できる。ヤマモモ林の除伐作業等を通じて、里山研究会会員と参加者が交流を深めながら、技術や森の知識を伝達することができた。

#### ●参加者の声

- ・たくさんの参加者の皆さんと交流しながら楽しく作業をすることで、森づくりに協力できて良かった。(20代女性)
- ・荒れた森林をきれいにすることで自らの心もきれいに掃除されたように感じました。また、体を動かすことで日々のストレスから解放されました。(40代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
2.0ha	1.0ha	144人	25人	169人
実施場所：山口県和木町				



下刈り



## さいたまの森林づくり支援事業

### (特非) 埼玉森林サポータークラブ

さいたま市浦和区高砂

#### ●事業概要

本県内において森林ボランティア体験事業（植樹、間伐、下刈り）を実施する企業や学校等に対し、安全に活動できるよう支援・指導する。これにより地球温暖化防止のための森林整備が進み国民参加の森林づくり運動に寄与することを目的とする。

#### ●事業成果

都市部の企業の職員や家族などが参加して行う森林ボランティア活動を支援することによって、参加した多くの人々が森林に親しみながら森林の持つ力について体感し学ぶことができた。また、県内の高校生や小学生が校内では体験できない植樹や間伐、下刈り等の作業を山で行うことによって森林づくりの大切さや樹木に対する興味を持たせることができた。このことによって、温暖化防止のための森林づくり運動に寄与することができた。

#### ●自己評価

高校生や小学生及び都市部の企業職員やその家族に対し、安全な森林体験活動をしていただくことができたとともに、活動時に森林の有益性について説明し森林の大切さを理解してもらうことができた。

#### ●参加者の声

- ・雑草に覆われ鬱蒼としていた山が美しくなっていく様子に感動しました。この活動地が末長く森林学習体験の活動場所となってほしい。
- ・普段の授業では味わえない貴重な体験をさせて頂く事ができました。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
1.4ha	505本	4.1ha	1.8ha	563人	68人	631人
樹種：ヤマザクラ、コナラ、イロハモミジ、ヤマグリ、アカマツほか						
実施場所：埼玉県秩父市、桶川市、三芳町・越生町・長瀬町・小川町						



高校生の下刈り体験

## 奈良県吉野山の森づくり事業

### (公財) 奈良県緑化推進協会

奈良市高畑町

#### ●事業概要

【目的】 リソルゴルフ(株)募金を活用し、緑化意識の向上、啓発を推進するために植樹活動、ドングリの苗づくりを通しての植樹やビオトープの造成を行い、地域のシンボルとなる森林の再生及び自然を学ぶ場とする。

【内容】 関係者及び一般の参加者とともにサクラなどの記念樹及びサツキを植樹して森づくりを実施。ビオトープの意義も説明し、今後の展開につなげた。

#### ●事業成果

##### ① 前年度までの成果等（平成28年度）

（公社）大阪みどりのトラスト協会、吉野中央森林組合、（特非）吉野千年の森が中心となり、吉野山で植樹地を造成し、「リソルゴルファーの森」と命名。リソル(株)関係者の参加、吉野町、同教育委員会の協力も得て、記念植樹式を実施した。

##### ② 今年度新たに得られた成果等

関係者及び一般の参加をも募り、サクラ、ウメなどの記念樹及びサツキを植樹して森づくりを実施し、緑化の大切さを啓発。ドングリの苗づくりを実施し、また、ビオトープの意義の説明も行い、今後の事業継承につなげた。

#### ●自己評価

目的達成に着実に進んでいる。今後、「森の学校」での苗返し、ビオトープによる自然観察、またESDの実践の場としても想定。多く子ども達が参加できるようにしたい。

#### ●参加者の声

- ・子どもが直接自然にふれあういい機会。今後も家族で参加のびのび育てたい。(30代男性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付本数	下刈面積	県内	県外	計
25本	0.8ha	15人	5人	20人
樹種：ツツジ、サクラ、ウメ、クリほか				
実施場所：奈良県吉野町吉野山				



ツツジ、サクラ、ウメほかを植樹

## 木曾川・やおつ水源の森づくり活動

### やおつ水源の森づくり実行委員会

岐阜県加茂郡八百津町

#### ●事業概要

木曾川流域に生活する住民に潤いと安らぎを与える自然豊かな水源の森を整備し、水源涵養機能を充実するとともに森林生態系や生物多様性について学ぶことを目的として実施してきた。下流域にて生産活動を行うキリンビール(株)名古屋工場の従業員と家族や流域に生活する地域住民が協力しあい、サクラの補植、間伐、下刈りなどの活動を行うとともに間伐材を利用した箸づくり、サクラ間伐材を利用してシイタケの植菌体験を行った。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成19～28年)

林内も見通しが良く太陽の光が地面に届くようになった。また、木材利用等興味をもっていただくことができた。

##### ②今年度新たに得られた成果等

今年度も引き続き、水源の森の保全、整備に努めた。地域住民とキリンビール名古屋工場からの参加者との交流もクラフト体験やシイタケ駒菌の植菌体験を通して実施した。

#### ●自己評価

交流を引き続き実施することができた。また、クラフト体験等により新たに参加された方々に木とふれあう楽しさや森林整備の重要性に対する理解を深めてもらえた。

#### ●事業をよく知る関係者の声

・今後の補植時には、獣害対策も行って着実に成長させられるように取り組んではどうか。(岐阜県職員)

#### ●参加者の声

・サクラを原木にしてシイタケが育てられるとは知らなかった。家に持ち帰って成長を見守りたい。(20代女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
10本	4ha	1.5ha	52人	125人	177人
樹種：薄墨桜					
実施場所：岐阜県八百津町					



シイタケ植菌体験

## 地域と製紙会社、自治体との協働、地域就業を創出するモデル事例化づくり

### 持続可能な環境共生林業を実現する自伐型林業推進協会

東京都新宿区西早稲田

#### ●事業概要

鹿児島県北薩地域を対象に、企業×自治体×地域の協働システムづくりを構築し、自伐型林業と雇用創造を合算した展開を図ることを目的に、林業普及啓発のためのフォーラムをはじめ、自伐型林業研修や自伐型林業を始めようとする方々の支援、コーディネートを行った。

##### ①出水市、薩摩川内市でのフォーラムの実施

##### ②北薩地域自伐型林業研修

チェーンソー取扱研修、選木・伐倒・造材研修、伐倒・造材・搬出研修、作業道開設・森づくり研修

##### ③自伐型林業支援展開支援

自伐型林業についての相談などを行った。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成27～29年)

当団体自主事業として前年度まで、出水市において自伐型林業の普及啓発を行う中、自伐型林業を始めた若者たちや竹林農家と兼業で自伐型林業実践者が出始めた。

##### ②今年度新たに得られた成果等

自伐型林業研修では定員20名を超え、途中で申し込みを断ることとなり、関心度の高さを改めて実感した。

#### ●自己評価

北薩地域の住民たちに広く関心を持ってもらえた。新たに個人・小グループでの林業参入の気運が高まってきた。

#### ●参加者の声

・敷居が高いと思ってた林業、だれもが参入できることがわかり、関心がわいてきた。(フォーラム参加者)

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
研修、フォーラム開催	県内	県外	計
6回	271人	11人	282人
実施場所：鹿児島県北薩地域(薩摩川内市、出水市)			



研修会には80人が参加

## 多摩動物公園 豊かな里山の森づくり

### (特非) 樹木・環境ネットワーク協会

東京都千代田区神田小川町

#### ●事業概要

多摩動物公園の雑木林は、開園以来50年以上放置された。その結果、生物多様性の低下が懸念されている。そんな雑木林に人が手を入れ整備をすることで従来の豊かな里山に近い環境創出する。今回、ササ刈りをはじめ、人が森に入り安全に活動ができる環境づくりのための階段づくりを整備の一環として実施、また、雑木林の多様性を五感を使って体験するプログラムを行った。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成26年～平成28年3月)

散策路周辺のササ刈りや間伐材による杭づくりを実施、森の中に入りやすい環境をつくることができた。依然としてササ刈りの必要があるものの、昨年より階段や散策路が整備されることで、広範囲の活動がしやすくなった。その影響もあり、間伐がしやすく、明るい林内環境につながった。

##### ②今年度新たに得られた成果等

間伐などの活動が進むことで、材の処理の課題がでていたものの、今回の活動で薪割りを行い大半を処理することができた。体験活動では葉っぱの多様性を発見するプログラムを行った。子どもたちには作業によって植物の多様性が保たれていることの学びとなった。

#### ●自己評価

全体として予定していた活動は実施できた。各活動において、有意義な活動ができたのではないだろうか。まだ処理しきれず残った材も多く、多くの人手が必要である。

#### ●参加者の声

・葉っぱの形のタオルで、いろいろな葉っぱがあることを実感できた

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
下刈面積	間伐面積	都内	計
1.5ha	1ha	40人	40人
実施場所：東京都日野市			



ササ刈り

## 浦安絆の森整備事業

### (公社) 千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ヶ浦市長浦拓

#### ●事業概要

東日本大震災で液状化などによる被害を受けた浦安市において、沿岸部に多様な樹木を植栽することにより、埋立地の地盤強化や、沿岸部における防災機能及び植栽による生活環境の向上を図るため、多種類のポット苗を密植し、競合、淘汰させる。このことにより災害や環境変化に強い循環型の森林づくりを行う。

平成28年度は、平成28年11月13日(日)に第6回植樹祭を、14日(月)・15日(火)に市内の小学校(1校)、保育園(1園)、幼稚園(1園)が植樹を行った。

#### ●事業成果

作業の実施を通じて、普段、緑と触れ合う機会が少なかった参加者も絆の森の重要性や働きについて楽しく学ぶことができた。

#### ●自己評価

計画通り植栽でき、そのうち約1200本のタブノキは、市内の小学校や幼稚園・保育園など8か所で年間育成したもので、市内で育成した苗の植樹は初めてとなった。

反省点としては、例年と比して、盛土の高さに関して、区画ごとに高低差があったため、各区画の進行スピードに多少の差が出てしまった。

今後、植樹する場所が限られていることから、イベントとしてではなく、小学校の授業の一環として実施する予定。

#### ●参加者の声

・家族で植えることができ、また、植樹ボランティアから絆の森に関する話を聞いて良かった。(主婦)

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
植付本数	867人	10人	877人
樹種：タブノキほか			
実施場所：千葉県浦安市			



タブノキほかを植樹

## 旭復興事業2016

### (公社)千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ヶ浦市長浦拓

#### ●事業概要

東日本大震災の被害を受けた旭市において、津波や松くい虫などの被害により枯損や無立木化した海岸林（市有海岸保安林）の再生を図り防災機能の回復に努める。

森林やみどりづくりの大切さについての普及啓発を図るため、次世代を担う子どもたち（地元小学生）との植樹会を開催した。

#### ●事業成果

クロマツに代表される海岸保安林が重要であることが地域住民に認識されるだけでなく、震災から6年が経過し、植樹会には震災の記憶の薄い子どもたちが参加するようになり、防災教育の一環ともとらえている。

#### ●自己評価

保安林の植栽は、公共事業にて実施していくべきであるが、森林づくりの大切さや津波への防災意識の高揚などを図る上で、引き続き地域住民や子どもたちとの植樹イベントを実施することが重要と考える。

また植樹した箇所を維持管理していくことで、健全な海岸保安林の形成を図っていく。

#### ●参加者の声

- ・大きくなって、防風林や減災林として役立ってほしい。(小学生)
- ・植えた苗木の生長が楽しみ(小学生)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.08ha	637本	70人	70人
樹種：クロマツ、マサキ・トベラ			
実施場所：千葉県旭市			



クロマツ、マサキ、トベラを植樹

## 山武市制施行10周年復興植樹祭

### (公社)千葉県緑化推進委員会

千葉県袖ヶ浦市長浦

#### ●事業概要

目的は、東日本大震災地震によって失われた防風など機能の回復を図るための海岸防災林の造成である。主な活動は、次のとおりである。

#### ①クロマツの植栽

#### ②森林環境教育の実施（北部林業事務所による指導）

#### ●事業成果

多くの地域住民が参加して植樹などの作業したことにより、津波による根返り・幹折れ木、流木の散乱箇所がきれいに整地され、海岸防災林として生まれ変わった。

また、作業や森林環境教育の実施によって、普段、森林と触れ合う機会が少なかった参加者も森林の重要性や海岸防災林の働きについて学ぶことができた。

なお、これらの活動は、市の広報やマスコミを通じてPRされたことから、今回参加できなかった住民などへの拡大につながると期待している。

#### ●自己評価

計画通り0.2ha・2000本植栽できた。

また、作業中の反省点としては、ハンマーやスコップなどの数が十分ではなかった。

今後は、この事業の内容をより一層充実させていく必要がある。

#### ●参加者の声

- ・ボランティアの方々と一緒に木を植えながら、自然の大切さを学ぶことができた。(中学生)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.2ha	2000本	230人	230人
樹種：クロマツ			
実施場所：千葉県山武市蓮沼地区			



クロマツを植樹

## 3.11 復活の森づくり ～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業

### (特非) 森のライフスタイル研究所

長野県伊那市荒井

#### ●事業概要

目的は、津波に飲み込まれ枯れてしまった千葉県山武市蓮沼殿下海岸防災林の復興を進めて、被災地住民の生活環境の回復を図るとともに、それを通じて「海岸防災林と住民との共生」を創り直すことボランティア活動の継続性の向上である。主な活動は、次のとおりである。

- ① 津波の浸水により塩害を受けて枯れてしまった木々の撤去とチップ化処理と敷き詰め及び転圧
- ② 海岸林に適した樹種の植林
- ③ 植える位置をマーキングするための目印棒の設置
- ④ 苗木の生長を風や潮で阻害させないための竹柵の設置

#### ●事業成果

地域住民と都市部のボランティアが連携・協力しながら、

- ① 津波の被害を受けて枯れてしまった海岸林を地植えから植栽までを行ったことで、林内の再生が進んだ。
- ② 抵抗性クロマツの植栽を行えたことで、病害虫に強い海岸林ができる。
- ③ 新しいボランティアの輪が広がった。

#### ●自己評価

当初の予定以上の面積を整備できた。今後は、多様なボランティア獲得プランを考え、実行していかなければならない。1つの方策が、企業の社員ボランティアである。

#### ●参加者の声

・外に出て活動ができて楽しかったです。楽しみながら社会貢献できるとを広めたい。(20代女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.2ha	2000本	36人	28人	64人
樹種：クロマツ				
実施場所：千葉県山武市				



クロマツを植樹

## 「岩沼潮除須賀松の森」植樹事業

### (公社) 宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

#### ●事業概要

東日本大震災により壊滅的な被害を受けた岩沼市沿岸域の海岸防災林について、その再生に向けて地域住民などとの協働により植樹活動を行いながら、失った「みどり」の重要性やその働きなどへの理解と関心を深めてもらい、海岸防災林再生に対する気運の醸成と「みどりの文化」の普及啓発を図るもの。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果など(平成27～29年度)

被災地の復興に向けた取り組みに何か関わりたいという団体や個人は、今なお多数存在する。特に企業においては社会貢献・CSR活動に積極的であり、被災地支援、地球温暖化防止に向けた取り組みとして、海岸防災林再生活動は、理にかなった活動であった。個人や企業、団体の海岸防災林に対する意識は、間違いなく醸成された。

##### ②今年度新たに得られた成果など

単なる森づくりではなく、海岸防災林のこれまでの歴史やその役割などを認識し、その重要性を学んでいただいた。

#### ●自己評価

ほぼ予定のエリアで植樹活動を終えることができた。成林するまでには相当の歳月を要することから、植栽後の保育管理についても官民協働の体制づくりを検討する必要がある。

#### ●参加者の声

・植樹は大変だったが、その苦勞と共に海岸防災林の意義が身体に染み込んだ。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植栽面積	植栽本数	県内	県外	計
0.82ha	4098本	240人	100人	340人
樹種：クロマツ				
実施場所：宮城県岩沼市(岩沼市有林)				



クロマツを植樹

## 松川浦海岸防災林(相馬市大洲国有林) 植樹事業

(特非) DO55

東京都千代田区永田町

### ●事業概要

目的は、東日本大震災で被災した海岸防災林の再生であり、磐城森林管理署管内の松川浦においてクロマツを植樹した。

### ●事業成果

防風柵に囲まれた約0.14haの箇所に800本の抵抗性クロマツを適正な間隔で植樹したことにより、海岸防災林としての健全な生育が見込まれる。

### ●自己評価

- ・一昨年3月の南相馬市植樹祭に始まり、植樹関連講習会・シンポジウム・現地研修会への参加などにより昨年5月に植樹作業を体験、本年は2度目の植樹でもあり極めて順調に進んだ。
  - ・地元の中高生・大学生など昨年に増してさらに多くの参加を得て、作業結果も一定のレベルに達したものと評価している。
  - ・今後とも、こうした参加者との連携を維持・発展させていきたい。
- ### ●参加者の声
- ・震災復興は以前にも経験しているが、6年経つても海岸林の再生はまだまだと感じた。
  - ・初めてのボランティア参加だが、大変有意義な植樹活動であると感動した。
  - ・震災時に松川浦から見える小学校へ避難した話を当事者から聞くことができた。

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.14ha	800本	74人	21人	95人
樹種：クロマツ				
実施場所：福島県相馬市大洲				



クロマツを植樹

## 森と街を繋ぐ森の循環プロジェクト

(公社) 北海道森と緑の会

札幌市中央区北4条西

### ●事業概要

森林を適正に整備し、豊かな森林を未来の世代に受け継いでいくためには、林業に携わる人だけではなく、広く一般の人たちを巻き込んで、「植えて、育てて、利用して」「また植えて、また育てて、また利用する」といった『森林と暮らす』循環の仕組みを作っていくことが必要である。このため、子ども達や一般住民を対象に、植えて育てる森づくり活動や木と触れ合い木を使う木育活動などを道内各地で行った。

### ●事業成果

森づくり活動などを通じて、参加者は木を植え・育てることの大切さを実感し、森づくりへの参加意欲が高まることに繋がった。また、木育ひろばでは、親子で木と触れ合うことで、森や木を身近に感じ、森や木への理解が深まった。

### ●自己評価

開催回数、開催場所も増え、多くの参加者に森づくりや木育体験の機会を提供できた。周知方法を工夫してさらに多くの方が参加できるよう来年度も継続していきたい。

### ●参加者の声

- ・わかりやすい指導と解説で、森林への理解が深まり、森づくり活動への関心が高まった。また、年齢層に応じた多彩な体験が提供され、親子共々、木に親しみ楽しい一日を過ごすことができた。もっと広がって欲しいし、ぜひ続けてほしい。

### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植樹	苗木づくり	下刈	道内	計
390本	6樹種：370苗	0.4ha	2255人	2255人
実施場所：札幌市、東川町、むかわ町、新ひだか町、伊達市、苫小牧市ほか				



木育広場

# 札幌市澄川環境林に於ける外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業

## 北海道森林ボランティア協会

札幌市豊平区平岸

### ●事業概要

- ・侵入した外来種ニセアカシアの除伐、巻き枯らしを行いギャップ地の整備後に郷土樹種（ミズナラ、アカエゾマツ）植栽。
- ・上流木道橋の修復作業及び作業道整備。
- ・間伐材を活用して薪、炭、ホダ木、木道用材づくり。
- ・多くの人に親しまれる安心安全な森づくりの推進。

### ●事業成果

#### ①前年度までの成果等（平成27年6月～28年7月）

作業道の整備：林道の拡張と橋修復で軽トラックでの運搬は徐間伐材や機材搬入で効率が図れた。ニセアカシア243本除伐と巻き枯らしを終えた。

#### ②今年度新たに得られた成果等

作業道の拡張：上流橋の修復でリヤカーでの機材の搬入が可能になり危険木、傾斜木を排除する事ができた。整理伐地に郷土樹種を植栽。

### ●自己評価

スケジュール通りに進んでいるが、ニセアカシアは萌芽更新が旺盛でその処理に追われている。

ツルで覆われた枯死木の整理に時間を取られギャップ地への植栽が遅れている。処理された木や枝はチップパーで碎きフットパスの整備は進んでいる。

### ●参加者の声

森がきれいになったとの感想が聞かれた。フットパスは子ども達に好評だった。

### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	道内	道外	計
0.4ha	194本	0.3ha	2.9ha	862人	1人	863人
樹種：ミズナラ、アオダモほか						
実施場所：札幌市						



ミズナラ、アオダモほかを植樹

# ふらの森と人づくり事業

## (特非) C・C・C富良野自然塾

北海道富良野市下御料

### ●事業概要

富良野と広域の住民とともに地域に豊かな森林環境を残すことを目的とした植樹会を計8回開催し、元ゴルフ場の緑化推進及び環境教育事業を実施した。

### ●事業成果

北極冒険家の荻田泰永氏や、自然エネルギーに詳しい家次敬介氏らを招いて植樹会を開催し、地球環境を考えながら木を植えることを促した。全国各地から植樹会に参加者が集い、元ゴルフ場のうち約1.2haに1823本の苗木を植えた。継続して参加する人が増え、森を育む意識の広がりや教育的効果が得られた。

### ●自己評価

助成をいただいて3年目となる今年も、計画通りに植樹会には、子から祖父母世代まで三世代が参加し、子どもは大人の姿を見て学んだ。また、様々な地域から集う参加者と地元住民との交流も生まれた。世代や地域を越えて集い、森をつくることに意義を感じた。植樹地の木も大きくなり、今後は間伐作業や、間伐材の有効活用についても検討していくことが課題である。

### ●参加者の声

- ・継続的に参加しているため、自分たちが植えた木の成長を確認できることがとてもよいことです。(40代女性)
- ・北極で起きていることを聞き、地球温暖化を改めて実感した。自分たちにできることの一つとして、植樹を続けていきたい。(30代男性)

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	道内	道外	計
1.2ha	1823本	203人	26人	229人
樹種：ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ、ホオノキなど16種				
実施場所：北海道富良野市				



ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモほかを植樹

## 活樹祭 in 新郷村

### 三八みらいの森づくり協議会

青森県三戸郡五戸町

#### ●事業概要

手入れが不足した人工林は、森林の持つべき多面的機能を十分に発揮することができず、将来価値のある木材の生産も難しくなる。また、山林所有者の高齢化とともに後継者も不足しており、森林・林業を取り巻く環境は今後さらに厳しい状況になることが予想される。木に触れる機会が少なくなった現代において、あらためて木の持つ魅力や機能を知る機会を作ることが大切である。そして適切な管理のもとに伐採された木材を使うことが、森林の持つべき機能を十分に発揮することに必要なことであることを知ってもらう必要がある。

そこで今回、青森県新郷村の小学生を対象に体験会や見学会を行う。昨年「活樹祭」として取り組んでいる。今年の内容は、間伐体験および枝打ち体験、木の駅取り組み及び薪割り体験、温泉館の木質バイオマスボイラーの見学である。これらの体験を通じて、故郷にある豊かな資源をあらためて気づく機会としたい。

#### ●事業成果

村で育った小学生達が、「活樹祭」を通じてあらためて故郷の豊かな資源とその大切さに気づくことができた。

#### ●自己評価

今後、さらに自ら考え行動できるような「体験」の仕掛けを考えていきたい。

#### ●参加者の声

- ・家がどう作られているか知りたい。
- ・植林から木を育てたい。

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
間伐面積	22人	22人
0.12ha		
実施場所：青森県新郷村		



薪割り

## 森林の整備 (森の回復事業)

### 森のなかま

宮城県黒川郡大和町

#### ●事業概要

目的は、荒廃した島の山林に自然豊かな緑を蘇らせ、島のシンボル、そして、憩いの森として整備することである。主な活動は、平成20年度に植樹した広葉樹やそれ以降に植樹したマツ林での下刈りや枯れ木の除伐などである。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成20~27年)

主目的である育樹は徐々にではあるが成長してきており、成果は上がってきている。ただし、ヤマユリの個体数を増やすべく作業をしてきたが、そちらの方の成果はあまり上がっていない。

##### ②今年度新たに得られた成果等

島民のアドバイスを受けながら共同作業という形で育樹作業をしてきている。東日本大震災あった平成23年度以降は以前にも増して島民に寄り添いながら作業をしてきた。今年度は一層信頼関係が深まったように感じられた。

#### ●自己評価

- ・現場は、離島の為、天候次第でスケジュールに支障がでるという課題はある。しかし、今年度は2日間とも天候に恵まれ、計画通りに実施でき成果もあった。
- ・島民との信頼関係が深まってきている。今整備している山林整備を核にしながらも、活動範囲を拡大し島民が主体となって実施する荒れた遊歩道の整備などへの支援も実施したい。

#### ●参加者の声

- ・想像していたより雑草が繁茂していた。しかし、刈払った後の達成感はあった。(70代会員)

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
下刈面積	30人	30人
0.5ha		
実施場所：宮城県石巻市網地島浜		



刈払い



## 里山整備事業と 子どもの里山体験活動

### (特非) こが里山を守る会

茨城県古河市恩名

#### ●事業概要

平地林がゴミ捨て場に化し、著しく景観が損なわれているため、以前の景観を取り戻すべく平成21年に2.3haの平地林から産業廃棄物の撤去など、保全整備に着手する。並行して地元の小中学校に自然環境(里山)保全体験学習の場として活用することを提案し、生物調査・森の恵み・里山保全整備・植樹などの体験学習活動を実施している。5回目になる里山観察会は、5周年記念事業として植樹祭を開催した。市民及び総和北中生徒参加によりヤエザクラを植樹した。多くの市民の参加を得た活動は自然環境保全の啓発に繋がった。保全管理面積は、現在10.5haの平地林と子どもたち参加の体験活動を実施している。

#### ●事業成果

以前は荒れ放題の藪山に化し、かつゴミの不法投棄場所になっていた里山も自生した山野草も甦り、市民の関心が高まってきた。

#### ●自己評価

市民に活動が周知されてきたことにより、ゴミの不法投棄が少なくなってきたが、まだ不法投棄の根絶には至らない。環境保全に関わる課題は行政当局との連絡を密にし、根絶を図って参りたい。今後の課題は、里山の景観向上を図る活動として、市民が身近な里山に関心を持てる桜山に変えていく活動を展開したい。

#### ●参加者の声

午前中は里山の観察、午後は新緑の森の中でのコンサートを開催していることにより参加者は年々多くなっている。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
1.7ha	150本	4.1ha	1640人	1640人
樹種：コナラ、サクラ				
実施場所：茨城県古河市				



下刈り

## 茨城県県民の森「スギ採種園の跡地」 及び他フィールドの森林整備活動

### いばらき森林クラブ

茨城県ひたちなか市高野

#### ●事業概要

県民の森(茨城県那珂市)の一部にあったスギ採種園約1haを中心とした全体で約2haの荒地の不要木を伐採し、その後に広葉樹を植栽する。あわせて、当会の他のフィールド(水戸市あすなろの郷・水戸市森林公園・常陸大宮市花立自然公園・御前山青少年旅行村・茨城県内の小学校)の森林整備を行う。また植樹活動は児童情操教育の一環として児童と会員の協働作業を行う。

#### ●事業成果

県民の森では1年間を通して9回(会員参加数 延べ93人)の整備活動を実施した結果、雑草の伸びをおさえることができた。以前に植樹したイロハモミジとコブシが良く生育してきたので、形よく剪定作業を行い、またヒトツバタゴの成長を助けるため周囲の雑草を除去した結果、樹高1m以上になり、今後に期待できる状況となった。

#### ●自己評価

活動回数、参加会員数が前年度より増加し満足な成果があったと思う。植樹においては、穴掘り、施肥、水遣り、支柱方法などについて経験と話し合いにより植樹の技術が本年度も向上した。

#### ●参加者の声

・いばらき森林クラブが県民の森内での森林整備活動を始めて、今年度で11年目です。県民の森のスギ採種園跡地は年々成果が出てきており、すばらしい森林に生まれ変わっています。(県民の森管理者)

#### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.2ha	14本	2.3ha	3.2ha	420人	1人	421人
樹種：ナツツバキ、ハナミズキ						
実施場所：茨城県那珂市「県民の森」、水戸市「あすなろの郷」ほか						



ナツツバキほかを植樹(県民の森)

## 地域の子供たちを森へ誘う事業

### (特非) NPO 埼玉ネット

さいたま市北区日進町

#### ●事業概要

親子で触れ合いながら豊かな自然を持つ森林に親しみ、自然を愛し大切に作る心や、森林に対する理解を深めることを目的に、日進親和会（商店会）と地元子ども会などと協力して活動を行った。①森林体験活動として東秩父村と毛呂山町の山林において、下刈り・除伐・間伐・植樹・看板設置・観察会・安全研修、近隣調査、植樹準備などの森づくり教室を開催した。②どんぐり教室～どんぐりと遊ぼう～として日進小学校で、「どんぐりを育てよう」をスローガンに、森づくりの啓発活動を行った。

#### ●事業成果

子ども会や地域住民も参加し、下刈り、巻き付いたツルを切ったことから、林内の見通しが良くなった。また、子どもたちが、森林整備の大切さを学ぶことができた。

#### ●自己評価

##### 【森林体験活動】

東秩父村、毛呂山町、吉見町3か所で活動できた。

##### 【自然体験教室】

毛呂山町において、観察教室を実施。どんぐり育成地の下刈り、除伐ができ、参加者から好評であった。

##### 【どんぐりイベント活動】

～どんぐりと遊ぼう～「どんぐりを育てよう」をスローガンに、親子を対象に森づくりの啓発活動を行った。

#### ●参加者の声

- ・もっと多くの友達を誘います。(小学5年生)
- ・地域活動の広がりにも貢献している。(70代男性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付本数	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	計
50本	13.9ha	1.2ha	4ha	560人	560人
樹種：クヌギほか					
実施場所：埼玉県東秩父村、日高市、毛呂山町阿諏訪					



下刈り

## 東日本大震災復興支援緑化木苗育苗

### 東日本大震災復興緑化支援100万本植樹活動

千葉県山武市麻生新田

#### ●事業概要

2011年7月11日当会を発足し、植樹用の苗木を育成するものである。主な活動は次のとおりである。①被災地域での樹木の種子採取、挿し木用穂木の採取、苗木の山採り。②全国の幼稚園、小中学校などでどんぐりから育てた幼苗を受け入れる。③千葉県山武市山武育苗センターにおいて苗木を育成する。④作業は種子の播種、発芽管理、挿し木作業と育苗管理、⑤出荷可能な苗木の仕上げ、出荷作業、苗木の輸送作業。⑥被災地・東松島市矢本地区、浜市地区海岸防災林及び陸前高田市、大船渡市、石巻市などで植樹、植栽の指導と管理。⑦山武育苗センターでのボランティア活動受け入れによる育苗作業の指導。

#### ●事業成果

各地のボランティア団体や自衛隊員などの参加により、この緑化支援活動が被災地に伝わり、この苗木育成の活動の意義が認められてきた。また八街市の中学校の生徒たちによる育苗ボランティア活動は6年以上継続されている。

#### ●自己評価

- ・今年度は種子採取が8万粒ほど、山採り苗木が1000本、挿し木用穂木2000本ほど採取でき、さらに全国の幼稚園、小中学校などから幼苗を受け入れるようになった。今後は、より効率的な苗木育成を検討する必要がある。東北地方の海岸林再生活動に当たっては盛り土の性状が劣っており促成効果の実証試験を要している。

#### ●参加者の声

東北地方での苗木山採りや種子採取参加者は、大変勉強になると毎年参加したいと希望している。

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	県内	県外	計
1.3ha	1030本	400本	1.8ha	23人	232人	255人
実施場所：千葉県山武市、宮城県東松島市、石巻市、仙台市						



仙台市若林区荒浜地区での海岸防災林再生活動

## 「玉原高原ブナ林の復元を目指したボランティアによる森林整備」事業

### (特非) 玉原高原の自然を守り育てる会

東京都国分寺市東戸倉

#### ●事業概要

・伐採により一部がササ原となっている地域に、ブナを中心とする郷土広葉樹を植栽してブナ林の復元をはかり、生物多様性の回復を図ること、森林整備活動を通して環境教育に貢献することを目的としている。その主な活動は ①植栽区の地拵え、およびブナ及びブナ林構成樹種苗木の植栽 ②地取り苗木・ポット苗づくり ③既植栽苗木の生育阻害要因を除去するため、植栽か所ごと径2mのササ刈り ④既植栽苗木の生育状況の把握 ⑤環境教育の実施などである。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成20～平成27年)

・これまでにブナ苗木を1822本を植栽した。植栽苗木のおよそ85%が順調に生育している。  
・保育園児のブナ苗木植栽や一般参加者の自然観察によって、森林保護活動の大切さを認識している。

##### ②今年度新たに得られた成果等

・ブナ林の成立にはブナ林を構成するその他の樹種の生育も欠かせない要素であることから、玉原高原のブナ林を構成する樹種の苗木を植栽した。

#### ●自己評価

・事故もなく、計画に沿った作業が達成できた。  
・シカによる食害が認められたので対策が求められる。

#### ●参加者の声

・森林保護活動のあり方を学ぶことができた。(50代女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
2.0ha	189本	6.0ha	24人	258人	282人
樹種：ブナ、トチノキ、アオダモ、コシアブラ、ウワミスザクラ、ホオノキほか					
実施場所：群馬県沼田市					



保育園児によるブナほかの植樹

## 長野県北信地域森林整備活動

### (特非) 国際ボランティア学生協会

東京都世田谷区宮坂

#### ●事業概要

目的は森を守り、その周辺に暮らす人の生活を守るであり、主な活動は、①全国の大学生75人と地元の方21人での現地勉強会、②縦ヶ崎県有林での下刈り作業、③長野県須坂市井上での学生、地元の方々、関係者総勢53人で治山事業が行われた場所の流路工400mの整備と周辺草刈り、④長野県長野市若穂での地元の方々と鳥獣害対策として境界域700mの森林緩衝帯整備、⑤長野県長野市若穂で、ともに活動しながら森を守り・暮らしを守るということの浸透を目的とした現地交流会の実施である。

#### ●事業成果

成果は、縦ヶ崎県営林での下刈り作業、次年度に除伐する灌木21本の選定など次年度の活動計画への着手、須坂市井上で流路工の整備、長野市若穂で住宅地や田畑周辺の緩衝帯整備である。それ以外に事前勉強会や現地勉強会によって学生に活動意義や目的を浸透させ、さらに安全管理面のレクチャーも実施した。また、ただ活動するだけではなく事前・事後勉強会において、学生たちの森林整備に対する意識を大きく変えることができた。

#### ●自己評価

事前準備により作業の効率化、現地の方の参加などによって計画通りの成果を得ることができた。次回以降は早い段階から調整をはじめ、余裕を持って準備をしたい。

#### ●参加者の声

・地元の皆さんに、私たち学生の若さと元氣も届けることもできたのではないかと思います。(大学3年生)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	作業道整備	流水路整備	県内	県外	計
1.6ha	600m	400m	68人	231人	300人
実施場所：長野県信濃町、長野市、須坂市					



下刈り

# アースデイいのちの森

## いのちの森

東京都渋谷区代々木神園町

### ●事業概要

いのちと生物多様性を尊重する、社会づくり、暮らしづくり、人づくりに貢献するため、東京に集う人々のポテンシャルを活用し、生物多様性の源である豊かな森と生物に触れ、いのちへの眼差しと自然感性を養う。アースデイ・フェスティバルの開催を通して、上記、及び再生可能エネルギーの利用、3Rの推進、生物多様性の保護、自然環境との触れ合いと学びを促進し、普及啓発活動に貢献する。また、東京都心でも森づくりを行うほか、子供たちへ体験学習の場を提供する。

### ●事業成果

都市に暮らす年代層ごとのニーズや生活背景に合わせて、多様なアプローチを行った。

- ・アースデイいのちの森2017は、実施日：4月22日(土)～23日(日) 実行委員メンバー数：約200名 コンテンツ数：34実施した。五感を使った経験をすることで、意識が変化した、森を大切にしたい、などという感想があった。
- ・グリーンコリドープロジェクトは、どんぐりの苗を植樹するまでの一定期間育ててもらい「里親制度」を実施。緑を通じて、初めて出会う人たちが繋がり始めている。
- ・滋賀県、宮城県、茨城県で植樹を行った。

### ●自己評価

どんぐりの苗木里親制度や、森づくり植樹活動は、いのちの大切さを体感できたと好評なので継続したい。

### ●参加者の声

- ・フカフカの土を裸足で踏む気持ちよさを、大人になっても覚えていて欲しい。(里親制度参加児童の保護者)

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	都内	都外	計
6.7ha	310本	9万63人	78人	9万141人
樹種：シイ、カシ、ナラ				
実施場所：東京都渋谷区、滋賀県大津市、茨城県東茨城郡、宮城県黒川郡				



子どもたちに自然と触れあう場をつくった

# 広葉樹林帯における「自伐型林業」の森林整備と新たな流通開拓プロジェクト

## (特非) 持続可能な環境共生林業を実現する 自伐型林業推進協会

東京都新宿区西早稲田

### ●事業概要

環境保全型施業を貫く自伐展開による人材育成と合わせて、広葉樹の利用を広げる流通開拓と多様な山林に適合させた森林整備モデル検討を目的に活動を行った。

### ●事業成果

#### 【岩手県北上市及び周辺地域】

三菱製紙北上工場での、地域住民からのパルプ原木(広葉樹)買取システムが稼働し、広葉樹の出荷者が増加し始めた。また、岩泉町のチップ工場での買取システムも稼働し始め、田野畑町などの住民による出荷が始まった。

#### 【群馬県みなかみ町、滋賀県湖北地域】

みなかみ町は薪利用に特化した木の駅の開設の目途が立ち、滋賀県湖北地域では、長浜市が薪利用を中心とする広葉樹活用のしくみを動かし始めた。

#### 【北海道(白老町・別海町・池田町・ニセコ町)】

広葉樹施業を成立させている大西林業の施業を調査した。提案を実施した地域は、関心を示したニセコ町役場、別海町の環境保全団体、池田町役場に実施した。

### ●自己評価

本事業を通じて、「広葉樹施業方法を教えてほしい」という要望は全国各地から寄せられており、中山間地域の活性化には欠かせないツールになりそうである。

### ●参加者の声

- ・家具用原木が高いことに驚いた。(原木市場視察者)

### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
選木・伐倒・造材研修、広葉樹間伐研修 作業道開設研修、搬出研修	31人	47人	78人
実施場所：北海道白老町、岩手県北上市、群馬県みなかみ町、滋賀県長浜市など			



広葉樹の間伐研修

# 森林ボランティアの森林再生活動 (植栽・下刈・間伐など)による健全な森づくり事業

(公財) Save Earth Foundation

東京都大田区羽田

## ●事業概要

平成25年に千葉県山武市と保全協定を結び活動を実施している「日向の森」において、フィールドの潜在価値を再評価しながら、森林ボランティアの人材養成に主眼を置いた取り組みを推進した。主な内容は以下の通り。

- ① 自然観察会・観察エリア保全のための講習会を開催した。
- ② 自然観察会・講習会を行うための保全活動をボランティアを募り実施した。
- ③ グリーンウェイブモデルキャンペーンとして、国土緑化推進機構との共催イベントを開催した。

## ●事業成果

自然観察会と保全活動講習会兼保全活動を1日のプログラムとして、原則として各月2回、年間16回開催した。通常の観察会・講習会はSEFスタッフが講師を務め、危険作業の講習については千葉県森林組合に講師を依頼した。

「グリーンウェイブ記念植樹会」には約60人が参加した。

## ●自己評価

安全面と準備期間を考慮して、森林組合への整備委託が増えた。適切な指導を受け安全を確保し、極力ボランティアで活動を進められるよう体制を整えることが課題。

## ●参加者の声

・手を入れることの大切さと、自然の素晴らしさを体感できた。(40代男性)

## 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.1ha	120本	0.9ha	0.5ha	52人	106人	158人
樹種：スギ、ヤマザクラ						
実施場所：千葉県山武市「日向の森」						



スギ、ヤマザクラを植樹

# 住居周りの緑の環境改善および森の緑の再生(災害に強い)事業

## サンシティ管理組合

東京都板橋区中台

## ●事業概要

森林エリアの若返り・公園エリアの倒木の危険性のある高木のサクラを伐採し、災害に強い森づくりを実現すること、雑草根・瓦礫などを掘り起こして、野草をを植え込み、常緑の庭園づくりを実現し、住環境の改善を図った。

## ●事業成果

森林エリアには、サクラ・クヌギ・イヌシデ11本の世代交代植樹を行い、森の若返りを着実に進めることができた。公園エリアの腐朽が進行し、倒木の危険性がある、高木のサクラ7本を伐採し、次世代を彩る若がえりを図った。

住居まわりは、倒木・住環境を阻害していた高木を伐採し、12種類野草を植えた。また、別の場所125㎡に11種類の野草を植えた。

## ●自己評価

計画の事業は完成した。反省点としては伐採および植え込む野草の選定に時間を要したこと。

今後の課題：伐採木の合意形成時間の短縮・未庭園エリアの緑地化の実施日程の立案と住民の合意形成構築。

## ●参加者の声

- ・サクラ・ポプラが、災害の危険性があったことを知り、事前の対応の重要性を認識した。(住民)
- ・緑は光・水・空気を適切に維持する必要があることを実感。(東京テクニカルカレッジの生徒)

## 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付本数	野草植込	下刈面積	計
25本	3447株	0.13ha	362人
樹種：サクラ、ポプラ			
実施場所：東京都板橋区			



世代交代のための植樹

## 富士山休養林の森林整備

### 富士緑化応援隊

神奈川県藤沢市用田

#### ●事業概要

目的：静岡森林管理署が管轄する富士山休養林の森林整備で、植林後その時期が来た時に間伐・枝打ち・ツル伐りを行うものである。

内容：ヒノキ・スギの場合植林後おおよそ5年置きに整備する事が望ましいとされていて、申請によりボランティア活動で行っている。近年、シカによる食害が多発しているので食害対策も行う。

#### ●事業成果

ヒノキ伐採数：1040本 間伐対象木マーキング数：1880本 シカの食害対策した残存木は約50%。

シカ食害対策…間伐したヒノキを15m程に伐り、残存木の周囲に井型3段に積み上げる。

#### ●自己評価

静岡森林管理署（地球緑化センター経由）と年度ごとに林業体験活動を申請し認可される。この計画に基づき活動するが、参加者数・天候変動により計画が遅れる事が懸念される。

#### ●参加者の声

富士緑化応援隊活動のほとんどがチェーンソー作業である。チェーンソー作業に関連する作業を習得している。組立・ソーチェーンの研ぎ方・伐木作業の仕方・安全作業等々について実務で習得し他の活動でも活用できることに満足している。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
2.91ha	1.11ha	16人	208人	224人
実施場所：静岡県富士市				



枝打ち

## 里山保全ボランティアの若手現場リーダー育成研修

### (特非) よこはま里山研究所

横浜市南区宿町

#### ●事業概要

里山保全活動に参加する若手・初心者がの里山保全に必要な作業グループを指導する力や技術を身につけるため、「里山保全ボランティア若手現場リーダー育成講座」を4回（5日間）実施した。実施内容は次の通りである。

- ① 里山とその保全の意義の学習と里山保全で使う手工具を安全に扱うための実習
- ② コミュニケーション技術研修、里山ボランティアの現場リーダー論と安全管理、プランニング
- ③ チェーンソーを安全に扱うための実習
- ④ グループKY（危険予知）活動と伐木実践研修

#### ●事業成果

講習会参加者より、市内で里山保全活動をしている団体に新たに加入し活動を開始した参加者が確認された。

活動経験者においても、里山保全活動の安全意識を高めることができた。

#### ●自己評価

ほぼ予定どおりに実施することができた。

今回実施した講習会は、里山保全活動の入門編として位置づけたが、継続的に受講することが望まれる内容も多く含まれているため、プログラムの目的を明確にして、経験者も含めて参加を呼びかける必要がある。

#### ●参加者の声

・現場リーダーの役割や計画の作り方を学べるいい機会だった。今後の活動に役立てたい。(20代女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
研修会	県内	計
4回	60人	60人
里山保全ボランティアの若手現場リーダー育成研修（入門編、応用編）		
実施場所：横浜市		



林内での研修

## 水源林の保全・整備と 森林の多目的利用の推進

### (特非) かながわ森林インストラクターの会

神奈川県厚木市中町

#### ●事業概要

多くの企業や団体が森林整備に参加したり森林の利活用を進めるため、神奈川県足柄上郡にある「やどりき水源林」などで、間伐や除伐などの森林整備や植栽、間伐材を利用したコースターやリース作りを行った。森林の多目的利用として、水源涵養の普及啓発、森林癒やし体験、水生生物や自然観察を行った。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成24~27年)

森林整備や経路整備は定着化し、森の恵みを利用した工作も充実してきた。水源林の整備や水源涵養の普及啓発もできた。森林の多様な利活用や森林癒やし体験も希望も多くの多様なプログラムを展開できた。

##### ②今年度新たに得られた成果等

参加者が安全に間伐作業を行うため、新たな施業地で間伐作業を行った。森林の利活用のため、清流ウォーキングや里山遊びを新しく組み入れたプログラムを試行した。

#### ●自己評価

①年間600人近くの参加者を森林に招き、森林整備を進めることができた。②森林整備や森林の多様な利活用により、森林整備の必要性を理解していただいた。③森林整備と癒やし体験を含めた様々な利活用を交えたプログラムが多く参加者に満足感があつたようで、今後もプログラムの展開を工夫したい。

#### ●参加者の声

・すばらしい体験ができて、大変楽しかった。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付本数	間伐面積	県内	県外	計
29本	0.26ha	545人	42人	587人
樹種：ミツマタ				
実施場所：神奈川県松田町・南足柄市ほか				



間伐

## 山からの間伐材を活用した 町の公園整備

### 森林を楽しむ会

神奈川県川崎市多摩区寺尾台

#### ●事業概要

都市住民によるヒノキ林や雑木林の保全と、間伐材を土留め材やベンチ材に使った町の公園整備。

#### ●事業成果

平成14年より栃木県さくら市に、ヒノキ林の間伐や、雑木林の手入れに通っている。

同時に、小平市の中央公園の一角の整備を担当している。その公園には、13年11月に自分たちで矢板市の山に行き、間伐した材でベンチやテーブルを製作し、市に寄贈した。現在は、その部材の取り替え補修や土留め材に、さくら市の山から運んだ材を活用している。

#### ●自己評価

間伐作業後、山がすっきりと綺麗になるのは嬉しい。その材を運搬、加工して、ベンチとテーブルの傷んだ部分を24年度に交換した。また25年度からは、間伐材を土留めの横架材や杭材として活用している。

27年6月には、小平市からの要請で、小平市公園等アダプト制度に合意し、公園整備に一層関わる事となった。

課題としては、会員の平均年齢も上がり、若い人の加入が急務となっている。公園整備など、活動の内容は市民にも喜ばれ、やりがいがあるので、今後とも真面目に取り組んでいきたいと思っている。

桐生市での植栽の手伝いにも行き喜ばれた。役に立っていると思う。

#### ●参加者の声

山での作業で汗を流す事が嬉しい、気持ち良い。もっと木を使う活動がしたいなど前向きな意見が多い。

#### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1.5 ha	1.0 ha	1.0 ha	1.0 ha	44人	54人	98人
樹種：ササ、コナラ、クリ、マツ、ヒノキほか						
実施場所：栃木県さくら市、東京都小平市、群馬県桐生市						



さくら市での間伐

## 南高尾風景林の整備活動と 森林体験スクール事業

### 高尾グリーン倶楽部

神奈川県茅ヶ崎市浜之郷

#### ●事業概要

八王子市南浅川町梅ノ木平国有林、及び同国有林に設定されている部分林、隣接する民有林を対象に森林の整備を行うこと、作業フィールドや宿泊研修施設を活用して森林体験教育を行うことを目的にしている。

#### ●事業成果

①森林所有者と結んだ覚書に基づき、20haの間伐を実施、併せてツル切り、除伐、複層林整備、歩道整備などを行い、明るい健全な森林に生まれ変わった。②体験活動支援は、地域の子もたち、小中学生～大学生グループ、職場・地域グループなど多様なグループを対象に27回実施し、体験を通して幅広い層に森林保全意識を高めることができた。

#### ●自己評価

①間伐木が大径化しており、安全作業技術のさらなる向上が必要である。②体験活動は大変好評で要望も強いので、対応可能な範囲でさらに拡充していきたい。③また木材の良さを実感し木材に親しんでもらうため、間伐材の利用技術の向上が必要である。

#### ●参加者の声

- ・山を良くするためには木を切ることも必要だ。その木をもっと使うことが大事だ。
- ・間伐や除伐のあと森が見違えるように明るくなった。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
間伐面積	ツル切り除伐	都内	都外	計
2.0ha	3.0ha	1027人	132人	1159人
樹種：スギ、ヒノキ				
実施場所：東京都八王子市				



間伐

## 森林公園生物多様性復元事業

### (特非) 世界の砂漠を緑で包む会

金沢市大通町

#### ●事業概要

耕作放棄水田跡地に既存の水路を利用したため池を作り、水生昆虫や、絶滅危惧種であるギンヤンマ、オニヤンマやホタルの飛び交う環境の復元を目的として、草刈、間伐、枝打ち、枯損木の整備を行う事で生物多様性の復元を目指した環境整備を実施した。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成26～27年)

ため池の周辺整備を行い水路の確保や水路の丸太杭等で護岸整備をした。又湿地帯環境に順応性の高いショウブなどを植栽する事で若干の乾燥化に効果を得た。ため池にはカエル・トンボ・川エビ等の生息も確認できた。

##### ②今年度新たに得られた成果

里山環境の復元を通じて、豊かな土壌に四季を通じた推移が確認できた。

#### ●自己評価

当初計画の70%程度の達成率と思える。反省点として湿地帯の表面排水がうまくいかず又水路源流部からの土砂流入が予想よりも多く、水路の整備に繰り返し労力と時間を必要としたので土砂止めの堰を設置する必要がある。当会HPや広報誌や各種環境団体との連携を取り復元事業を広報し、多くの人に楽しんでもらえる地域にしたい。

#### ●参加者の声

- ・身近な森で山菜や野草と花を楽しめる事に驚いた。
- ・生物多様性を比較的短時間で取り戻す自然に感動した。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
1.9ha	60本	4.0ha	122人	122人
実施場所：石川県津幡町				



間伐、枝打ち、枯損木の整備などを行った



# 京都とかわだを結ぶ未来への森づくりプロジェクト

## 越の郷地球環境会議

福井県鯖江市中野町

### ●事業概要

荒廃が続く鯖江市河和田地区の里山、原因は近年の異常災害(豪雨や豪雪)やカモシカほかの被害により森林の荒廃が進行している。里山を守り育て担い手が不足している中で、京都の学生・福井の学生・企業等のボランティア・地域の住民が連携し、京都とかわだを結ぶ未来への森づくりプロジェクトを企画実行した。主な活動内容は次の通り。①どんぐりから命の森づくり(小学校の苗づくりと植樹)②荒廃している森林の整備③歩道整備④除間伐⑤間伐材を利用した木育活動など。

### ●事業成果

地域の住民、親子、県外の学生、企業ボランティア、障害者との連携により、草刈等の整備や植樹作業を実施できた。特に森づくり活動では小学校でどんぐりの種まき活動を行った。木育活動では、間伐材を利用し木育玩具を開発し認定こども園等で活動の輪を広げた。

### ●自己評価

計画以上に植樹する事ができた。除伐間伐材を利用した巣箱・プランター。木育おもちゃ商品開発につながった。

### ●参加者の声

- ・植樹の説明を聞いて、植えた後の育て方や大きくなるまでには大変だなと思いました。(小学生)
- ・間伐することにより生活必需品に変わっていくのがわかりました。(親子)

### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.23ha	1300本	0.5ha	0.3ha	1396人	53人	1449人
樹種：クヌギ、コナラ、シラカシほか						
実施場所：福井県鯖江市						



クヌギ、コナラ、シラカシほかを植樹

# 昆虫の住める森づくり

## (特非) 自然とオオムラサキに親しむ会

山梨県北杜市長坂町

### ●事業概要

目的は、国蝶オオムラサキの日本一の生息地である北杜市の里山林を保全し、未来に伝えるためである。主な活動は、放置され荒廃の一途をたどっている里山林の下刈り、間伐、風倒木の整理やオオムラサキの餌となるエノキ、クニギの苗を皆伐地に植樹して里山林を再生している。

### ●事業成果

#### ① 前年度までの成果等(平成20年～平成28年)

風倒木・枯損木が乱雑に放置され鬱蒼とした里山林が、明るくなりオオムラサキなど昆虫の住める里山環境に改善され、景観もよくなった。

アカマツ混交林が皆伐され放置状態であったが、地元企業、市民の協力を得て、クヌギなど広葉樹苗7万本を植樹し、昆虫のいる森づくりに貢献した。

#### ② 今年度新たに得られた成果等

これまでの活動実績が評価され、皆伐地の植樹活動や下刈り活動に協力的な山林所有者が多くなった。

### ●自己評価

NPO会員の積極的活動に加え地元企業の強い支援や市民の理解が得られて予定を超える本数を植えることができた。植樹地が予想を超える乱雑荒廃状態であったり、下刈り作業は、アズマネザサの繁茂する林もあり、労苦が多く進捗が悪い場合があった。総体的には、NPO会員の頑張りがあって、予定通り終了することができ満足度は高い。

### ●参加者の声

- ・里山とオオムラサキが深い繋がりがあることが理解できた。

### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
6.7ha	1万4500本	32.3ha	1.5ha	1900人	20人	1920人
樹種：クヌギ、モミジ、エノキ						
実施場所：山梨県北杜市長坂町						



ササ刈り

# 森林イノベーション ～住民参加の自伐林業でヤマ（森林） から地域を復活させる。

## 林業研究グループ 大岡森林塾

長野市大岡丙

### ●事業概要

地域でヤマづくりを実践するために知識とスキルを身に付けるための講習会を行う。意識づけの為の学習会、GPSによる現地調査の方法、安全作業の為の安全衛生教育・特別教育、実践の為の伐倒基礎講習会などを開催実施した。

### ●事業成果

(新規事業) GPSによる現地実地調査の方法を学びその活用など最新の知見を得た。安全衛生教育・特別教育では作業に潜む危険を再認識し機械の安全な取り扱いを理論的に理解でき作業に対する大きな安心を得られた。伐倒基礎講座では6日間の講習・練習により参加者全員が立木を伐倒目標の左右20cm以内に倒すことができるようになった。

### ●自己評価

地域に我々の活動をさらに認知できたとともにヤマへの関心を喚起できた。また講習会を通じて会員全体がスキルアップしこれからの活動への大きなステップとなった。今後は得られた知識・ノウハウを森林塾の活動を通じて地域に広めていく予定である。

### ●参加者の声

- ・日ごろ使っていた刈り払い機の取り扱いが間違っていたとは…(講習会・女性)
- ・目標通りに伐倒できるようになったので安心して作業ができます。(伐倒講習・男性)

### 実績とりまとめ表

行事名	参加人数
ワイヤーロープ講習、自伐林業学習会、GPS講習会 伐木 安全衛生教育、伐木 特別教育、伐倒基礎講習	計 146人
実施場所：長野市	



伐倒基礎講習（各自の作業をビデオにより確認）

# 沼津市千本浜クロマツ林を主体とした樹勢調査及び樹勢回復

## 静岡県立田方農業高等学校造景部

静岡県田方郡函南町

### ●事業概要

本研究の目的は地元沼津市千本松原クロマツ林を主体とした樹勢調査及び樹勢回復である。目視調査において、樹勢不良のクロマツが目立つため、砂浜を掘り起こし玉砂利を除去し、本校で培養したアーバスキュラー菌根菌と外生菌根菌を根系に接種し、土壌改良資材（竹炭、木炭）を施用し、通気透水性の改善として割竹挿入法を用いた。菌根菌接種においては調査を始めてから約1年なので菌根菌によって樹勢回復したとは断定できないが、根と共生をはじめたことは確認できた。

### ●事業成果

#### ① 前年度までの成果等（平成25年～27年）

クロマツ並木27本を炭と割竹挿入法で土壌改良処置を行い、市販の外生菌根菌を使い根に接種した。2年後掘り起こし再調査をした結果、発根促進、外生菌根菌の菌糸束を多くみられた。

#### ② 今年度新たに得られた成果等

アーバスキュラー菌根菌は野菜苗での接種実験では対照区に比べ、根生体重、葉茎重量ともに1.3倍から1.5倍増の実験結果となった。クロマツの根と共生状態が確認できた。

### ●自己評価

有意義な研究だった。本研究対象は樹木であり長い年月を経て結果が出る。今後の経過観察等の研究が必要である。

### ●参加者の声

郷土への愛着が湧き、樹に興味関心を抱いた。

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
1ha	420本	63人	2人	65人
樹種：クロマツ				
実施場所：静岡県沼津市				



土壌改良のため木炭・割竹挿入

## 水源地支援間伐作業

### とよはしきこり隊

愛知県豊橋市豊岡町

#### ●事業概要

「とよはしきこり隊」は、平成17年に発足、森林環境保全を目的に豊橋市内林地の間伐を中心に活動している森林ボランティア団体で、現在、会員17人で組織している。

本事業「水源地支援間伐作業」は、豊橋市内でボランティア活動する「とよはしきこり隊」が、水源地の森林整備に目を向け、水源地域を支援する目的で、豊川上流の新城市内宇連ダム周辺において、地元川合地区住民が管理する山林の間伐支援することを柱に、従来から継続している豊橋市内の民有林の間伐についても、支援するものである。

その他に一般市民向けの森林整備啓発活動や、隊の会員の募集に取り組み、新規加入2人を得るなどの成果を得た。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成22~23年)

過去平成22年、23年に東三河流域森林山主啓発事業において、チェーンソーなどが揃い、毎年、3ha規模の間伐を継続できた。また、水資源機構と協働での水源地支援、豊橋市の要請を受けての間伐講習会の実技指導など、会員の意欲を保ちつつ継続して活動の取り組んできている。

##### ②今年度新たに得られた成果等

資機材を購入でき、講習会の指導に活用できている。

#### ●自己評価

間伐作業を継続していることで住民に感謝されている。

#### ●参加者の声

豊橋市内の民有林の間伐では、山林地主より仕事ぶりへの信頼と感謝を、豊橋市からは、実技指導面を頼りとされ、感謝状を受けている。

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
間伐面積		
2.0ha	57人	57人
実施場所：愛知県新城市、豊橋市		



伐採講習会での実技指導

## 森林整備による地域貢献プロジェクト

### 親林会

愛知県尾張旭市長坂町

#### ●事業概要

森林資源の造成と機能の増進を目的として、主に県有林2カ所の間伐を実施、また県有林に隣接する竹林整備も追加実施した。愛知県心身障害者コロニーでは、利用者の安全確保を目的として枯損木の整備を実施。

加えて企業との連携活動では、富士山の植生回復の為、捕植活動を実施、県有林間伐体験において参加者の作業指導を行い、人材育成の一翼を担った。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成22~27年)

自主作業として、怒田沢・やまじ県有林、心身障害者コロニーにて間伐及び整理伐を実施してきた。また企業との協働作業として、富士山植林・捕植活動ならびに協働企業社員対象の伐採体験指導を行ってきた。

##### ②今年度新たに得られた成果等

主たる作業場所である怒田沢・やまじ県有林について、それぞれ5年間間伐作業をしてきた場所はおおむね完了し、H28年度は新たに別区画での作業を開始した。

#### ●自己評価

33日間の活動予定に対し、天候などの影響により止む無く10日間中止となったが、会員の協力により、別日程にて10日間作業日を追加することができ、当初の実働予定を達成できた。また、作業目標面積は若干下回ったが、本数ベースでは期間が2か月減にもかかわらず112%達成できた。

#### ●参加者の声

・森林保全は不可欠であり、より一層の活動推進が必要。

#### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
補植面積	補植本数	間伐面積	間伐本数	県内	県外	計
0.1ha	約300本	1.1ha	202本	322人	28人	350人
樹種：バッコヤナギほか						
実施場所：静岡県、愛知県						



富士山での補植

## 森の健康診断全国出前事業

### 森の健康診断出前隊

名古屋市中村区

#### ●事業概要

本事業は「森の健康診断」を全国からの講師派遣要請を受け講師を派遣することを主たる事業としている。「森の健康診断」とは植生の豊かさや、土壌、植栽木の密度などを簡単な道具とわかりやすいマニュアルで子どもから大人までが科学と五感で調べて、健康診断するプログラムである。特に小学校の授業に取り入れやすくプログラムの改善をし、実践しながら各地への普及定着を図ることを目指した。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成20~27年)

平成20年から始まった森の健康診断全国出前事業は、年々規模と地域と年代を広げてきた。平成27年までの参加者数は6000人(40都道府県)を超え、近年小学校での授業としての取り組みに力を入れてきた。

##### ②今年度新たに得られた成果等

小学校での授業での取り組みに特に力を入れた結果、プログラムの改善と同時にリーダー(講師陣)のスキルアップ(伝える力、森林・林業への造詣、安全対策など)注力し実践に反映することができた。

#### ●自己評価

出前要請には、質・量ともほぼ応えることができた。小学校への働き掛けも極めて積極的に取り組めた。プログラム・マニュアルの改善及びリーダーのスキルアップもほぼ達成できた。特に熟練を求められる小学校向けの森の健康診断リーダーの新規育成に課題が残った。

#### ●参加者の声

- ・木を切ったらポッカリ空が開き、地面にスポットライトのように光が入って凄かった。(小学5年男子)
- ・切りくずがいい匂いがした。(小学5年女子)

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
出前授業			
33回	604人	502人	1106人
実施場所：愛知、静岡、三重、岐阜、島根、山梨ほか			



授業として森の健康診断を行う学校が多くなっている

## 緑の森公園づくりと 斎王竹利道里山整備保全

### (特非) ういの郷クラブ

三重県多気郡明和町

#### ●事業概要

- ① 緑の森公園づくり・徒長雑木の除伐・資源化
- ② 公園管理道路の修景保全(客土・並木の植栽)
- ③ 斎王竹の道沿いの再生竹林の保全(間伐・下刈り・不良萌芽除伐・景観柵改修)
- ④ 再生竹林に隣接の荒廃竹林跡を圃場として、広葉樹(コナラ)を植栽し一部分を野菜園化。
- ⑤ 荒廃竹林内への作業道継続敷設。
- ⑥ 梅園及び果樹園管理(年間4回除草・追肥・剪定・補植)。

#### ●事業成果

- ① 除伐して、広葉樹を植栽する圃場を作ることができた。
- ② 除伐雑木の枝葉をチップ化し、公園内の散策路に布置し、幹はキノコ栽培の原木とし、細いものは炭化材とした。
- ③ 再生竹林で多くのタケノコが収穫できた。
- ④ 4年前児童が植えたウメが咲き、5月に実を収穫できた。
- ⑤ 道路沿いに植えたアジサイが修景の目的を果たした。
- ⑥ 再生保全した森林環境は、小学校・幼稚園の野外活動の場として、また市民の憩いの場となっている。
- ⑦ 里山再生保全と自然に親しむ意識が高まっている。

#### ●自己評価

- ① 28年度の事業は計画以上に進捗できたが、まだ目標の50%を整備したに過ぎない。
- ② 市民参加のPRと関連団体との連携を進める必要がある。

#### ●参加者の声

- ・整備されて感謝している。活動に参加したい。(市民多数)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
172本	0.22ha	1.2ha	1148人	4人	1152人
樹種：サクラ、モミジ、ツツジ、コナラほか					
実施場所：三重県明和町					



コナラ、クヌギ、アジサイほかを植樹

## 森林施業・林業生産等の体験と森林整備

### 府民の森ひよし森林倶楽部

京都市右京区梅津前田町

#### ●事業概要

府民の森ひよしにて、会員の森林に対する知識と技術向上の為及び、一般参加者による、森林作業の安全指導・技術指導を行い、森林の大切さと、自然に親しむよう各種イベントを開催し、交流を図る事を目的とする。今年度は、第40回全国育樹栽が府民の森ひよしにて平成28年10月に開催され、当倶楽部も全力を挙げて支援した。

① 育樹祭に先がけて、27年6月に会場から見える場所に植栽した。29年4月にはスズランも植えた。

② 育樹祭の会場設置の補助・設置後の養生も行った。

③ その間を縫って獣害被害の整備や植栽地の下刈りや28年1月の大雪の道路被害整備を行った。

#### ●事業成果

① 前年度までの成果等(平成25年~27年)

電気柵のある植栽地は被害は少なかったが、その他の場所ではイノシシの害が顕著で、整備に追われた。

② 今年度新たに得られた成果等

全国育樹栽の開催で、会場周辺及び会場内は整備され、イノシシの掘り返した後も綺麗になった。今年度は、一般家庭の所有する放置林の除伐・間伐を200m程実施した。技術向上が見られた。伐採した木々は炭材として利用。

#### ●自己評価

・除伐・道路整備で、安全面について今後気を引きしめる。

#### ●参加者の声

・暗い山林が、見違えるように明るくなった。(50代女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	府内	府外	計
0.2ha	50本	1ha	0.2ha	450人	350人	800人
樹種：モミジバフウ						
実施場所：京都府南丹市						



モミジバフウほかを植樹

## 下ノ加江川水系の森里川海のつながり再生プロジェクト

### (特非)いきいきみはら会

高知県幡多郡三原村

#### ●事業概要

高知県三原村と土佐清水市を流れる下ノ加江川水系において、川上の三原村側と川下の土佐清水市側が連携して森林整備を行う事により、森里川海のつながりを再生する事業を行う。森林整備、間伐作業は、自伐型林業の指導者を招き、軽機材での間伐作業の実務講習を受け、森林整備の人員を増やす。

#### ●事業成果

森林整備、間伐作業の実務講習の受講により森林整備を行うメンバーが、実践レベルで、間伐、造材、搬出、薪への加工などへの一連の作業を実施できるようになった。また村内及び周辺地域で、個々に活動していた自伐型林業を行っていた個人やグループ、自分の山を間伐したいが出来ずにいた山主、森林整備に興味があるが機会がなかった移住者などが、連携して活動する事ができた。

#### ●自己評価

昨年度に引き続き、専門家や経験者に、指導いただき、約2.0haの森林整備及び延長約400mの作業道、歩道ができた。三原村、土佐清水市の各メンバーが連携し、計画通りの成果が得られた。今後は、これらの経験を元に、自立し、地域内で森林整備エリア及びメンバーを増やし、川上、川下で連系するネットワークをさらに広げていきたい。

#### ●参加者の声

・作業道研修に参加して適切な作業道を付ける効果を実感することができた。(40代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
間伐面積	作業道	利用本数	県内	県外	計
2.0ha	490m	1021本	387人	21人	408人
実施場所：高知県三原村、土佐清水市					



作業道・間伐研修

## 里山保全振興活動

### (特非) いろね

熊本県玉名郡南関町

#### ●事業概要

この活動の目的は、荒廃している山林を、地元の方達と若者とが一緒に考え活動し、古き良き里山を育てることであり、主な作業は荒廃した竹林の間伐、整備。手が入っていないスギの間伐、小径木やタケの伐採。写真やパネルを使って環境保全の啓発活動である。

#### ●事業成果

竹林整備ではタケノコ掘り体験ができるぐらいに整備が届いた場所もあり、地主さんからは喜びの声が聞かれた。スギなどの間伐では、倒木があったりタケが入っていたり、うまくは倒せなかったが、1年を通して、ボランティアスタッフ側の成長へとつながった。初めて山作業を体験した方もおられ、「気持ちいですね」の声に、すごくやりがいを感じた。

#### ●自己評価

熊本地震もあり、計画どおりにはいかなかったが、ある程度の整備はできた。これからの課題はボランティアスタッフの継続的な参加と、作業計画書などの準備をしっかりとっていくこと。

#### ●参加者の声

- ・タケを放置するとこんなにも荒れるとは驚きでした。(30代男性)
- ・疲れましたが気持ち良かった。(10代女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
0.3ha	0.1ha	0.1ha	118人	25人	143人
実施場所：熊本県南関町、山鹿市					



タケの間引き

## 金華山の倒木・流木整備事業

### (一社) ブッシュ・クローバ・コミュニティ

仙台市青葉区赤坂

#### ●事業概要

目的は、東日本大震災及びその後の台風被害などで、多大な被害を受けた金華山の樹木の再生を目的とし、今年度の活動としては、①被害木(倒木・流木)の伐採、②伐採材の整理、③伐採材の搬出を行う。また、昨年度までの植樹作業で行った、防シカ柵の補修作業も行う。

#### ●事業成果

##### ①昨年度までの成果等(平成26～27年度)

公園内の植樹は、ほぼ一段落した。シカにより柵を壊される被害もあるので、補修を行いながら維持している。

##### ②今年度、新たに得られた成果等

今年度の作業として、倒木・流木の整備を行った。足場の悪い場所での作業なので、専門家の指導を受けながら、基本的な安全作業の技術習得からはじめた。無理せず、細い木の処理などを行った。

#### ●自己評価

- ・山道の脇で、地形が厳しく、年齢に応じた作業の区分けが必要と思った。
- ・太い幹の木は、技術的に難しかったので、今年度は、細い幹の木に絞った。
- ・基礎技術を習得するための、研修も行う必要がある。

#### ●参加者の声

- ・倒木を玉切りして、幹の大きなものは運べないので、その場に放置したが、神社で薪として使用していただくなど、有効利用を考えたい。(60代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.1ha	20本	0.1ha	1.0ha	15人	11人	26人
樹種：ヤマザクラほか						
実施場所：宮城県石巻市金華山						



防シカ柵の補修

## 三宅島復興森林づくり交流事業

### (特非) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

#### ●事業概要

2000年の雄山噴火による災害から復興を目指す三宅島における自然環境の再生活動および参加者の防災意識の向上を目的とする。噴火により木が枯れてしまった雄山中腹での植林と、現地ガイドの協力を得て、植林地の植生など、三宅島についての知識と防災意識を深める活動をした。

#### ●事業成果

##### ① 前年度までの成果等 (平成26～27年度)

地元村民の緑の再生をして欲しいという要望に応え、多くの参加者が植林活動に参加している。三宅島復興プログラムを通して、地域との交流を深め地域貢献活動を行うことで日本全体のよりよい環境づくりをする一助となった。

##### ② 今年度新たに得られた成果等

年々、若者の興味関心が高まっており、大学生を対象としたプログラムでは、植林作業だけでなく、教育の場にもなっている。現地ガイドの協力を得て、植林地の植生など、三宅島についての知識と防災意識を深める活動をした。

#### ●自己評価

今後も継続的な活動を進め、島民との交流を深めながら三宅島の緑の復興に取り組むとともに、森林のよき理解者を市民のなかから育成していくことが課題である。今年度は雨の中での作業になってしまい、植林できた本数が当初の予定より少なくなってしまった。

#### ●参加者の声

- ・再生する自然を目の前でみることで感動した。
- ・今後も引き続き参加して、自分が植林した木の生長を見守っていききたい。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	島内	島外	計
0.7ha	850本	14人	40人	54人
実施場所：東京都三宅村				



大学生も参加して植樹

## 緑の遺産「胎内」災害に強い森づくり

### 四季を愛する会

新潟県胎内市赤川

#### ●事業概要

松くい虫被害で喪失した海岸林を再生するため、地域住民や子ども達と一緒に海岸に適する広葉樹を3300本植栽した。同時にキックオフセレモニーとして、広葉樹で再生した海岸林や新潟県の海岸林整備指針を胎内市民に向けて講演した。

#### ●事業成果

地域住民や子ども達が植樹活動を実施したことから、地域の森との意識が育まれた。

#### ●自己評価

第1回目の植樹活動としては、天気にも恵まれ、大成功であった。今後はより地域の参加者を増やしていきたい。

#### ●参加者の声

子ども達は楽しんでいました。また、地域住民の方々は森づくりに参加してよかった、飛砂の害が軽減できると喜んでいました。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.7ha	3300本	300人	300人
樹種：エノキ、シロダモ、タブノキ、アベマキ			
実施場所：新潟県胎内市			



エノキ、シロダモ、タブノキほかを植樹

# 国民参加による災害強い森づくり事業

## (特非) 里山クリーン新潟

新潟県阿賀野市出湯

### ●事業概要

災害に強い森づくりを目的に森の再生が不可欠であり森を整備しコナラ、ブナ、カエデの苗木を植樹、地域の森を守る精神で子どもたちと保護者共に力をあわせ植樹した。

### ●事業成果

#### ①前年度までの成果等

平成26年度より荒廃している雑木林を整備し地域の緑の少年団、ボーイスカウト、スポーツ少年団、地域の高齢者などの協力で3haの面積を雑木苗800本植樹、育林。

#### ②今年度新たに得られた成果等

同地域の荒廃して森を更に拡大し作業道を整備し子どもたちが森の中で楽しく遊び体力、気力を育む環境を目標に、ツリーハウス、木登り、散策遊歩道などを森づくりと平行して整備目標にしている。

### ●自己評価

森の整備が拡大していき活動実績が実感できる環境で多くの仲間が集まり、それぞれが楽しむ事のできる環境エリアの構築に向って進んでいる

### ●参加者の声

原生林に囲まれ標高900mの連峰の裾野で森づくり活動ができる環境に参加者の感嘆の声が励みになる。子どもたちが自然豊かな環境の山で遊び森の恵みを体得できる事に感動している。

### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
15.5ha	400本	2.0ha	3.0ha	125人	10人	135人
樹種：コナラ、ブナ、カエデ						
実施場所：新潟県安田町						



コナラ、ブナ、カエデを植樹

# 山村と都市住民の交流・協働による海岸防災林やスキー場跡地等の森林整備事業

## (特非) 森のライフスタイル研究所

長野県伊那市荒井

### ●事業概要

森林整備を拡大していくためには、山村地域に暮らす人々と森林の公益機能を楽しむ都市住民との交流・協働を重ねていく必要がある。取り組み内容は次の通りである。

#### ・千葉県山武市(海岸防災林)

①下刈り(これまでの植栽地) ②枯損木の伐採と地拵え

#### ・長野県佐久市(コナラの森)

手入れ不足の人工林を薪が穫れる広葉樹の森へと再生させる ①形質不良木の伐採と地拵え ②植栽 ③下刈り

#### ・長野県長和町(スキー場跡地)

閉鎖されたスキー場の跡地を森に戻す活動 ①植栽

### ●事業成果

#### ①前年度までの成果等(平成25年~27年)

・クロマツは順調に育ち、防災林の再生が進んだ。(山武市)

・薪が穫れる広葉樹の森へと変化してきた。(佐久市)

・スキー場跡地の大部分が森へ再生されてきた。(長和町)

#### ②今年度新たに得られた成果等

・都市住民とのコミュニケーションが円滑に進み出し、森林の公益機能への理解が深まっている。

### ●自己評価

佐久市では県林業総合センターと相談し、秋植えを挑戦した。春植えと遜色がないことがわかった。

### ●参加者の声

・復興に役立つことができる喜びがある。(50代男性)

### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
1.5ha	4500本	4.5ha	152人	443人	595人
樹種：コナラ、カラマツ					
実施場所：千葉県山武市、長野県佐久市、長和町					



防災林の下刈



## 「銀林の恵み森活プロジェクト」で 山林災害を無くそう！事業

### 銀林の恵み森活プロジェクト実行委員会

島根県大田市大田町

#### ●事業概要

第一の目的は、森林整備と災害発生の因果関係の知識を習得し、それに基づく森林整備技術の向上である。第二は、森林整備に伴う作業の安全技術の習得と普及を目的に実施した。目的達成のために、次の活動を実施した。1. 災害に強い森林づくりをテーマとした講演会と現地研修会の実施 2. 安全技術研修会の実施 3. 森の健康診断の実施

#### ●事業成果

講演会と現地調査会を通じて、災害防止策のための間伐・選木の知識を得ることができた。特に全体の把握やどこに林分を残す必要があるかなど具体的な指示があった。また、健全なスギ林は、土砂災害に対する有効性についても知ることができ、山主さんの関心と励ましとなった。次に安全技術研修会は、基本的な姿勢を中心に研修が実施された。特に若い年代層には意欲があり、我流の修正能力が高かった。森の健康診断は、未間伐材の危険性や過密度等森林の豊さとはを知って頂くこととなった。同時に大田市における森の健康診断調査点数の蓄積ができ、関係方面への貴重な提供資料として活用が可能となった。

#### ●自己評価

より多くの山主さんに参加していただく取り組みが課題である。そのためには、引き続き事業を行い、事業価値の向上と主体者数の拡大を行っていききたい。

#### ●参加者の声

・除伐、間伐の正しいやりかた、残すべき林分を知ることができた (60代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
間伐面積 0.5ha	126人	126人
実施場所：島根県大田市、富山町、温泉津町		



モデル林での間伐・搬出

## みやぎ山元地区海岸防災林再生活動

### (特非) 生命と環境保全

宮城県白石市上久保

#### ●事業概要

【目的】歴史的に形成されてきた海岸林の再生

【内容】①地拵：有効土層の確保 ②植栽面積：概ね0.09ha  
③樹種：抵抗性クロマツ、シラカシ ④育樹マット敷設 ⑤下刈り：2回刈

#### ●事業成果

①昨年度までの成果 (平成28年度)

育樹マットの防草効果が見られる。

②今年新たに得られた成果等

5月から月1回育樹ボランティアを募集。6月は22人参加。1回2時間程度草取りなどの作業をお願いしている。コミュニティの再生を願って地元の寺が月1回始めた“てら茶房”と実施日を合わせたことで、町内外の参加者に好評を得ている。再生活動を通じて外部からの働きかけと地元の受け入れを繋ぐ役も果たせればと思う。

#### ●自己評価

地元住民の要請で大津波から7年目の慰霊祭の翌日に植樹祭を実行した。今年は植樹と同時に育樹マットの敷設も行ったが2時間程度で完了した。重粘土を含む植栽基盤を土壌改良した効果があった。

#### ●参加者の声

・昨年植樹した苗木の生長も拝見でき、有意義な活動でした。他の社員にも再生活動が広がるよう、今後工夫を凝らしていきます。(30代男性)

・植林地の成長はすごい。立派に育つことを祈ります。(60代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	新植本数	補植本数	県内	県外	計
0.09ha	746本	53本	58人	26人	84人
樹種：クロマツ、シラカシほか					
実施場所：宮城県山元町					



クロマツ、シラカシほかを植樹

# 宮城県名取市 「海岸林再生プロジェクト10か年計画」

(公財) オイスカ  
東京都杉並区和泉

●事業概要

約100haの海岸林・内陸防風林等の育苗(50万本)、植栽、下刈・除伐・つる切り等の保育を含む再生プロジェクトを、民間活力を導入し、官民の連携・協働をコーディネートして実施する。事業実施にあたっては、国や自治体等で策定される復興計画等に沿った上で、「名取市海岸林再生の会」をはじめとする地元被災農家等の雇用創出を図り、一般市民の参画をすすめながら復興の一端を担う。また、将来にわたって、地域社会によって森林保全活動が持続され、市民に親しまれる「名取市民の森」となるための基礎づくりや、全国の海岸林が、農業や生活を守るインフラであることを、多くの人々に理解されるための啓発活動を行う。

●事業成果

①前年度までの成果等(平成25～28年)

ニセアカシアが繁茂していたため除伐を行った。また、駆除対象の雑草に集中して下刈・除伐を行っている。

②今年度新たに得られた成果等

ツルマメグサ手で根元から抜くのが最も効果的で、クズは適期に刈り取ると同時に薬剤塗布するのが効果的。

●自己評価

安定的に事業を行えた。プロジェクト全体の運営をそれら変化を敏感にとらえて実施していきたい。

●参加者の声

・木を守る作業がこんなにやり甲斐あるとは思いませんでした。(女性ボランティア)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	育苗本数	下刈面積	県内	県外	計
10ha	5万本	18万本	36ha	800人	1100人	1900人
樹種：抵抗性クロマツ						
実施場所：宮城県名取市						



クロマツを植樹

# 上下流連携による継続可能な 循環型森づくり事業

やまづくりくらぶ  
東京都世田谷区若林

●事業概要

放置された群馬県川場村の人工林を下流域の世田谷区住民が地元の地権者などの村民と協力して整備する。その際に発生する間伐材を燃料に、近くにある里山の手入れで発生する広葉樹や竹林・松林の整備で発生する材などで炭焼きを実施する。また、当該年度に稼働する同村営のバイオマス発電所の燃料用に提供することで森づくりのサイクルを完成し、上下流が連携した持続可能な森の整備活動を確立する。

●事業成果

広葉樹の炭だけでなくマツやタケについても高品質の炭が出せるようになったことで、手入れがされていないマツ林や竹林の間伐がより進んだ。また、すでに間伐は終わったものの、燃料としては量が多すぎるスギやヒノキの間伐材については、現地に整理して放置しているものをバイオマス発電所に運ぶ方法を構築するための準備を進めた。

●自己評価

整備で出た炭材をすべて炭にできるサイクルを確立、その頻度も飛躍的に増加した。一方で、炭材の間伐や運搬・処理など炭焼き作業にかかる時間が多くなり、思うようにスギの間伐が進んでいない。

●参加者の声

地元参加者からは「炭焼きの頻度が上がれば、林の整備もする動機づけができる」という声があり、くらぶのメンバー(世田谷区在住)からは「炭の質もずいぶんと向上したので、やりがい大きい」との評価を得ている。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1.5ha	3.3ha	2.0ha	34人	144人	178人
実施場所：群馬県川場村					



炭焼き

## 山村住民と中京圏・都市住民との協働による森林ボランティア活動

### 森林・山村を守る中京圏都市住民の会

名古屋市昭和区滝川町

#### ●事業概要

本事業の目的は、広葉樹林の整備・拡大を通じて、水源地域の防災・水源涵養機能を高めることにある。

このため、岐阜県郡上市白鳥町でスギ成木を伐採し、跡地に都市住民と地元山村住民が連携し、コナラ、ブナなどの広葉樹苗木を行うと共に、苗木の食害を防ぐ防護網で個々の苗木を囲う作業などを行った。また、官公造林伐採跡地で、広葉樹の植栽と苗木の防護作業を行った。

#### ●事業成果

本事業による植栽地では、防護作業の成果もあってか、シカの食害はこれまでのところ見られず、苗木の成育も順調であった。スギ伐採と連動して行った広葉樹植栽は、施業方式上の新しい行き方を地域で追及する有力な契機となり、データの収集・整備などにも寄与することを期待している。

#### ●自己評価

28年秋・10月に実施した広葉樹の植栽活動は、今後の地域の森林管理の在り方を探求し、今後の指針作りなどに活用する上で、相応の役割りを発揮できると考えている。

#### ●参加者の声

・地元の労働力不足で森林の管理費・作業負担への懸念などから、こうした取り組みが阻害されることに対し、技術面・その他での克服策を今後真剣に検討することが必要。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.7ha	150本	0.4ha	18人	19人	37人
樹種：ブナ、コナラ、ケヤキ					
実施場所：岐阜県郡上市白鳥町					



伐採跡地にブナ・コナラほかを植樹

## 徳島県那賀町木沢 森林整備事業

### (特非) 烏雲の森沙漠植林ボランティア協会

徳島市佐古五番町

#### ●事業概要

那賀川上流域に、平成16年の台風被害を被った場所に保水力に優れているケヤキ等の広葉樹を中心に植林し、自然災害に強い森林づくりをめざしている。最近の課題はシカで、食害防止のため苗木に支柱を立てネットで巻く方式を採用している。また、シカがミツマタを食べない事が判明し、ミツマタを広葉樹の間に植えている。現地の「ミツマタクラブ」と協力・連携し収穫したミツマタを精製すれば造幣局が購入してくれるので、地域振興の一助になればと考えている。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成22年～29年)

継続して当協会の会員を中心に多くのボランティアが参加して広葉樹を植林してきた。

##### ②今年度新たに得られた成果等

引き続き広葉樹を植林し、平行してシカが食べないミツマタを植林する事で、シカとの共存や捕獲したシカをジビエ料理の食材として考えている。

#### ●自己評価

近い将来に向けた展望も開けて来ている。課題は会員の若返りが進まない事。

#### ●参加者の声

・スギ・ヒノキ人工林が地滑りに弱いという事を初めて知りましたが、できるだけ引き続き参加して、微力ですが早く自然が戻る事を願っています。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.5ha	1550本	12	1	13
樹種：ケヤキ、ミツマタ				
実施場所：徳島県那賀町				



ケヤキ、ミツマタを植樹

# 永続的な森林整備で豊かな森と災害に強い森を目指す収入を得る森業

## (特非) 土佐の森・救援隊

高知県吾川郡いの町

### ●事業概要

高知県仁淀川流域にて適正な間伐（2割以下）施業によるAB材及び林地残材の出材より、収入を得ることのできる永続的な森林整備で豊かな森と災害に強い森づくりを行った。本事業では、森林保全と長伐期優良大径材生産を軸に、針広混交林の山づくりを目指した。高密度の最小限の幅員の作業道を開設することで、全ての施業を小規模で行うことができ、間伐・択伐によって収入を得る自伐型林業の普及・啓発を目的とした。内容は、自伐型林業の研修及び実践をととして普及・啓発を実施した。

### ●事業成果

#### ①前年度までの成果等（平成26～28年）

自伐型林業の普及に努め、県内300人以上の自伐林家を輩出することができた。

#### ②今年度新たに得られた成果等

今年度事業では、仁淀川流域において150人以上の自伐林家が育ってきた。（高知県中央西林業事務所調べ）

### ●自己評価

毎年、自伐型林業研修を開催することにより、じわじわと広がりを見せていた昨年までだったが、今年度は一気に開花し、自伐林家数が大幅に増加する結果となった。

### ●参加者の声

- ・基本技術を学べば誰もがができることがわかり、不安が払拭できた。（林業に関心のある研修生）
- ・低投資で参入できることと、高密度路網の開設により少人数でできるとわかり意欲がわいてきた。（研修生）

### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
研修	研修	研修	県内	県外	計
作業道開設	森林経営	間伐等	180人	15人	195人
実施場所：高知県佐川町、日高村					



間伐などの研修



---

# 緑化の推進

---

# 獅子吼 森のふれあい音楽会

## 「つたえよう 美しき森」推進委員会

金沢市古府

### ●事業概要

当委員会では、森を知るにはまず森に行き森に親しむことから始めようと平成17年から「おい！森に行こう」をスローガンに、県民参加型の様々な事業を行っている。

その1つであるこの事業は、若い人達に音楽を通して森の大切さを伝えようとの趣旨で行っている。また、高原での植樹やトレッキングのほか親子での工作教室などの実施を通して森林保全の必要性をアピールしている。

### ●事業成果

白山市の獅子吼高原を会場に、5組約100人が野外ステージで音楽を通して森の大切さをアピールした。来場者は延べ約500人。当日は昼前から時より降る雨の影響で演奏を度々中断せざるを得ない状態となったが、会場は終日、多くの聴衆で賑わった。

山頂の森の遊歩道を散策するトレッキングは、朝からの強風で移動手段のゴンドラが運休したため、急きょ山麓での散策に切り替える。コナラの植栽は予定地が山頂であったことからやむを得ず中止に。翌日、参加者に代わって事務局がコナラの苗を植樹した。

### ●自己評価

イベントの内容変更・中止は主催者としても辛く、来年度以降は極力、天候に左右されない仕組みを検討したい。参加者の声にもあったが、音楽会、トレッキング&植樹、工作教室をもっと拡大させるか、第4のイベントを構築するかして「人々を森に誘う」という主目的を成しとげたい。

### ●参加者の声

・こうした場所（森）でのんびりできる。

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.1ha	20本	49人	49人
樹種：コナラ			
実施場所：石川県白山市			



コナラを植樹

# エコキャンプ2016

## エコキャンプ2016実行委員会

岡山市北区柳町

### ●事業概要

植樹会、自然観察会、木工教室などを実施し、親子で自然を体験、感動を得るとともに地球環境に対する理解を深め、広く環境保全に導く。あわせて「緑の募金」に対する認識を高める。親子130人が参加し①クチナシ、ヤマモモ、サクラの0.05ha・90本の植樹②自然観察教室（森林インストラクターによる指導）③木工教室（竹とんぼ・竹笛作り）④エコ体験教室⑤エコドライブ⑥キャンプファイヤー⑦天文台での天体観測などを実施。

### ●事業成果

野外活動を通じて、参加者が森を守り育てていこうという気運が盛り上がった。植樹会では森林インストラクターの指導を受けながら苗木90本をスコップを使い丁寧に植え付け、将来大きく育つことを願った。また、木のおもちゃ作りや自然観察会などの実施によって、普段、森林と触れ合う機会が少なかった参加者は環境保護への関心を高めた。

### ●自己評価

計画通り植栽でき森林の大切さや環境保全の啓発につながった。今後は参加者がキャンプを通じ、より森林環境教育ができるよう、新しいプログラムなど考え実行していきたい。

### ●参加者の声

- ・みんなが植えた木が大きくなったらいいな。また植えた木がどうなっているか見にこよう。（小学1年女子）
- ・森林は水を蓄える緑のダムや土砂崩れをおこさないよう山を支えていることなどが学べた。（中学2年女子）

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.05ha	90本	128人	2人	130人
樹種：クチナシ、ヤマモモ、サクラ				
実施場所：岡山県赤磐市				



クチナシ、ヤマモモほかを植樹

# 日豪環境ボランティアプログラム2017 in松代—森林保全で蘇る、里山の暮らし—

## (特非) 十日町市地域おこし実行委員会

新潟県十日町市中条庚

### ●事業概要

目的は、「里山を保全する」ということの中身をしっかりと考え、理解し、作業を行い、その結果として里山を保全するということであり、主な活動は、①豪雪の里山の重要性を生物多様性と人々の暮らしとの繋がりなどから学ぶ。②林道を整備し、森を守るために人が山へ入り易くする。③スギを除伐、間伐し、昔ながらのブナの多い林にすることで水を守ることに貢献する。また、除伐や間伐の促進のためにスギの利用を考える。④山の水を使った田んぼで田植えをし、その米を食べることで水の大切さや恵みを知る。

### ●事業成果

今回の活動で、現在は使われていない古道を整備することで地元の方に道を再認識していただき、その道を普段の山仕事へ利用できるようになることで、里山の荒廃を食い止めるきっかけになるための活動を行った。

広範囲の林道整備を行うことができた。それによって、地域の方々の山へ仕事をしに行くという機運が高まり、都会との田舎体験交流などでも林道を利用するようになった。また、間伐した杉を使い、林道にベンチやテーブル、展望台など制作、設置するきっかけとなった。

### ●自己評価

- ・豪雪の里山に関しては、理解していただけた。
- ・スギ間伐などを継続することができるかが今後の課題である。

### ●参加者の声

- ・地域の方のお話を伺い、自分たちの活動の意味を理解しながら意識を高く持って作業に取り組むことができた。

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
1.1ha	0.8ha	74人	40人	114人
実施場所：新潟県十日町市松代				



伐採木の運び出し

# げんきの森づくりと森の学習活動

## (特非) 森林遊びサポートセンター

札幌市南区藤野4条

### ●事業概要

目的：学校林で森林環境教育体験から、自然や森林を大切に育む心を作る。内容：①植樹準備の地拵え作業とコースターづくり②植樹作業③下刈り作業④遊歩道等環境整備作業⑤子ども樹木博士認定（子ども樹木博士認定活動推進協議会の認定基準による）を実施した。

### ●事業成果

#### ① 前年度までの成果等（平成19～28年）

平成16年の台風被害の復旧と子どもたちの森林環境教育活動の継続により森の整備も進み、植樹した花木の開花は子どもたちの喜びでもあり、さらに森に親しみ、保護者を含めて森を大切に育む心を作る。

#### ② 今年度新たに得られた成果等

昨年度までの植栽地のエゾヤマザクラがエゾシカの被害による被害にあい、その補植作業が主体となったが、今年は添え木などによる被害の防止を図った。

### ●自己評価

学校林「小鳥の村」のげんきの森づくり体験活動が学校と保護者の恒例体験活動として定着したことは、学校と保護者のご協力と、活動経費の交付を受けての活動であり、計画通りにできたことを感謝している。

### ●参加者の声

- ・地ごしらえでカマを使ったときには、手や足が切れてしまいうんじゃないかと思いながらやっていました。コースター作りでは、切り終わった時にすごく達成感がありました。（小学5年女子）

### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	地拵え	道内	計
0.1ha	30本	2ha	0.1ha	164人	164人
樹種：エゾヤマザクラ					
実施場所：札幌市					



エゾヤマザクラの植樹



# みんなで作る・未来へつなげる 森と水辺の里山づくり事業

## (特非) 登別自然活動支援組織モモンガくらぶ

北海道登別市鉾山町

### ●事業概要

本事業は、里山づくりに様々な方が関わり、100年後の子どもたちにつないでいくための仕組みづくりの再構築を目的とし、①植樹等の体験活動の実施、②子どもたちとつくる里山ゾーンの充実、③勉強会、事例視察の活動を行った。

### ●事業成果

- ・体験活動はのべ34人のボランティアスタッフの関わりがあり、参加者には約3割のリピートがみられ今後里山づくりに関わりたいという声が聞かれた。
- ・子どもたちと創る里山ゾーンでは、水車小屋、小川を整備し多世代が集える場の創出ができ、森と水辺の空間の良さを多くの利用者とともに実感することができた。
- ・勉強会では、林業関係者とのつながりが創出され、学びを深めることができた。

### ●自己評価

里山を利用する、活動に参加する、ボランティアスタッフ（提供する側）として場を創る、という様々なステージで里山づくりへの関わりが創出できた。活動を通して得た学びや気づきを、今後の活動、そして100年後につないでいく森づくりへと活かしていく仕組みを進化させていきたい。

### ●参加者の声

- ・小1の子どもが100年後につなげる里山づくりの計画を考え発表している姿をみて感動した。(30代保護者)
- ・林業に関わる視点から鉾山の森を改めて学ぶことができた。(70代男性)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	道内	道外	計
0.08ha	80本	0.09ha	0.09ha	196人	1人	197人
樹種：ミズナラ、キタコブシ、ホオノキほか						
実施場所：北海道登別市鉾山町						



ミズナラ、キタコブシ、ホオノキほかを植樹

# 新たな市民協働の森づくり

## 帯広の森を育む会

北海道帯広市南町

### ●事業概要

目的は、新たな形の森づくり手法と市民協働のあり方を検討するとともに、地域住民、とりわけ子どもたちの森林、環境への意識醸成を図ること。主な活動は以下のとおり。

①市民協働の森づくり：市民参加行事による森づくりの実践。②馬と一緒に森づくり：間伐木を馬で林外に搬出する馬搬を実施。③学校等と連携した森づくり：小学校、幼稚園等と連携し、森づくり活動に取り組む。

### ●事業成果

市民協働の森づくりとしては、簡単に行えるチョウセンゴヨウの抜取り作業を中心に実施し、成果を実感することができた。馬搬作業が林床にほとんどダメージを与えないことが実証され、また馬が森にいることで市民が森に親しみやすくなる効果も確認できた。地域の学校等との取組みでは、様々な機関と連携して実施することができた。

### ●自己評価

林床にはびこっていた外来のチョウセンゴヨウ2万5000本の実生を抜き取ることができ、林床が明るくなった。様々な人が参加する手作業でも森づくりを進められることが実感できた。

### ●事業をよく知る関係者の声

- ・森は子どもたちの自主性や感受性が発揮される場であり、また様々な世代が交流しあう場としても魅力があることが分かった。今後の取組みにもぜひつなげていきたい。(NPO会員)

### ●参加者の声

- ・自分たちにもできることもあることがわかりました。森に癒されたい一日になりました。(40代女性)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	間伐面積	道内	計
0.05ha	20本	2ha	531人	531人
実施場所：北海道帯広市 帯広の森				



林内の稚樹を移植

## こどもからお年寄りまで元気になる 森づくり事業

### 羽幌みんなでつくる自然空間協議会

北海道苫前郡羽幌町

#### ●事業概要

こどもからお年寄りまで森に携わり、植樹・森の維持管理作業や動植物の観察などを行い世代間の交流を行う。多くの方々に、ビオトープ公園「自然空間はぼろ」を知っていただき、記念植樹などを体験し関心を持ってもらい会員の拡大をめざす。ビオトープ公園の中で見ることでできる動植物を分かりやすく説明するパンフレットを作成する。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果など（平成16～28年）

7haの町有地を借り、自然を観察し守るべき自然を体験できるビオトープ公園づくりを目指して活動してきた。

##### ②今年度新たに得られた成果など

4月に転入して来た町民に対しビオトープ公園の説明会と植樹会を行っている。公園の案内パンフレットを作成した。色々な気づきの機会が増えることを期待している。

#### ●自己評価

案内パンフレットは、地域で観察活動をしている方々に写真や情報を提供していただき、ポケットサイズで良いものができた。交通機関・観光施設などにパンフレットを設置し利用者を増やしたい。

#### ●参加者の声

・転勤で初めて羽幌町に来て説明会に参加し記念に植樹をしました。その後も月例の活動日に参加させていただき、たくさんの知り合いができた。(30代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	計
1.6ha	653本	7ha	504人	504人
樹種：サクラ、ヤチダモ、ミズナラ、カシワ				
実施場所：北海道羽幌町				



サクラ、ミズナラほかを植樹

## 地域の暮らしに根づいた 「フォークロアの森づくり」の推進

### (認特) 共存の森ネットワーク

東京都世田谷区

#### ●事業概要

目的は、「森の名手・名人」の知恵や技に学ぶことを通して、森づくり・地域づくりに関心のある若者のネットワークを広げることである。主な活動として、北陸地区では里山の整備活動や林業現場見学、関東地区では草刈りや除伐、九州地区では草刈り、東海地区では植樹地の手入れや竹材の活用等を行った。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等（平成22～27年）

里山整備については、長年関わってきた地区での整備がひと段落着き、地元住民との関係性も築けてきた。

また、地域の暮らしの中で継承されてきた里山資源の活用方法等についてまとめた冊子を作成し、地域の方に配布すると共に地域のPRに活用いただいている。

##### ②今年度新たに得られた成果等

引き続き里山整備をしながらも、課題としていた「活動内容の見直し」について、参加者と地域側で意見交換をし、方針を決めることができた。北陸地区、関東地区では毎回の活動で新規参加者の獲得もできた。また、新たな地域での活動の可能性も模索できた。

#### ●自己評価

話し合いの場を設けて活動内容の見直しをするとともに、今後活動を継続する地区と一時休止する地区を精査し、また、新たな活動候補地を検討することができた。

#### ●参加者の声

・下刈りは地道な作業だけど、とても大事なことなんだと思った。これからも地域に関わっていきたい。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
2ha	1.82ha	27人	89人	116人
実施場所：新潟県村上市、千葉県市原市、愛知県豊田市、福岡県八女市				



伐採したタケで灯籠づくり

## 震災地域における学校教育環境向上のための緑化事業 (壬生町立壬生北小学校学校林)

(公社) とちぎ環境・みどり推進機構

宇都宮市竹林町

### ●事業概要

東日本大震災の影響などにより、活動が制限されている緑の少年団が学校林を活用した環境保全活動や校内緑化活動に取り組むことで、活動の機会を増やし、学校全体の活性化を図る。また、学校林の間伐、苗木の植樹活動を行うことにより、学校教育環境の向上と森林環境教育を推進し、児童の緑化意識の高揚を図ることを目的に、学校林の間伐、苗木の植樹、植樹祭を実施した。

### ●事業成果

学校林(約0.29ha)の間伐、苗木の植樹を行ったほか、11月22日に植樹祭を実施した。

### ●自己評価

予定された事業は、計画通り実施することができた。

### ●参加者の声

- ・間伐された学校林が、これからどのように成長していくのか見守りたい。(児童)
- ・新たに植えた樹木に、どんな昆虫が集まるのか、その様子を観察したい。(児童)
- ・今後より一層、学校林を活用した森林環境教育に取り組んでいきたい。(学校長)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付本数	間伐面積	県内	県外	計
30本	0.29ha	114人	2人	116人
樹種：クスギ、エノキ、ケンボナシ				
実施場所：栃木県壬生町(壬生北小学校)				



学校林の間伐

## 震災地域における学校教育環境の向上のための緑化事業等 (松島町立松島第五小学校)

(公社) 宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤通雨宮町

### ●事業概要

東日本大震災被災地で学校敷地内の緑化などによる環境整備を行った。主な実施項目として①野鳥観察園の整備・観察塀の整備・補修 ②看板の修復・製作・設置 ③校地内樹木の剪定・過密箇所の間伐など

### ●事業成果

①前年度までの成果など(平成28～29年)

校地内の高木の剪定作業を行い、日当たりを良くし枯れ枝などの落下による危険を回避することができた。

②今年度新たに得られた成果など

野鳥観察園の樹木の整備や観察塀の修復、校地内の樹木の伐採などを行った結果、子どもたちが自由に林内に出入りすることができるようになり、のびのびと遊んだり、学習で利用することができた。植樹祭は、森林環境の大切さについて学べる場となった。

### ●自己評価

- ・作業により、学校敷地内の緑化環境が整備された。
- ・天候によって作業が計画通りに進まないこともあったが、臨機応変に作業内容を変更しつつ行った。
- ・整備後の緑化環境を維持していくためには、PTAや地域住民などの協力が必要である。

### ●参加者の声

- ・植えたサクラを大人になったら見に来たい。(小学生女子)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	剪定面積	伐採本数	県内	計
3本	0.03ha	3本	244人	244人
樹種：サクラ				
実施場所：宮城県松島町(松島第五小学校)				



高木(サクラ)の剪定

## 震災地域の学校教育環境向上のための緑化事業（白子町立白瀧小学校）

### 白子町みどりの少年団育成協議会

千葉県長生郡白子町

#### ●事業概要

九十九里海岸に面する白子町は、東日本大震災では海岸保安林が津波の被害を受け、松くい虫による被害も重なり大きな打撃を受けた。海岸保安林の飛砂防止、防風（潮）などの機能が低下し、台風他、悪天候時の影響、打撃は予想以上に大きく、幹折れなどの二次的被害が相次いで起きている。白子町ではサクラの名所づくりを行っており、町民（児童生徒）は誰しもがサクラに対する思い入れが深い。学校内のサクラがこれら被害を受け誠に残念な状況にある。サクラは震災を経験した児童達の心を癒し、学校を明るく彩ってくれていた。そんな子ども達が大好きなサクラを改めて植栽し、学校教育環境を整備する。

#### ●事業成果

事業をとおりサクラを新たに植栽したことで、校庭に彩りが戻り、児童達の心を癒し、学校全体が明るくなり教育環境向上につながった。

#### ●自己評価

計画通りの植栽本数を植栽することができた。今後の課題としては、地域柄潮風を受けやすい環境にあるため、桜の定期的な管理が必要である。

#### ●参加者の声

- ・さみしかった校庭にサクラが戻りうれしかった。
- ・大人になったら子どもに自慢したい。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植栽	抜根	県内	計
9本	6か所	40人	40人
樹種：サクラ			
実施場所：千葉県白子町（白瀧小学校）			



サクラを植樹

## 震災地域における学校教育環境向上のための緑化事業（南相馬市立大甕小学校）

### （公社）福島県森林・林業・緑化協会

福島市中町

#### ●事業概要

##### 目的

東日本大震災等の影響で野外での活動が制限されている子どもたちに、緑の少年団を結成し、環境緑化に取り組み、学校全体の雰囲気明るくする。

学校の敷地内の植樹活動を行い、教育環境の向上と、森林環境教育を推進する。

- ①校地南側の倒れかかっているサクラや針葉樹を伐採し、伐採した木々を利用して、東屋とそこに置くテーブル、ベンチを製作した。
- ②50年位前に設置した、劣化したタイヤを外し、代わりにステップ丸太を埋め込んだ。

#### ●事業成果

子どもたちは、ステップ丸太を工夫しながら、休み時間に遊べるようになった。

#### ●自己評価

おおよそ予定どおり、達成できた。反省点は、天候に左右されることが多く、計画を若干変更せざるを得ないところもあった。今後の課題は、ステップ丸太の塗料について、色が褪せてきたので、再度塗る必要がある。

#### ●参加者の声

- ・木の名前を調べることは勉強になった。（小学5年生）

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
植付本数			
9本	136人	2人	138人
樹種：カシワ、サクラ、ハナミズキ			
実施場所：福島県南相馬市原町（大甕小学校）			



カシワ、サクラ、ハナミズキを植樹

## 東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！ Project-D

### (公財) 日本環境協会

東京都中央区日本橋馬喰町

#### ●事業概要

目的は、被災地の子どもたちを応援する気持ちを届け、復興を支援するとともに、地域の生態系に配慮した緑化に貢献することであり、主な活動は、被災地（岩手・宮城・福島）に植える広葉樹（どんぐり）の苗木を、被災地周辺でとれた種子を使って育て、植え戻すことである。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等（平成23～28年）

苗木の里親や植樹等の活動に参加した人たちに、これからも被災地を応援しようという気持ちをもってもらうとともに、地域の生物多様性を維持することの大切さを理解していただけた。

##### ②今年度新たに得られた成果等

岩手県北上市と福島県郡山市で植樹を行い、プロジェクトで育ててきた苗木を全て植え終えることができた。また3カ所の植樹地で子どもたちと一緒に下草刈りを行い、苗木を植えた後大きく育つためには人間の手助けが必要であることを、体験を通して伝えることができた。

#### ●自己評価

プロジェクトで育てた苗木を全て被災地に植え戻し終えた。今後の保育は長期間にわたるので、補植・施肥・除草等をしっかり行える体制を整えたい。

#### ●参加者の声

・植えた後が大事だという講師の話聞き、その通りだと思った。草刈りにも参加したい。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.5ha	300本	0.5ha	104人	73人	177人
樹種：コナラほか					
実施場所：岩手県北上市、宮城県東松島市、福島県郡山市					



コナラほかを植樹

## 「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業（米川地区）

### (公社) 宮城県緑化推進委員会

仙台市青葉区堤道理雨宮町

#### ●事業概要

緑とのふれあいなどを通して、沿岸被害住民と山村住民の交流も図りながら、東日本大震災からの復興を誓うと共に森林づくりの重要性を普及する。

#### ●事業成果

沿岸被災住民と山村住民の交流のきっかけとなり、地元米川地区住民の方々と絆が深まった。また、沿岸被災住民の人々にとっては、初めての森林作業体験を通して森林づくりの魅力を感じ取っていただいたようで、次回も是非参加したいという意欲を示してくれた。

#### ●自己評価

実施の際は、イベント開催時期を参加者の都合にも合わせる必要があり、催事内容を統合して同時開催せざるを得なかった時もあったが、所期の目的は達成できたものと思う。日程設定の難しさを感じたので、今後は工夫していきたい。また、参加者の方々には、森林に深く興味をもっていただき、沿岸被災住民と山村住民の交流をきっかけに、被災者の心の癒しの時となるような森林作業体験イベントを計画したい。

#### ●参加者の声

・震災などによる将来の不安などを、一時的でも森林で癒された。（南三陸町 75才男性）  
 ・森林作業体験で米川地区住民の方々との交流が深まった。今後も継続してほしい。（南三陸町 72才女性）  
 ・浜育ちの私たちが森林イベントなどに参加し国土の緑化や森林の大切さを知り、交流により震災復興に頑張る気持ちの後押しとなった。（南三陸町 73才男性）

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	下刈面積	県内	計
0.2ha	0.2ha	150人	150人
樹種：ヤマザクラ			
実施場所：宮城県登米市東和町（米川生産森林組合有林）			



ヤマザクラほかを植樹

## 第五次緑と木を通じた子供たちのふれあい事業

### (公社) 青森県緑化推進委員会

青森市松原一丁目

#### ●事業概要

本県太平洋側の東日本大震災被災地域（八戸市、三沢市の幼稚園・保育園（所）（各市2施設計4施設）を対象に、花木の植樹（県産材使用プランターも含む）及び県産材を使用した積木を寄贈した。

#### ●事業成果

地元テレビ局や新聞社の取材を受け、ニュースとして県内に放送され、また、県内の有力紙に掲載された。

被災地域の園児の植樹や県産材を使用した積木で遊ぶ事がマスコミに取り上げられ、緑の募金事業の啓発につながった。

#### ●参加者の声

- ・咲く花を早く見たい。
- ・友達と積み木でいっぱい遊びたい。
- ・積み木からいい香りがする。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	木製プランター	県内	計
0.003ha	72本	24基	80人	80人
樹種：ドウダンツツジ、ヒノデツツジ				
実施場所：青森県八戸市、三沢市				



県産材を使用したプランターにツツジを植樹

## 震災地域における学校教育環境の向上のための緑化事業等（陸前高田市米崎小学校）

### (公社) 岩手県緑化推進委員会

盛岡市中央通三丁目

#### ●事業概要

目的は、緑に囲まれた自然環境を整え、仮設住宅撤去後の校庭使用の際に、安心して遊ぶことのできる憩いの場をつくることである。主な活動は以下の通り。

①緑の少年団を結成し、紅白のヤマボウシ7本を復興祈念として植樹、②校庭にある「石公園」や「観察池」の樹木の剪定、移植と切り落とした枝の利用（チップ加工して公園に敷き詰め）③校庭周りのサクラなどの剪定、伐採。

#### ●事業成果

緑の少年団を結成し、復興祈念植樹会を行ったことで、緑あふれる環境を取り戻し、未来へ向かって自然を守り育てていこうという気持ちを育てることにつながった。また、校庭の樹木の整備や剪定を行ったことで、自然環境が整えられ、校庭の復旧に向かっての準備を行うことができた。

#### ●自己評価

「石公園」や「観察池」の整備作業は、計画通り行うことができた。児童の利用も増えることと思う。

#### ●事業をよく知る関係者の声

・児童やPTA、地域のみなさん、仮設住宅の住民も参加して植樹ができ、復興を祈念することができた。（40代男性）

#### ●参加者の声

・ヤマボウシには「友情」という意味があるそうだ。これから、自然と友情を大切にしていきたい。（小学生）

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	除伐本数	県内	計
0.02ha	12本	14本	208人	208人
樹種：ヤマボウシ、ソヨゴ、キングサリ				
実施場所：岩手県陸前高田市（米崎小学校）				



ヤマボウシほかを植樹

# 間でじゅう 間伐材等の組立て什器(組手什)を用いた熊本地震復興支援事業

## (特非)ふるさと創生

熊本県阿蘇市一の宮町

### ●事業概要

目的は熊本地震の被災者の仮設住宅やみなし仮設内の生活環境の向上であり、そのために簡易的な家具の製作キットである組手什を使用した家具製作のワークショップを行い、贈呈を行った。組手什は主に県内製材所や加工事業者を発注先として県内の雇用の創出を図った。ワークショップ自体の主体は熊本県やKASEI(九州内の学生ボランティア団体)に行ってもらった。仮設団地などで行ったワークショップではNPO職員も参加するとともに、地元森林インストラクターや木材業者の方を講師に招き、被災者の方々の交流も促し、活気あるワークショップを行った。

### ●事業成果

100世帯ほどの被災者世帯にワークショップに参加してもらい、イベント後、追加で資材だけをほしい方などもおられ、生活環境が改善された。仮設住宅内は狭い住環境の為、サイズを自由に変えられる組手什は有効性が高かった。また、県内の製材所や加工業者に発注先を見出したため、雇用の創出に一定の効果があった。

### ●自己評価

ワークショップの主体が毎回変わり、活動メンバーも変わるため、継続的に製作のコツを指導する要員を外部団体に育成できれば、もう少しスムーズになったと思われる。

### ●参加者の声

- ・仮設住宅内の小さなスペースしかない玄関に下駄箱ができた。
- ・余った空間を棚に使い有効利用できた。

### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
ワークショップ	150人	150人
5回	150人	150人
実施場所：熊本県甲佐町、南阿蘇村、大津町、益城町		



組手什の製作

# 緑の絆づくりプロジェクト

## 熊本県樹芸農業協同組合

熊本市東区小山町

### ●事業概要

熊本県は、熊本地震被災地での応急仮設住宅建設に伴い、東日本大震災や熊本広域大水害での経験を活かし、木造の集会施設「みんなの家」を84棟整備している。

今回、熊本県内で生産されたモミの木を「みんなの家」84棟に提供し、飾り付けなどにより住民のふれあいの機会を増やし、緑の癒し効果や良さを改めて感じていただくことで、入居者の痛みを最小化し少しでも安らぎを感じていただけるようすることを目的とした事業である。

### ●事業成果

仮設住宅には設置できないので、うれしいとの声や、全国からの温かいご支援をいただき励みになるとの声も多数頂戴した。大変な状況下の方々にとって癒しを提供できたのではないかと感じた。

また、結果的に「みんなの家」だけでなく学校保育園他公共施設へ届けられたことで、より広範囲への支援ができたように思う。

### ●自己評価

申込、配送の都合でクリスマス間近となった施設があったため、もっと早期に届けたかった。

### ●参加者の声

- ・子どもたちと共に飾りつけをして楽しみました。(益城町保育園)
- ・大切に育てていきます。木の成長とともに前向きに一步步進んでいきます。(益城町仮設団地自治会)

### 実績とりまとめ表

作業内容
モミの木の提供
42カ所 84本



装飾後に記念撮影(広安西小)

## 間伐材等の組立て什器（組手什）を用いた熊本地震復興支援事業

### 九州森林インストラクター会

熊本市池亀町

#### ●事業概要

平成28年熊本地震では未曾有の被害が発生した。被災者は、応急仮設住宅移動後も、生活用品を整理できる収納棚のニーズが高まっていた。

間伐材等を使用した組み立て什器（組手什）<sup>くでじゅう</sup>の寄贈を行い、あわせて間伐利用や森林整備の意義を普及していくものである。

#### ●事業成果

- ①仕切棚の設置 プライバシーの保護に役立った。
- ②整理棚の設置 住環境改善に役立った。
- ③供用スペースの靴箱などの設置 靴箱が大変喜ばれた。
- ④台所整理棚 台所用品やレンジ置き整理棚を作った。
- ⑤避難所の物品管理棚 10個単位で作製寄贈した。

#### ●自己評価

「組手什」初めて聞く名前だったので、依頼者へお願いして研修を行った。九州森林インストラクター会の受講者は1日で完全に作業技能をマスターした。避難者の要望には対応することができた。

#### ●事業をよく知る関係者の声

- ・木材のことをよく知っており、工具の使い方が上手であり能率が上がった。（研修指導者）

#### ●参加者の声

- ・作業実施について安全を重視して進めていたので安心して手伝えることができた。（70代男性）
- ・大きな鍋類や食器も同時に片付けることのできるようになり感謝しています。（炊事担当50代女性）

#### 実績とりまとめ表

作業内容	組手什の組み立てと設置
参加者	166人
実施場所：熊本県益城町、熊本市、西原村ほか	



組手什の組み立て

## 熊本地震復興支援事業（学校等緑化推進）

### （公社）熊本県緑化推進委員会

熊本市中央区水前寺

#### ●事業概要

目的は、平成28年熊本地震による被災地域において、地域の復興を支援するため、学校や幼稚園、保育園周辺の緑化により、子どもたちの共同生活の充実を図るとともに、緑の大切さや木のぬくもりを感じてもらう事業であり、主な活動は、樹木やプランターの提供と共同作業の実施である。

#### ●自己評価

製品の作成や配布が年度末や卒業式など繁忙期と重なったため、配布などあわただしく実施した感はあるが、配布の趣旨などは伝え満足してもらうことができた。

#### ●参加者の声

- ・園児が生き生きと木を植え、今後、毎年サクラが咲くのが楽しみです。
- ・パンジーやサツキの花が学校生活に彩を添えていただきました。木製プランターは、卒業式や入学式で式典を彩りました。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付本数	木製プランター寄贈	県内	計
2本	236個	497人	497人
樹種：サクラ			
実施場所：熊本県阿蘇市、益城町、大津町、西原村			



サクラを植樹



## 熊本地震復興支援事業 (学校等木製品提供)

### (公社) 熊本県緑化推進委員会

熊本市中央区水前寺

#### ●事業概要

目的は、平成28年熊本地震による被災地域において、緑の大切さや木のぬくもりを感じてもらい子どもたちの共同生活の充実を図るため、学校や保育園に間伐材などを使ったベンチやテーブル、室内遊具などを贈った。

#### ●自己評価

製品の作成や配布が年度末や卒業式など繁忙期と重なったため、配布などあわただしく実施した感があったが、配布の趣旨などは伝え満足してもらうことができた。

#### ●参加者の声

- ・ベンチやテーブル、木製の遊具などが学校や園内に増えたことにより、木のぬくもりや柔らかな感触、安全性の高まりなどにより生き活きと生活でき、震災からの復興に向け元気をもたらすことができた。
- ・木製の遊具などは高価で、欲しくても購入できない状況の中プレゼントはとてもありがたい。

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
木材製品寄贈	108人	108人
142個		
実施場所：熊本県阿蘇市、西原村、甲佐町、大津町		



木製のテーブル、ベンチ、室内遊具を寄贈

## 熊本地震復興支援事業 (仮設住宅団地等緑化推進)

### (公社) 熊本県緑化推進委員会

熊本市中央区水前寺

#### ●事業概要

目的は、平成28年熊本地震による被災地域において、地域の復興を支援するため、仮設住宅団地周辺の緑化により、被災者の共同生活の充実を図るとともに、緑の大切さや木のぬくもりを感じてもらうものであり、主な活動は、木製プランターの提供と共同作業の実施である。

#### ●自己評価

製品の作成や配布が年度末や卒業式など繁忙期と重なったため、配布などあわただしく実施した感があったが、配布の趣旨などは伝え満足してもらうことができた。

#### ●参加者の声

- ・パンジーやサツキの花が仮設住宅での生活に彩を添えていただきました。
- ・花やサツキの植栽は、園芸に興味のある方を中心に共同作業の時間が作れ、団地住民の繋がりが深まりました。

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
木製プランター寄贈	120人	120人
178個		
実施場所：熊本県熊本市、阿蘇市		



木製プランター

## 熊本地震復興支援事業 (仮設団地等木製品提供)

### (公社) 熊本県緑化推進委員会

熊本市中央区水前寺

#### ●事業概要

目的は、平成28年熊本地震による被災地域において、緑の大切さや木のぬくもりを感じてもらい被災者の共同生活の充実を図るため、仮設住宅団地のみんなの家（共用施設）に、間伐材などを使ったベンチやテーブル、室内遊具などを贈った。

#### ●自己評価

製品の作成や配布が年度末や卒業式など繁忙期と重なったため、配布などあわただしく実施した感があったが、配布の趣旨などは伝え満足してもらうことができた。

#### ●参加者の声

・仮設住宅団地の共用施設である「みんなの家」に、ベンチやテーブル、木製の遊具などが増え、木のぬくもりや柔らかな感触、安全性の高まりなどにより生き活きと生活でき、住民や子どもたちの憩いの場として、震災からの復興に向け元気をもらうことができた。

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
木製品寄贈	20人	20人
36個		

実施場所：熊本県熊本市、益城町、西原村



木製のベンチ、テーブル、室内遊具を寄贈

## 木育拠点を通じた森づくりによる 共存共生の復興モデルづくり

### 板倉の家ちいさいおうちプロジェクト

熊本県阿蘇郡西原村

#### ●事業概要

本事業の主な目的は、平成27年に発災した熊本地震により多大な被害を受けた西原村地域の復興であり、主な活動は①現地山林の調査、②伐採樹木の選定、水分移動を止めるための巻き枯らしの実施、③ヒノキ伐採の見学、枝下し体験、伐採木材を利用した道具づくり体験を実施した。

#### ●事業成果

今回は3～15歳の子どもの保護者という家族単位での参加者で、日常生活ではおよそ目にするのできない樹木の伐採を間近に見ること、また親子で協力してその枝打ちや、枝を使つての道具づくりなど、実際の体験を通して森林と自然環境の重要性などを学んだ。

#### ●自己評価

・伐採体験は概ね計画通りに運んだが、枝下し体験と道具づくりに時間がかかり、予定していた大学生による研究発表ができなかった。

・予想以上に参加者が多く、伐採見学のスペースに余裕がなかった。

#### ●参加者の声

・初めはうまくノコギリが使えなかったけど、最後にはちゃんと枝を切ることができて嬉しかった。(小3女子)

・自分たちで伐った木が家具や住宅などに使われるということが分かった。(小4男子)

・目の前で大木が倒れていく様はとても衝撃的で、もう少し森のことを考えようと思いました。(40代女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
巻き枯らし作業	伐採体験教室	県内	県外	計
2本	1回	42人	10人	52人

実施場所：熊本県西原村



枝下し体験

## 熊本地震被災地支援 「仮設住宅×緑のカーテン」プロジェクト

### (特非) 緑のカーテン応援団

東京都板橋区東坂下

#### ●事業概要

温熱環境の改善や毎日の水やりなどでコミュニティ増進にも繋がるなど「緑のカーテン」のある暮らしによって諸問題を解決することを目的として、熊本県益城町テクノ仮設団地の方々に、ボランティアなど70名を超えるスタッフで「緑のカーテン」の設置を行った。

居住者の中には、高齢など一緒に作業できないケースもあるため、基本的にネット張等の設置作業はスタッフがを行い、苗植えや水やりなど、居住者の方にもできる作業はスタッフがサポートしながら一緒に行った。

当日、設置作業開始前に、緑のカーテン講習会を行った。園芸に詳しい講師やNPOスタッフが、植え方、肥料のやり方や緑のカーテンの楽しみ方、効果などを話し、緑のカーテンのつくりかたハンドブックなどを配布した。

#### ●自己評価

希望のあった250世帯の方々へ緑のカーテンを届けることができた。設置個所が多い中、一日で完了しなければならない条件だったが、予定通り作業を完了することができた。住民の方々との交流が深まりたいへん良かった。

#### ●事業をよく知る関係者の声

設置日は始まりであり、夏に向かってゴーヤ苗を緑のカーテンに育てる過程で住民の方々同士の交流も生まれた。

#### ●参加者の声

- ・夏に涼しくなるのが楽しみだ。(住民)
- ・各地から集まったたくさんのボランティアと一緒に活動ができ良かった。(地元ボランティア)

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	県内	県外	計
プランター 500苗	30人	43人	73人
実施場所：熊本県益城町			



熊本県産材(間伐材)のプランターで「緑のカーテン」づくり

## 熊本市等応急仮設住宅及びみんなの家 グリーンカーテン設置事業

### (特非) くまもと温暖化対策センター

熊本市中央区魚屋町

#### ●事業概要

応急仮設住宅の入居者や仮設団地内の集会所の住環境の充実及び、暑さ対策、遮熱・遮光効果による地球温暖化の防止のため、希望した仮設住宅入居者の住宅およびみんなの家にゴーヤを利用したグリーンカーテンを設置した。

また、ゴーヤの植付けについては、使用済みの海苔養殖網をネットとして使用するほか、地域資源である間伐材を使ったプランターを使用することで、CO<sub>2</sub>吸収効果など多面的機能をもつ森林の環境保全に貢献した。

#### ●事業成果

遮光・防熱効果や植物の癒し効果が得られた。

設置はネット張りや金属ペグの打込みなど、危険を伴う作業を含んでいたが、設置手順書を参加全自治体に配付し、ベテランの熊本県地球温暖化防止活動推進員が安全指導を徹底し、また作業分担を図るなど効率化もできた。

#### ●自己評価

継続的な事業として取り組めれば認知度も上がり、希望者の増加も見込める。

#### ●関係者の声

- ・準備や作業については、事前に現地での数回にわたる実地作業や手順の確認など入念な打ち合わせを行い、加えて手順書及び育成チラシなどを作成・準備するなど、実施態勢としては万全の設置ができた。

#### ●参加者の声

- ・軒まで張ったネットのお陰で、日中でも直射日光が遮られて気分的にも楽です。(70代女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
木製プランター寄贈	植付本数	県内	計
264個	792本	43人	43人
実施場所：熊本県熊本市、阿蘇市、南阿蘇村			



木製プランターにゴーヤを植える

## 益城町等応急仮設住宅及びみんなの家 グリーンカーテン設置事業

### (特非) くまもと温暖化対策センター

熊本市中央区魚屋町

#### ●事業概要

応急仮設住宅の入居者や仮設団地内の集会所の住環境の充実及び、暑さ対策、遮熱・遮光効果による地球温暖化の防止のため、希望した仮設住宅入居者の住宅及びみんなの家にゴーヤを利用したグリーンカーテンを設置した。

また、ゴーヤの植付けについては、使用済みの海苔養殖網をネットとして使用するほか、地域資源である間伐材を使ったプランターを使用することで、CO<sub>2</sub>吸収効果など多面的機能をもつ森林の環境保全に貢献した。

#### ●事業成果

遮光・防熱効果や植物の癒し効果が得られた。

設置は、ネット張りや金属ベグの打込みなど、危険を伴う作業を含んでいたが、設置手順書を参加全自治体に配付し、ベテランの熊本県地球温暖化防止活動推進員が安全指導を徹底し、また作業分担を図るなど効率化もできた。

#### ●自己評価

継続的な事業として取り組めれば認知度も上がり、希望者の増加も見込める。

#### ●関係者の声

準備や作業については、事前に現地での数回にわたる実地作業や手順の確認など入念な打ち合わせを行い、加えて手順書及び育成チラシなどを作成・準備するなど、実施態勢としては万全の設置ができた。

#### ●参加者の声

・プランターの場合、水不足が大敵で朝夕の水やりに気を使った。(仮設住宅住民・60代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
木製プランター寄贈	植付本数	県内	計
293個	879本	83人	83人
実施場所：熊本県益城町、山都町、美里町、甲佐町			



木製プランターとグリーンカーテン

## 森と緑と湖のマチ、 そらの森づくりプロジェクト事業

### 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ運営代表者会議

北海道釧路市新川町

#### ●事業概要

目的は、弟子屈空港跡地を住民・観光客が楽しむための森づくりをすることであり、主な活動は、①自然を活かした観光資源の充実を図る為の植樹作業、②環境に対する意識向上と共生社会の実現を目指した木育教室の開催である。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成23～27年)

空港跡地の5分の1程度の植樹が完了し、植樹参加者も地域住民、子どもたち、障がい者、観光客などを含め延べ300人を超え、森づくりの夢は順調に進んでいる。

##### ②今年度新たに得られた成果等

国道沿いにシラカバを植樹することで森づくり活動をより視覚的に訴えることができた。また、木育教室によって、防風林の間伐材が有効利用されている事を周知する事ができた。

#### ●自己評価

植樹面積は年々拡大しているが年1回の活動であるため時間がかかる事と、植樹済みの場所のメンテナンス不足が感じられる。今回、間伐材を利用したカスタネットづくりが大変好評だったので、育成した樹木をどう利用しているのかという勉強を今後も継続したい。

#### ●参加者の声

- ・例年参加しているが植樹面積が増えて自分たちの手で森を作っているのが実感できた。(40代女性)
- ・学校のカスタネットよりきれいな音がする。(小学生女子)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	計
1.0ha	315本	1.0ha	98人	98人
樹種：シラカバ、トドマツ、ハルニレ、カエデ				
実施場所：北海道弟子屈町				



シラカバ、トドマツほかを植樹

## 八幡山桜 (はな) の森整備事業 「新・深緑の森」整備事業

### 手ノ子地区協議会

山形県西置賜郡飯豊町

#### ●事業概要

目的は、農地としての再生が困難な元採草地を「里山の森」に再生することであり、サクラの森、早春・初夏・初秋の花木の森、新・深緑の森、紅葉の森などをつくり、雪解けから降雪までの期間、住民が楽しめる里山に整備する。今年度は、そのうち、「新・深緑の森」を整備した。また、「森づくり」と「里山を考える」集いを行い、森づくりの意義と里山再生の在り方を学んだ。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成23～27年)

サクラの森と早春の花木の森が、枯損樹の補植を除きほぼ完了した。新たな価値を創造して里山を再生することの重要さが、徐々に地域全体に浸透しつつある。

##### ②今年度新たに得られた成果等

ブナ苗の植栽作業では、森づくりの意義と100年後を想像することによって森づくりの息の長さが体感できた。「里山を考える」集い(講演会)では、人々の暮らしと里山の機能をどうやって再構築するかという新たな課題を見出した。

#### ●自己評価

- ・当初計画したことを確実に実行することができた。
- ・児童などの参加が予定より少なかった。

#### ●参加者の声

- ・ブナの植栽が楽しかった。来年も来る。(小学生)
- ・里山のことをもっと勉強したい。(50代女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.8ha	220本	1.6ha	97人	1人	98人
樹種：ブナ					
実施場所：山形県飯豊町					



ブナを植樹

## 宇宙から見える森づくりの一步

### (一財)ワンアース

茨城県龍ヶ崎市平台

#### ●事業概要

目的は、東日本大震災で被害を受けた福島県楡葉町に、千年以上生きて巨大化する宇宙桜を植え、復興のシンボル、新しい観光名所、避難の目印として緑の資源を活用してもらうことすることである。主な活動は、苗の手配、植樹のための園地整備、地域住民の心に深く刻まれる宇宙桜植樹祭、そしてメディアを通じた社会へのアピールである。

#### ●事業成果

山梨県北杜市から貴重な宇宙神代桜の苗をもらいうけ、計画通り園地整備をした予定地に無事植樹することができた。植樹祭当日は楡葉町長ほか青少年少女を含む多くの住民が参加し、土かけ水やりなどを行ったほか、テーマソング「きぼうの桜」の全体歌唱などにより、緑化の社会的意義を訴求することができた。活動内容は、多くのメディアにより報道された。植樹祭後に、サツキ植栽による柵(ハート型)および看板の設置工事を行った

#### ●自己評価

緑の資源の地域復興への活用及び社会へのアピールという点では所定の成果をあげ、ノウハウを取得できたと考える。今後は、市民レベルへの緑の保護と活用に関する知識普及の側面においても貢献できるよう検討を続けたい。

#### ●参加者の声

- ・また町に人が集まるように願った。亡くなった人たちの分まで頑張って生きていきたい。(中学生男子)
- ・山高神代桜の子孫樹がこの地で咲き誇ることで、新たな復興のシンボルとなるよう大切に育てたい。(楡葉町長)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.08ha	101本	40人	10人	50人
樹種：サクラ				
実施場所：福島県楡葉町				



サクラを植樹

## どングりの木植樹会

### (特非) 森の自然学校助川山保全くらぶ

茨城県日立市西成沢町

#### ●事業概要

目的は、山火事跡地の森林公園に、クヌギ・コナラ系の里山林群落を創成することである。

内容は18年間にわたり、子どもたちや市民と共に7300本余のクヌギ・コナラの植樹を続けてきた。植樹地の決定・除伐・地拵え・作業道整備を経て毎年春先に植樹会を開催している。夏には直近5年分の植林地の下草刈りを実施し、間伐材はシイタケ植菌の原木、遊歩道・作業道の階段用資材・木工工作材料として利用している。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成10年～27年度)

18年間・18ヶ所の植林地すべてで、クヌギ・コナラが順調に生育している。地元小学校の卒業生全員による記念植樹や保育園児、少年団の植樹活動により、子どもたちへの愛林教育に貢献している。

##### ②今年度新たに得られた成果等

苗木の自家生産が軌道にのり、平成30年度からの使用が期待できる。今後3年分の植林予定地を確保済みで地拵えを少しずつ進めている。

#### ●自己評価

- ・計画の達成度は毎年ほぼ100%である。
- ・くらぶメンバーの確保と若返りが今後の課題である。

#### ●参加者の声

- ・クヌギとコナラの区別が分かった。(小学6年男子)
- ・卒業生に何よりの思い出になると思う。ふるさとの山を大事に思う心が育まれた。(地元小学校教員)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.1ha	300本	2.5ha	660人	660人
樹種：クヌギ、コナラ				
実施場所：茨城県日立市(助川山市民の森公園)				



地元小学生による卒業記念植樹会

## 渡良瀬川源流の荒廃地緑化事業

### (特非) 足尾に緑を育てる会

栃木県日光市足尾町

#### ●事業概要

目的は、銅山の煙害で荒廃した足尾の山に木を植えることを通して、自然環境の健全化に貢献することであり、主な活動は、①ボランティアを募集しての植樹会、②植樹後の下刈りなどの管理作業、③小学校を中心とした団体の体験植樹の受入(植樹活動支援)である。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成8～28年)

今まで20年間で、のべ約16万1500人が参加し、約20万2500本の苗木を植えた。木がなく石ばかりだった植樹地は手入れが必要なほどの林になり、紅葉や木の実、野鳥なども楽しめるようになった。

##### ②今年度新たに得られた成果等

道具購入の助成を受け、石の多い植樹地でも小学生などが掘りやすくなったり、作業時の安全面が強化された。

#### ●自己評価

- ・植樹会には予想以上のボランティアが集まり、荒廃地に7500本の苗木を植えることができた。
  - ・雨天が多く、植樹後の管理作業は見合わせた日もあった。
- #### ●参加者の声
- ・60年前緑化に関係し、当時と山の色が一変した(赤茶色→緑色)のに驚いた。努力することの大切さを知った。
  - ・色々な人と交流でき楽しく活動できた。
  - ・初めて植樹を体験し、何十年前まで木がなく徐々に木が増え今の状態になっていることを知り、自然への大切さを改めて実感した。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
1.2ha	1万6823本	3620人	6172人	9792人
樹種：コナラ、クヌギほか				
実施場所：栃木県日光市足尾町				



第22回春の植樹デー

## 沖縄県国頭村“やんばるやんわり”プロジェクト

### (公財) オイスカ

東京都杉並区和泉

#### ●事業概要

温暖化の影響で、近年、沖縄を通過する台風は、大きな風害塩害を呼び、2013年台風17号では甚大な被害をもたらした。そこで、暴風対策の植林の重要性が高まりつつあるため、地域住民、特に子ども達及び、アジア各地（インドネシア、フィリピン、ベトナム、スリランカなど）から農業研修で来沖中の技能研修生らと共に国頭村で実施する。

#### ●事業成果

植樹を行ってからまだ2ヶ月しか経っていないため、風害塩害に歯止めがかけられるとは言い難いが、現場で植樹に参加した子どもたちの多くは初めての植樹で、「森を育てる」講義後、“植樹”への関心を高めたと思われる。また植樹現場の「学びの森」の職員が植樹後、お客さんへ積極的に植樹の現場を案内し植樹の説明をするなど、“緑”に関わる人々へも、さらに植樹の重要性を知らしめたと言える。

#### ●自己評価

数年前にも同じ「学びの森」で植樹が行われているが、その後、イノシシ被害で現場の1haほど、荒らされてしまっていた。しかし、1度の植樹で完了ではなく、定期的に樹木の様子を調査し、再度、植樹を行いながら、時間をかけて森を育てることが大切だと実感させられた。

#### ●参加者の声

- ・これからもヤンバルの森に注目したい。
- ・国に戻ったら植樹をしたい（研修生）

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
1.45ha	810本	1.45ha	100人	100人
樹種：イジュ、ヤブツバキほか				
実施場所：沖縄県国頭村				



イジュ、ヤブツバキほかを植樹

## 25年後を見据えた青少年森林ボランティア養成活動

### (特非) 花咲き村

東京都西多摩郡日の出町

#### ●事業概要

小さい頃、山で遊び、山仕事を手伝わされたり経験に裏打ちされた人が森林ボランティア活動を活性化してきた。この事例にならい、次世代の山と親しむ人達を育てていくのが将来を見据えた現在の課題である。25年後の森林ボランティアの活性化のために、参加者育成の対象として、多くの青少年の様々な森林活動への参加を促す活動を行った。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等（平成26～27年）

大久野中学や里山活動に参加していた学童保育「げんこつ組」などが持続的な取り組みとなっている。

##### ②今年度新たに得られた成果等

大久野中学校林業体験授業も今年度から、植林だけでなく、夏の下刈りも行うようになった。また、この助成事業を契機に、新たに小平大学NPOセミナー（嘉悦大学など小平の6大学でNPO授業を行っているゼミ連合）が参加するようになった。

#### ●自己評価

事業が多様であり、参加者も小、中、高、大学と多様な年齢層になり、それぞれの年齢層に対応できる指導員が不足している。質の高い指導員の養成がこのような事業が継続ができるかどうかの課題となっている。

#### ●参加者の声

参加した生徒は非日常の活動ゆえ、「楽しかった」という感想が特に多かった。ただ、森林活動へのボランティア参加は「やってみたいがアルバイトが忙しくて」という現在の社会問題を浮き彫りにしている。

#### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	都内	都外	計
0.3ha	80本	0.9ha	0.1ha	350人	40人	390人
樹種：ホオノキ、ナツツバキ						
実施場所：東京都日の出町						



都立多摩高校の体験授業で除伐

## 次世代につなぐ里山づくり

### (特非) 里豊夢わかさ

福井県三方上中郡若狭町

#### ●事業概要

多くの人が里山に関心を持ってもらうために始めた活動で、子どもたちに自然環境を守る夢を託している。

- ① 広葉樹苗木を植栽する第9回ミニ植樹祭を実施。
- ② 子どもたちが自然に親しみ、自然環境問題について考える主催事業として間伐放置材や風倒木を利用した玉切り・薪割りなどの体験活動を実施。また、学童保育や三世代交流会などに出前で自然体験を広げる活動を実施。
- ③ 過去の植栽地の管理作業

#### ●事業成果

##### ① 前年度までの成果等 (平成26～28年)

獣害との戦いの連続であった。昨年度金網ネットを設置してその害は大きく減少し、緑地が次第に広まった。

##### ② 今年度新たに得られた成果等

保育所の年長から参加している子どもが今年中学生になり、活動のリーダーとなってスタッフ同様の働きをするようになった。今年度、幼児の参加が増えた。また、新たに中高生の参加も出てきている。

#### ●自己評価

ほぼ目的を達し、国立若狭湾少年自然の家などからも視察に来るなど高い評価得ようになってきている。

幼児・小学校低学年児童の参加が多くなったため、指導者・スタッフを増員して対応せざるを得なくなっている。

#### ●参加者の声

- ・3年前に植えた木に初めて花が咲いてうれしかった。クリがなるのが楽しみです。(小学4年女子)

#### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	県外	計
0.5ha	40本	2.4ha	0.3ha	555人	62人	617人
樹種：ヤマザクラ、ヤマボウシ、コブシ、ハクモクレン、ウスズミザクラ						
実施場所：福井県若狭町						



第9回ミニ植樹祭

## 日本百名山 荒島岳 カドハラ桜坂建設

### 荒島愛山会

福井県大野市富塚

#### ●事業概要

日本百名山荒島岳の勝原登山口は十数年前まで営業していたスキー場があり登山道がある。ゲレンデ跡地に雑木が生え始めてきた。この登山道沿いにヤマザクラ、エドヒガン系の雪に強く寿命の長いサクラを植えて荒島岳の新しい魅力づくりを行う。

#### ●事業成果

##### ① 前年度までの成果等

平成27年から事業を計画、28年度から植樹を行う。27、28年度は登山道沿いの雑草、雑木の伐採と植樹場所の整備を行い、約250本のヤマザクラ・オオヤマザクラとエドヒガン系の「舞姫」を植樹した。

##### ② 今年度新たに得られた成果等

登山道沿い以外のゲレンデ全体に範囲を広げ、ゲレンデの除草、整地を実施、元スキー場全体を「桜の森」の建設を行う。今年の整備、植樹面積はゲレンデ3万㎡を実施した。植えたサクラは400本余り、前年までのものと合わせると680本になった。

#### ●自己評価

植樹地に隣接して中部縦貫自動車道の勝原ICが建設中で近い将来自動車道からもサクラが見られ、県内有数のサクラの名所となると期待される。

#### ●参加者の声

- ・また大野に帰って来て寄るところができてうれしいです。成長が楽しみです。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
3.0ha	400本	4.0ha	125人	20人	145人
樹種：オオヤマザクラ、ヤマザクラ					
実施場所：福井県大野市					



スキー場跡地での植樹



# コミュニティ・フォレスト活動及び 富士山麓の自然現地調査実施

## (特非) 土に還る木森づくりの会

静岡県御殿場市新橋

### ●事業概要

当事業は“だれでも参加できる安全で楽しい持続可能な森づくり”をめざしている。

- ・活動の内容 ① 森をつくること。② 森を守り育てること。③ 森と木を生かすこと。

### ●事業成果

#### ① 前年度までの成果等 (平成27～28年)

この1年間に1200人を超える人が参加した。参加者の43.5%が静岡県外で首都圏に住む人びとであった。また、小中高校の生徒たちが約820人であった。

#### ② 今年度新たに得られた成果等

荒れた森が見違えるように整備が進み、美しい広葉樹の森になってきた。五感を使って楽しめる森をめざしたい。

### ●自己評価

- ① 首都圏の学校が参加している実績から、今後この需要・ニーズの増加が期待される。
- ② 反省点は、事業全体の広報活動が不十分であった。

### ●関係者の声

- ① 森づくり環境学習を長い間続けてきた学校の先生から“森づくりは時間がかかる地味な活動なので、継続していくには、一層の創意工夫が求められる”との指摘があった。
- ② “安全で楽しい、持続可能な森づくり”をめざしたい。

### ●参加者の声

- ・自然体験と作業で汗をかくことができたのがうれしかった。(参加した子ども)

実績とりまとめ表

作業内容				参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	計
0.5ha	216本	1.0ha	0.2ha	118人
樹種：コナラ、モミジ、クヌギ				
実施場所：静岡県御殿場市				



コナラ、モミジ、クヌギを植樹

# 猿投山北西山麓斜面の環境林整備

## 猿投の森づくりの会

名古屋市中区富士見町

### ●事業概要

猿投山北西山麓斜面に位置する「県有林やまじの森」「民有地：山桜フィールド」「東大赤津演習林」において、健全で活力のある優良林の育成と水土保全機能を向上させ、林道沿線の景観向上を図った。雑木林は、常緑広葉樹を主体に除伐、侵入ササの刈り取りを行い、環境林として整備した。スギ、ヒノキ林の間伐を実施した。

一般市民が森林環境に親しむよう「観桜会」「自然観察会」「森の音楽祭」「森の探検隊」「法人会員デー」を開催した。

### ●事業成果

人工林間伐は、計画通り実施され、林床に陽光が入る環境が整備された。また、人工林の林床植生除伐の結果、気持ちの良い林床景観を整備することができた。雑木林整備では、除伐整備により、景観向上を図ることができた。

コナラの枯死木処理は、沿線を主体に実施し、ハイカーの散策の安全を図れた。イベント開催では、リピーターも増えた。

### ●自己評価

人工林整備では、ほぼ計画通りの整備を実行できた。コナラの枯死木処理は、遊歩道沿線の整備は達成できたが、雑木林林内に依然散在しており、作業の安全を図るため、継続処理が必要である。ササ処理は、毎年継続して処理する必要がある。

イベントでは、会員の積極的なスタッフ参加があり、また、参加者からは、森林整備に高い関心を寄せられた。

### ●参加者の声

- ・音楽祭、観察会に参加し、気持ち良く森を楽しんだ。今回の経験を、中国で活かしたい。(中国からの参加者)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
整理伐	間伐・除伐	計
0.2ha	0.5ha	739人
実施場所：愛知県瀬戸市		



雑木林での除伐

## 豊かな自然の復元を願って

### (一社) ブナを植える会

神戸市灘区鶴甲

#### ●事業概要

豊かな自然の復元を願って、ブナを植え続けている。  
若い社会人・学生の交流を行う。  
環境学習、みどりの少年団の交流会の指導。

#### ●自己評価

初期の目標は達成された。

#### ●事業をよく知る関係者の声

地元の世話役、行政関係者、学校関係者が、ともに今後の協力を約束していただいている。

#### ●参加者の声

楽しかった。面白かった。また来たいと喜びの声を聞いている。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付本数	下刈面積	県内	計
23本	0.33ha	120人	120人
樹種：ブナ			
実施場所：兵庫県養父市、香美町			



ブナを植樹

## 国民の祝日「山の日」記念植樹祭

### (特非) ひろしま人と樹の会

広島市西区鈴が峰町

#### ●事業概要

国民の祝日「山の日」が新しく加わったこの日の門出を記念し小室井山(1072m)に登山し、山頂付近に、山の恩恵を見つめ直し、山への理解をさらに深めていくことを目的に植樹をした。

- ① 国民の祝日「山の日」を記念した式典を開催した。
- ② 小室井山に登り、山頂付近に記念植樹を行った。
- ③ 安全のため登山道の一部危険個所の維持修繕を行った。
- ④ 多くの参加者を得て目的を達成することができた。

#### ●事業成果

山に親しみ山の恵みに感謝する山の日を目的に登山と植樹の体験活動で達成することができた。

参加者は、苗木に給水するためのペットボトルを持って山頂を目指した。一人1本のレンゲツツジの苗木を丁寧に植えた。竹串に木のプレートを取り付け記念とした。

#### ●自己評価

345人の参加を得て目的を達成できた。

真夏の登山と植樹なので熱中症に注意と対策、さらには対応を図った結果、無事に目的を達成することができた。

スペシャルオリンピックスのアスリート(知的障害者)24人にも参加いただき、交流を深めることができた。

#### ●参加者の声

- ・穴を一人で掘り苗木を植えた楽しかった。花が咲くころまた来たい。(小学生)
- ・参加を申し込んでから何日も歩く訓練をした。全員が登ることができ植樹も健常者と一緒にする事ができた。こんな体験は初めてで大変喜んでいる。(施設の職員)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付本数	下刈	県内	県外	計
300本	0.1ha	342人	3人	345人
樹種：レンゲツツジ				
実施場所：広島県廿日市市(県立もみのき森林公園)				



山頂での植樹

# 「永遠（とわ）の森」づくり

## (特非) 森づくり奈良クラブ

奈良市高畑町

### ●事業概要

目的は、眺望を阻害する高木を含め皆伐した所を、多くのハイカーが立寄る要所であるため、花のある憩いの場とすることである。主な活動は、除伐、伐木・切株の処理と草刈りによる地拵えと、一般参加者を募っての植樹。植樹祭は設立20周年（前身のグリーンボランティアならクラブが平成9年設立されてから）の記念事業の一環として実施。

### ●事業成果

#### ①前年度までの成果等（平成26～27年）

ヒノキの高木を除伐し玉切り処理して、展望台より西側の展望がよくなり生駒山系の稜線が望めるようになった。

#### ②今年度新たに得られた成果等

さらにヒノキの高木に加えて、常緑の楠木の高木の除伐で、眺望を一層広く確保するとともに、花の咲く木々の植樹により、憩いの場として、ハイカーの楽しむ場づくりができた。

### ●自己評価

会員の積極的な協力で活動日は充実し、多くの一般参加者を交えての植樹祭と合わせ予想以上の成果を上げることができた。日当たり・水はけのよい所だけに、植栽木の養生方法が課題。

### ●参加者の声

・「楽しかった」「また見に来ます」「来年は花見ができそう」  
(参加者)

・小さい子ども達でもお手伝いができて嬉しく、親子共々楽しませてもらった。(保護者)

### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
1.0ha	140本	1.0ha	159人	41人	200人
実施場所：奈良県乙田町（矢田山遊びの森）					



ヒノキの間伐

# 香川県満濃池森林公園 「みんなの森」整備事業

## 香川県造園事業協同組合

高松市鬼無町

### ●事業概要

当森林公園の主な役割である森林及び緑化に関する知識の向上を図るために、(欠損)した県木園の樹木を補植し、「みんなの森」として再整備したものである。

### ●事業成果

#### ①前年度までの成果等（平成28年）

現地の状況や補植する樹木について環境、補植後の健全な生育に向けての維持管理計画の立案など

#### ②今年度新たに得られた成果等

上記に基づいて、樹木医による指導のもと、準備作業を行い全国育樹祭の記念行事である『満濃池森林公園満喫ウォーク』開催時に参加者とともに補植、育樹活動を行った。

### ●自己評価

参加者にも好評であったが、実際に作業を行う際、一般の方々に対して作業の意味や、その作業がその後の健全な生育に果たす役割などについて、誰にでも理解しやすい表現を工夫したい。

### ●参加者の声

実際に木を植える体験ができたことに大変好評であった。造園技術者と一緒に作業ができて、今後家庭での緑化などに自信が持てたなど、十分今回の事業の意義が果たせたものと嬉しいお声をいただいている。

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.8ha	20本	60人	10人	70人
樹種：マツほか				
実施場所：香川県まんのう町				



マツを植樹

## 住民参加による災害被害林の 森林再生事業

### 公園の森・里山の会

北海道白老郡白老町

#### ●事業概要

平成26年の大雨により、町有林でも森林被害が発生したが、町の財政事情等により復旧が進んでいなかった。

このため、当会では行政と連携しながら被害林の倒木等の処理や植樹を行った。主な活動は、①会員による被害林の倒木の整理、②町民の参加による広葉樹の植樹、③事業体に依頼しての現地までの森林作業道の補修及び被害木の集材を行った。

しかし、植樹を秋に行ったことから、寒風害の被害にあったため、翌年春に再造林した。

また、平成27年10月の台風による公園内の被害林を対象に、倒木や枯損木の処理、集材、林内の整理を行った。

#### ●事業成果

一般町民にも参加していただき1年目の植樹を行った。2年目の再造林は会員により行ったが苗木は定着したため、今後森林再生が期待できる。

また、公園の倒木等の整理により森林景観が改善し、散策する利用者から喜ばれている。

#### ●自己評価

再造林により植樹木の成長は良好で当初の計画を達成することができた。

反省点としては、今後は極力春植えて行うようにしたい。

公園の倒木が毎年発生しており作業を継続したい。

#### ●参加者の声

・森林再生の必要性を感じた。(60代女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	道内	計
1.7ha	470本	48人	48人
樹種：ヤマハンノキ・トドマツ			
実施場所：北海道白老町			



大雨被害地にトドマツほかを植樹

## 苗木2016本プロジェクトforいわき

### Motto

栃木県大田原市末広

#### ●事業概要

東日本大震災による津波により海岸林のほとんどが枯れてしまった。この海岸林は防災林であり、津波による被害を軽減する役割がある。この事業を行う目的としては、①その防災林を復活させ、次なる災害に対しての減災の備えをしていくこと。及び②海岸林が育つことにより、復興のシンボルとしての海岸林の再生。また、③苗木の育成環境の改善により、より一層の植林活動の振興である。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成26～27年)

植林するための行動回数が、予算の都合で大きな制限を受けていた。参加したい人がいても、参加することが難しいといった機会の損失が多い状況であった。また、苗木を生育する環境も決して良いとは言えない状況であった。

##### ②今年度新たに得られた成果等

目標を大幅に更新することができた。また、下草刈りを行うことができたので、前年度に比べ、枯れてしまった苗木が大幅に減少した。また、苗木を育てる畑の環境改善を行えた。これにより、霜柱の被害や、日照不足による生育不良の苗がほとんどなくなった。

#### ●自己評価

次年度以降、これら苗木の維持管理が課題である。また、学生の参加は前年度に比べ増加したが、地元の住民の参加を呼び込むことが難しかった。

#### ●参加者の声

・大変な作業だったが、とてもやりがいがあった。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
1ha	2500本	1ha	6人	456人	462人
樹種：抵抗性クロマツ					
実施場所：福島県いわき市					



クロマツを植樹

## 平成28年度斐伊川流域荒廃林等再生整備住民交流会

### 斐伊川流域林業活性化センター

松江市東津田町

#### ●事業概要

目的は、斐伊川流域の荒廃林地を植林する事により水源林としての整備とともに防災などの国土保全機能の向上を図ったことである。また、植林活動やイベントを通じて、上流と下流の住民が連携して森林整備を進める重要性について相互理解と認識を深めた。事業活動は次のとおりである。

- ① 参加者の安全性の確保のため、雑木林などの伐開、作業歩道の整備
- ② 植栽 上流下流域住民約100人による植栽
- ③ 交流イベント 組子細工体験、シイタケ植菌体験

#### ●事業成果

##### ① 前年度までの成果等 (平成13～27年)

多くの流域住民が参加して植林活動を行う事により、荒廃林が次世代に引き継がれる森林として蘇ることとなった。

##### ② 今年度新たに得られた成果等

上流下流の住民が連携して森林整備することの必要性について認識が深まった。将来の林業を支える地域の子ども達も多く参加し、森林作業に関心を持ってもらえたと思う。

#### ●自己評価

参加者の安全確保を最優先とし、円滑かつ計画どおりに実施することができた。参加者は植林活動及び交流イベントに熱心に取り組み事業目的も達成できた。

#### ●参加者の声

- ・苗木が大きく育って緑がたくさん増えてほしい。(小学生)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	地拵え等	県内	計
0.75ha	1500本	0.75ha	93人	93人
樹種：クヌギ、サクラ				
実施場所：島根県安来市				



クヌギ、サクラを植樹

## 三宅島復興支援緑化再生プロジェクト

### 日本山岳会「高尾の森づくりの会」

東京都八王子市宇津木町

#### ●事業概要

三宅島は雄山の噴火と高濃度ガスによる被災で森林が大きなダメージを受け、被災森林の緑化が大きな課題となっている。当会は被災森林の緑化再生に取り組むため、08年に三宅村との間で「三宅島・雄山の緑化再生活動に関する協定」を締結した。この協定に沿って、同島の村有林を対象に植樹・森林整備を実施している。

#### ●事業成果

①七島展望台村有林は、火山ガスによる枯損から、ようやくハチジョウススキなどの草本の回復が始まっており、この区域で、タブノキなど800本の植樹を行った。苗木の活着は良くなってきており森林の回復が期待される。②自然観察園地として整備している甌村有林で植樹地の下刈り、園地の刈払い、歩道整備などのメンテナンスを行った。

#### ●自己評価

①これまでの植樹地で活着状況調査を行ったが概ね良好であり、植樹地の森林再生が着実に進んでいる。②甌村有林の園地整備については、散策コースとして村広報に掲載され、村民や村外からの来訪者にも利用されている。③地元三宅村から若いボランティアの参加を得て実施することができ、今後もその拡充に努めたい。

#### ●参加者の声

- ・被災地に緑が再生してきているがまだ先は永い。
- ・ボランティア活動として島外から来て島のために汗を流していただいております、一村民としても今後参加していきたい。(島内30代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	都内	都外	計
0.6ha	800本	0.6ha	75人	21人	96人
樹種：タブノキ、ヤブツバキ、ヒサカキ					
実施場所：東京都三宅村					



タブノキなどを植樹

# A-WASS 循環と共生の森づくりinときがわ

## 木と建築で創造する共生社会実践研究会 (A-WASS)

東京都中央区東日本橋

### ●事業概要

目的は、長年放置されていた里山の雑木（主にコナラ）林を再生し資源の循環利用を図ることであり、主な活動は、地元林業事業者等の指導を受けつつ、①大径木の伐倒・除去等の森林整備を行うこと、②伐採木の玉切り・薪割り、キノコ栽培などの木質バイオマス利用を行うこと、③当研究会の会員等の都市住民と地元の山村住民とが、失われていた森林資源の循環的な利用の復活・再生に向けた方策を共に考えるための研修・意見交換・交流会（「とき森なりわい塾」）を開催することであった。

### ●事業成果

#### ①前年度までの成果等（平成27年度）

作業道を整備したことにより森づくりのための基盤が整った。また、林分の若返りに着手したほか、当研究会とときがわ町との間で「森づくり協定書」を締結することができ、長期的に森づくり活動に取り組む基盤が整った。

#### ②今年度新たに得られた成果等

大径コナラ木の伐採と加工・利用を進めることができた。「とき森なりわい塾」の開催を重ね、過疎・高齢化が進む中山間地域の現状・課題と、おためし移住や起業支援などの取組について参加者の理解が深まった。

### ●自己評価

地元の森づくりボランティア団体との連携・参加がまだ不十分であり、一層の呼びかけが必要である。

### ●参加者の声

・キノコ（菌）は生きているんだなと実感した。

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
整理伐	キノコ栽培	県内	県外	計
0.02ha	約100本	35	18	53
実施場所：埼玉県ときがわ町（町有林）				



キノコの種駒打ち

# グリーンベイ OSAKA

## (特非) グリーンベイ OSAKA

大阪市西区江戸堀

### ●事業概要

大阪府堺市の産業廃棄物最終処分場であった埋立地に植樹を行った。最終植樹予定面積6haのうち、0.13haに植樹した。植え付け本数は728本、常緑樹と落葉樹計14種の樹木を植樹。下刈面積は2570㎡。また、参加者数は通例120人だが、雨天にもかかわらず、65人の参加があった。

### ●事業成果

植樹活動は、効率的により早く自然林を再生することを目指している。その方法は、ユニット混植法というものを採用している。ユニット混植法とは、直径3mの円（ユニット）を100㎡当り4箇所作り、その円の中に2～3年生の苗木14本を植樹する方法で、自然林のような状態を作る方法。その結果、植林10年を迎えて、森を再現したような箇所ができてきた。

今回の参加者は今後の状況を想定しながら懸命に植栽を続けていた。

### ●参加者の声

- ・雨で大変だったが、植えた木がどんどん成長するのを見て楽しい。(60代男性)
- ・やはり来てよかった。普通、木に触れることがないから。(40代男性)

### 実績とりまとめ表

作業内容			参加人数	
植付面積	植付本数	下刈面積	府内	計
0.13ha	728本	0.257ha	125人	125人
樹種：ヤマザクラほか13種				
実施場所：大阪府堺市				



ヤマザクラほかを植樹

## 蘇る熊野の森・大日山プロジェクト 2016 (5 番区)

### NPO三つの森

和歌山県東牟婁郡太地町

#### ●事業概要

田辺市本宮町大日山の地滑り工事跡地山腹において、平成15年以来、裸地状態が続き、緑化の兆しは見られない。その山を健全な森に再生し、世界遺産の地・熊野の景観も再生するためである。

1. 貧困な土壤に活着できる、根部の充実した約1m高の苗木の植栽。2. 苗木は自生樹種を全て用いる。3. 堆肥及び補充土を補う。4. 落ち葉、刈り草を保湿維持のためにマルチする。5. 苗木根部の土壤流失を防ぎ、固定するために竹筒を用いる。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成27～28年)

全般的に苗木の成長は良好。

##### ②今年度新たに得られた成果等

平成29年、梅雨前(5～6月)、日照り乾燥が続き、多少は、補植の必要もあったが、常緑樹(ウバメガシ、アラカシ、イチイガシなど)は元気だった。

#### ●自己評価

植樹前日まで雨続きで、植栽圃土壤は湿り気があり、ボトルでの散水は少なく済んだ。参加者数は、当日、いくつかイベントが重なり少なめだった。

#### ●参加者の声

・植栽圃の、苗木を植えるポイントは、前もって竹筒が設置され、作業しやすかった。雑草は茂っていたが、土壤の乾燥防止にも役立っていると思う。(50代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	県内	県外	計
0.47ha	1650本	28人	2人	30人
樹種：ウバメガシ、アラカシほか				
実施場所：和歌山県田辺市本宮町				



ウバメガシ、アラカシほかを植樹

## 「地球に緑を 桜島を緑に」 どんぐり照葉樹の森づくり 第16回桜島どんぐりころころ植樹祭

### 桜島どんぐりころころ植樹祭実行委員会

鹿児島市下竜尾町

#### ●事業概要

植栽地は桜島の麓で鹿児島市有地(採石場跡地)でカズラがはびこる荒地である。

江湾近隣の学校で「緑の少年団」を有する学校(20団体)を実行委員(巡回指導員)が定期的に訪問し桜島に既存しているどんぐり種を採種し種蒔き・鉢上げ・鉢替え等の育苗体験活動を計画的・継続的に体験、3年間育苗した苗を桜島に植栽する体験活動で森林の役割と地球温暖化防止及び砂防等に関心・意欲を高めることを目的としている。主な活動は、次のとおりである。

- ①下刈り作業 ②第16回桜島どんぐりころころ植樹祭  
③追肥活動・補植活動

#### ●事業成果

8年前の植栽地は6m程に生長し、結実もあり照葉樹の森になりつつある。現地は、鹿児島市が展望できる公園の下にあり、観光客も大勢訪れる。

参加者「緑の少年団員」は、森林は手入れが不可欠であることを学ぶことができた。

#### ●自己評価

計画通り植栽できた。今後は近隣の漁協との連携をはかり、一層の充実した植栽活動を進める必要がある。

#### ●参加者の声

・団員がどんぐりの種まきから、2～3年間かけて育苗活動したことに畏敬の念です。(ボランティア：大阪)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加人数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.28ha	1126本	1.83ha	802人	8人	810人
樹種：ウバメガシ、アラカシ、マテバシイ					
実施場所：鹿児島市桜島					



ウバメガシ、アラカシ、マテバシイを植樹

## 大浦干拓防風林保全事業

(特非) 森と木の研究所

鹿児島市桜ケ丘

### ●事業概要

大浦干拓の防風林は、クロマツの欠損した個所や中下層の防風効果の減衰が見られる部分があり、水田の耕作や集落住民の生活環境保全上の課題となっていた。

このため、地域の住民と水田の耕作者が、当研究所の指導の下に、欠損箇所にマツクイムシ抵抗性クロマツの植栽と、中下層の暴風効果を得るためウバメガシなど中下層木を植栽した。また、植栽木の健全な育成を図るため、スギ間伐材を使用した防風垣105mを設置した。

### ●事業成果

地域の住民は、これまでも自主的に植栽活動など実施していたが、昨年からの防風林保全活動でさらに海岸防災林の重要性の理解が図られ、今年は、昨年の倍近くの45人のボランティアが活動に参加した。

### ●自己評価

地域の樹民から要請のあった防風林の保全活動が、緑の募金事業を導入することで実現できた。昨年からの活動で、地域住民などに大変喜んでいただいているが、今年は家族連れなど昨年以上の活動参加者があり、今後さらに住民を巻き込んだ活動となるよう図っていきたい。

### ●参加者の声

- ・これまで防風林の保全は各自で細々と行ってきたが、緑の募金事業で一斉に実施できありがたい。
- ・防風林に適した樹種や植栽方法など、今回の活動が大変参考になった。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.4ha	700本	45人	45人
樹種：クロマツ、シャリンバイほか			
実施場所：鹿児島県南さつま市			



45人が参加

## 「百年かけて百年前の自然の浜を」 お魚殖やす植樹運動促進事業

北海道漁業協同組合連合会

札幌市中央区北3条

### ●事業概要

目的は、海や川を守るため、漁業者自らが栄養豊富な森を育むための植樹を実施しており、更に漁業関係者だけでなく、農業関係・林業関係・消費者団体などの参加者に植樹を通じて『森-川-海の繋がり』や『森林の果たす役割』について理解を深めてもらうため、本事業を行っている。今年度は3種1050本の苗木を植樹した。

### ●事業成果

#### ①前年度までの成果等(平成10～28年)

全道においては昭和63年より本事業が開始され、平成10年より現在の場所で開催。参加者は延べ約1370人、植樹本数は約1万3000本だった。

#### ②今年度新たに得られた成果等

本事業はすぐに成果が出るような内容ではないが、参加者が年々増加していることから、植樹の大切さが水産業界以外にも幅広く認識され始めている。

### ●自己評価

- ・計画よりも参加者が多く、またマスコミに取り上げられたことで、多くの消費者にも植樹の大切さを広めることができた。
- ・初めて補植も実施し、成長率や根付きの度合いなどを参加者が実感することができ、良かった。

### ●参加者の声

- ・素晴らしい取り組みであることがわかった。次世代の子ども達にも広く知ってほしいと思った。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下川面積	道内	計
0.9ha	1050本	0.9ha	142人	142人
樹種：イタヤカエデ、ニレ、ミズナラ				
実施場所：北海道当別町(道民の森)				



イタヤカエデ、ニレ、ミズナラを植樹



## 小鳥のさえずりが聞こえる 河畔林づくり事業

### 河川愛護団体リバーネット21ながめま

北海道夕張郡長沼町

#### ●事業概要

目的は、子ども達が自然に親しむと共に流域内の緑の保全と回復・風水害防止など、自然環境を保全創出することへの重要性を認識してもらうことである。主な活動は子ども達が近郊の森林で種を採取、育苗し、その苗を植樹する森林環境教育である。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成14～27年)

植樹活動は、15年間1万5000本以上の木を植樹してきた。その植樹方法は、地域特有の環境に合った木だけが生き残る「生態学的混播混植法」であり、アオダモ・ハルニレ・イタヤカエデなど様々な木が成長している。

##### ②今年度新たに得られた成果等

過去の植樹箇所の下刈りは手作業で、雑草が伸びているため、年寄りや子ども達の作業が危険であったが、安全指導を徹底したおかげで、無事に終了できた。

#### ●自己評価

木の生育が不良な箇所もあり、植樹地の選定等の問題点もあると思うが、この植樹方法の特徴と考えているものの、今後、その点を注視して観察していく。

#### ●参加者の声

- ・自分が採取した種が育つのが楽しみです。(小学生女子)
- ・子どもの頃植えた木が大きくなって嬉しかった。(30代女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	道内	計
0.01ha	450本	0.18ha	67人	67人
樹種：アオダモ、ミズナラ、ハルニレほか				
実施場所：北海道長沼町				



アオダモ、ミズナラ、ハルニレほかを植樹

## サケの上る森づくり記念植樹祭事業

### サケの上る森づくり実行委員会

北海道久遠郡せたな町

#### ●事業概要

北海道南西部に位置するせたな町は豊かな森林生態系や清流日本一に輝いたこともある後志利別川を始めとする清流を背景に水産業が営まれている。その森林と海との密接なかかわりに着目し、魚の生息環境・自然回帰のため、豊かな海づくりにつながる植樹活動を行う。漁業者はもとより、まちの関係機関や小学校など、幅広い団体が参加する。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成7～28年)

これまで、約3800本を植樹し、豊かな海づくりにつなげる植樹活動を続けている。

##### ②今年度新たに得られた成果等

新たに、町内会などへも案内発送した結果、新規の参加者が見られ、昨年と比較して20人ほどの増員となり、緑の普及に係る新たな啓発に繋がった。

#### ●自己評価

苗木本数の減があったものの、概ね計画通りの達成度であった。着生の良い植樹場所の選定に毎年苦慮していることから、今後は早めの計画検討を行う必要があるほか、植樹本数を増加させ、参集範囲の拡充などを図りながら、多くの方に、森林と海との密接なかかわりについて、理解していただけるよう努めたい。

#### ●参加者の声

- ・せたな町を流れる川がきれいになることで、海へ綺麗な水が流れ、魚もよく育つのは、豊かな緑のおかげだということがありました。(小学4年生)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	道内	計
1ha	100本	93人	93人
樹種：エゾヤマザクラ、ソメイヨシノ			
実施場所：北海道せたな町			



「サケの上る森づくり」記念植樹祭

## 下田公園湿性花園間伐事業

### おいらせ町緑化推進委員会

青森県上北郡おいらせ町

#### ●事業概要

下田公園は町の2大公園の一つであり、多くの鳥類などの動物が生息するとともに、日本古来の貴重な植物が自生する公園である。近年は、観光協会など多くのボランティア団体との協働により、環境整備や植栽が推進され、親しみのある四季折々の自然豊かな公園となっている。公園内には、多様な植物が自生する湿性花園があり、周囲は木道により散策できる環境にある。しかしながら、周辺はスギが密植しており、光が入りにくいことから、暗くて散策しづらいイメージがあった。そのような観点から、林床に光が届く明るい空間の創出と、採光により生物が息づき、地域住民、観光客が安心して楽しめる公園環境の整備を目的に、湿性花園周辺の間伐・枝打ちを行う。

#### ●事業成果

間伐し、枝払いも行うことにより、春先、ミズバショウやザゼンソウなどの湿性植物が芽吹く空間がつけられた。周辺の森林の見通しも良好になり、公園の自然資源の保全と景観のイメージアップにつながった。

#### ●自己評価

- ・湿性花園の北側は、比較的平坦で重機が入り易く、作業に支障がなかったことから、全域をバランスよく間伐することができたが、南側の斜面は重機が入ることが困難であったことから、間伐するエリアが限定的となった。
- ・ここをPRし、住民や観光客に活用されるよう情報発信する。
- ・自然環境を持続的に保全していくため、住民との協働により、定期的の下刈りなどを行う。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
下刈面積	間伐面積	枝打ち	県内	計
1.44ha	1.44ha	37本	9人	9人
実施場所：青森県おいらせ町（下田公園）				



スギの間伐

## 「下関のエゾエノキ」樹勢回復事業

### 青笹町6区自治会

岩手県遠野市青笹町

#### ●事業概要

目的は、県下でも2番目の太さ（幹間480cm）の地域のシンボルとなっている樹齢約300年のエゾエノキの古木は住民と強く密着した存在となっている。最近、枯枝が目立ち、樹勢減退とともに内部の一部に腐朽が進行しており、放置すれば倒木の恐れがあることから、治療を施し後世に引継ぐため、主な活動として、①土壌改良処理、②膨軟腐朽部の除削と殺菌処理、③硬化腐朽部への木固定剤の散布、④幹表面割裂部の閉鎖、⑤枯枝・暴れ枝切断、木口殺菌塗布剤処理などの実施と、説明板の設置を行った。

#### ●事業成果

地域住民が治療に参加したことにより、エゾエノキが地域の宝であることを再認識することができた。また、エゾエノキを後世に引継ぐことができた。

#### ●自己評価

- ・樹勢回復治療については地元住民の協力を得て予定どおり実施できた。
- ・今後の課題として、所有者、住民と連携して経過観察及び定期的かつ継続的な管理を行っていくことが重要である。
- 参加者の声
  - ・作業は強風や雨天の日もあり大変だったが治療が完了し、ほっとしている。（地域住民）
  - ・地域のシンボルツリーとして後世に引継ぐことができ大変嬉しく思う。（地域住民）
  - ・多くの葉が茂るように、これからも見守りたい。（地域住民）

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
樹勢回復	下刈面積	県内	計
1本	0.1ha	22人	22人
実施場所：岩手県遠野市青笹町地内			



エゾエノキ

## 希望と期待と試練のみどり道整備事業

### みやぎ里山整備クラブ

仙台市泉区

#### ●事業概要

目的は、荒廃が進んでいた道路沿いの対象地を整備し、緑豊かで快適な緑地（森）に再生することである。人（学生が多い）や車が頻繁に通行する市道沿いの緑地でありながら、急傾斜地であるため所有者にとっては利用価値が低く、長年放置された結果、枯損木が倒壊したり灌木やつるがはびこって景観を著しく悪くしていた。そこで、会員の手で枯損木を伐倒、灌木やつるの刈払いを行い、発生したごみは階段筋状に整然と並べ、景観を回復させた。また、新たにシンボリックな高木樹の植栽、歩道沿いには花の咲く低木を配置し、さらに既存の稚樹を残し将来の成長を期して通行者が楽しめる森の空間を提供することである。

#### ●事業成果

危険な枯損木は撤去され、通行の安全が確保された。また、景観を悪くしていた灌木やつるが刈払いによって除去され、気持ち良く感じる緑地に再生された。さらに歩道沿いには花木や花の咲くグランドカバーが植栽され、通行しながら楽しめる空間を作った。

#### ●自己評価

現状、目的はほぼ達成できた。花木が咲く数年後が楽しみであり、維持管理をしっかりと続けたい。

#### ●参加者の声

通行者からは、筋置きの景観には「整備前は危険で、心配していた」「植栽がきれい」といった感想が寄せられた。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.1ha	130本	0.3ha	98人	98人
樹種：サクラ、ヤマボウシ、モミジほか				
実施場所：仙台市				



サクラ、ヤマボウシ、モミジほかを植樹

## 気仙沼波路上地区の緑化による生活環境改善事業

### (特非) 海べの森をつくろう会

宮城県気仙沼市波路上原

#### ●事業概要

目的は、地域コミュニティの中心である自治会館再建場所の緑化を行う事により、活動を通じた被災地コミュニティの再建をする事である。主な活動は、再建された自治会館に集まり、植樹場所の選定や植樹地の耕うんなど、地域住民と共に未来に向けた新たな出発として力を合わせながら植樹を行う事ができた。

#### ●事業成果

東日本大震災で壊滅的な被害を受けた気仙沼市波路上地域住民が、被災した自治会館再建場所を中心とした地に植樹活動を行い、ふるさと再生のシンボルとする事ができた事は、共助による復興につながると思えた。

#### ●自己評価

準備段階において、土壌の耕うんパーク堆肥の混ぜ込みなど十分以上の準備を実施、高齢者や子どもたちの植樹活動が容易にできる環境を整備、スコップ等の資材も十分な数を準備した事もあり、1時間ほどで十分な成果が上がった事は、良かった。しかし、小雨決行の事もあり、参加者が52人と少なかつたのが残念。

#### ●参加者の声

・次の世代にいい財産を残す事ができた。(参加者)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.05ha	240本	60人	60人
樹種：オオシマザクラ、シャラほか			
実施場所：宮城県気仙沼市			



サクラ、シャラほかを植樹

## 西長野古米沢の森林再生事業

### (株)花葉館・植栽グループ

秋田県仙北市角館町

#### ●事業概要

市民憩いの場として整備されたスキー場であったが、事業終了後荒廃した状況にあった。

この状態を改善する為、当該地に隣接している温泉施設「花葉館」を核とした各種団体・市民グループを組織化し、株式会社花葉館・植栽グループを結成した。これは、仙北市角館町のシンボルである「桜」の植栽を実施し、将来市民に親しまれる森林公園を目指し実施している次第である。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成25～26年)

植栽事業を継続して実施してきたことにより、本活動が多方面に周知されてきている。当該地に隣接して温泉宿泊施設・グラウンドゴルフ場・ゲートボール場・サバイバルゲーム場が設置されており一年を通じて県内外から多数の方々を訪れ、年々事業の評価が高まっていると思われる。

##### ②今年度新たに得られた成果等

今年度は、最多の70人の参加を得、植栽を実施した。これは、本事業の認知が進んだ為と思われる。

#### ●自己評価

事業は、各団体からの支援を受け順調に推移してきている。また、植栽後の苗木育成・保育に関しては、専門家やグループの協力を得ながら進めていきたい。

#### ●参加者の声

- ・楽しくサクラを植えた。将来が楽しみ。(小学生男子)
- ・サクラの植栽も場所を変更してさらに拡大してはどうか。(70代女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.3ha	30本	0.6ha	74人	74人
樹種：オオヤマザクラ				
実施場所：秋田県仙北市角館町				



オオヤマザクラを植樹

## 癒しの森づくり

### (特非)斜平山保全活用連絡協議会

山形県米沢市大字川井

#### ●事業概要

目的は、地球温暖化の解消、マツ枯れやナラ枯れで荒廃した森林の再生、50～100年後に癒しの森で楽しんでいただくこと。主な活動は、大木になるブナ苗の植林運動である。米沢市内小学校全生徒にチラシを配布したり、新聞や生涯学習ガイドブック等に掲載したりして、植物活動への参加を募っている。

#### ●事業成果

ブナ植林活動は5年前から行っているが、今回の事業では、250本を植栽した。一部は冬を越せずに枯損したが、大半は活着した。

#### ●自己評価

これまでの植栽地よりも傾斜がありユンボが使えず、地拵えに苦労した(毎年雑木が太くなっている)。事業にのべ130人以上が参加してくれたことは大変よかった。今後は植林の面積を少なくして人件費を抑え、森づくりに多くの参加者が来られるよう努力する。

#### ●参加者の声

- ・植林はこんなに手間のかかる仕事とは思わなかった。
- ・ブナ苗が雪を越す(雪に倒れなくなる)までが大変で、その後は生長が早い。
- ・記念植樹で植えられたことは大変嬉しい。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	県外	計
0.5ha	250本	0.5ha	128人	3人	131人
樹種：ブナ					
実施場所：山形県米沢市					



ブナを植樹

## 健康の森ブナ林整備事業

### 小国町観光協会

山形県西置賜郡小国町

#### ●事業概要

目的は、近年、ナラ枯れ被害が発生している「健康の森」において、ナラ枯れにより荒廃した箇所へのブナ林形成を促進するとともに、親子の林業体験を通じて森林愛護の機運醸成を図るものである。主な活動は、枯損木の撤去と下草の刈り払いを行うとともに、小国小学校児童と保護者によるブナの植樹を行う。

#### ●事業成果

本事業は今年度が初年度であったが、建設会社や森林組合などの協力により、安全かつ円滑な事業実施ができた。建設会社が遊歩道の補修を、森林組合が苗木の手配や植樹の指導を行うとともに、「健康の森」管理者が枯れ木の撤去など植栽地の準備を行い、それぞれの連携により事業を行う体制がつけられた。

#### ●自己評価

小学校の協力により小学5年生と保護者、教師81人の参加を得て植樹を行うことができ、また、小学校の授業で取り扱ったスギの植栽と比較することで樹種や植栽方法の違いを体験できた。集団行動のため、アクセスが容易な場所に植樹が限られた面があるが、ナラ枯れが多発して裸地化した箇所に重点的に植樹することができた。

#### ●参加者の声

- ・木を切ったり枯れたりしたあとに、植えることが必要なのがわかった。(小学5年生)
- ・石や木があり、クワで穴を掘って苗木を植えるのが大変だったが楽しかった。(保護者)

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
植付本数	81人	81人
100本		
樹種：ブナ		
実施場所：山形県小国町		



ブナを植樹

## 川内ふるさと触れあいの森づくり

### 川内村商工会

福島県双葉郡川内村

#### ●事業概要

目的は、東日本大震災に端を発した福島第一発電所の事故により森林が放射能で汚染されるという事態に陥り、川内村民の多くは今まだ避難生活を余儀なくされている。そこで①地域の絆とコミュニティの再構築のために集う場所②村民が慣れ親しんだ里山を身近に感じられる癒しの場所・ふるさとの森を創ることである。

#### ●事業成果

大きな樹種もあり、スコップなどでの作業をするため、安全指導を行った。女性の参加者が多かったが作業分担を明確にし、スムーズに作業を進めることができた。

#### ●自己評価

- ・作業用道具（スコップなど）の使用があり、参加者の安全を確保するためにも、事前の内部研修が必要である。
- ・癒しの場として森を活用して頂きたいので、植樹するだけでなく車椅子などのスロープにはチップを引き詰める作業を行った。

#### ●参加者の声

- ・植樹場所の特養には母も入所しているので、木々を植樹できて良かった。(60代女性)
- ・入所者と車いすで散歩したい。(特養職員・20代女性)
- ・小さいながらも森ができるのは、眺めがよく暖かな感じがする。(50代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.02ha	187本	43人	43人
樹種：ナツハゼ・ヤマツツジほか			
実施場所：福島県川内村			



ナツハゼ・ヤマツツジほかを植樹

## 外大野しだれ桜樹勢回復と 周辺森林整備事業

### 外大野しだれ桜を守る会

茨城県郡大子町外大野

#### ●事業概要

目的は、茨城県指定県文化財（天然記念物）である外大野のしだれ桜の樹勢回復と周辺環境整備であり、主な活動は、①しだれ桜の整形と治療、②土壌改良と樹勢回復の施肥、③張り出した枝の支柱の取り替え、④雑草・雑木・侵入竹の撤去、⑤観光客の休憩用木製ベンチの設置、⑥緑の募金記念柱の設置と記念植樹である。

#### ●事業成果

大子町の観光名所であるしだれ桜の樹勢回復と周辺環境整備を実施したことにより、花が咲く季節にはより多くの花見客や観光客が訪れた。

しだれ桜を守る会が主催でお花見のイベントを毎年度実施しているが、創立20年を記念してライトアップやまきもちをするなど地域の活性化につながっている。

#### ●自己評価

- ・外大野しだれ桜を守る会が一丸となって周辺環境の整備に取り組むことができた。
- ・専門家による樹勢回復をおこなったことにより、茨城県指定文化財として価値あるものを次の世代に安心して託せる。

#### ●参加者の声

- ・地域のシンボルであるしだれ桜が綺麗になって本当にうれしい。(70代女性)
- ・このサクラを植えたと言い伝えのある徳川光圀公もきっと喜んでいる。(60代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	計
1本	0.6ha	0.3ha	150人	150人
樹種：シダレザクラ				
実施場所：茨城県大子町				



シダレザクラを植樹

## 佐久の大スギ樹勢回復と周辺環境 整備事業

### 佐久の大スギ保存会

茨城県石岡市佐久

#### ●事業概要

目的は、県指定天然記念物「佐久の大スギ」の樹勢回復及び周辺環境整備であり、主な活動は①危険枯損枝の除去と周辺広葉樹の刈り払い、②歩廊（木製歩道）の修繕、③区域内の竹林根絶とスギ植栽、④避雷針修復整備、⑤金属支柱受けの付け替え、⑥樹木医診断指導などである。

#### ●事業成果

スギの樹勢回復事業や、周辺整備事業を通して、立ち入り禁止になっていた歩廊を再び開放し、大スギに近付いて見学することが可能になった。

竹林根絶やスギ苗の植樹を通して、普段、森林と触れ合う機会が少ない参加者が、定期的な手入れの必要性や、整備の大切さを学ぶことができた。特に植樹作業は子どもたちも参加することができ、大スギの大切さや森林を守っていくことについて感じることもできる貴重な機会となった。

#### ●自己評価

- ・樹木医による指導や見学路の整備を行うことができ、大スギを長く守っていくための知識を得る事ができた。
- ・今回植樹したスギ苗の管理について、地元で研修などが必要である。

#### ●参加者の声

- ・大スギをまた間近で見学できるようになってよかった。これからはより沢山の人にスギを見に来てもらいたい。(60代男性)
- ・これからも大スギを大切にしていきたい。(小学生女子)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	樹勢回復	県内	計
0.01ha	30本	1本	85人	85人
樹種：スギ				
実施場所：茨城県石岡市				



スギを植樹

# 百年生美林散策と 関東ツツジ山復活を目指す事業

## 城山を守る会

栃木県鹿沼市口栗野

### ●事業概要

目的は鹿沼市口栗野地内において、かつてのヤマツツジ群落の再生・復活を図ることと百年生の美林散策を行い森林浴を体験する活動である。主な活動は①ツツジのツル切り、②老木の剪定、③ツツジの補植、④ツツジへの追肥である。

### ●事業成果

#### ①前年度までの成果等(平成25～28年)

当会会員によるツツジのツル切りを毎年5月から9月までの期間、早朝実施した。

日当たりが良くなるため樹勢の回復効果が出ている。

#### ②今年度新たに得られた成果等

老木剪定を行ったため、ツツジの株がよりしっかりしてきており、若木の芽が多数出てきたことによる樹勢の回復がより一層の顕著になった。

### ●自己評価

ツツジの花が、毎年きれいに咲かすためには毎年、ツル切り・老木剪定は継続しなければならない。

### ●参加者の声

- ・山全体ツツジが植栽されているのはすごいことである。(60代男性)
- ・手鋸を初めて使い、老木を切った根元には新しい若木が出ていたのが印象的だった。(20代男性)
- ・百年生の美林には遊歩道が整備され心がいやされた。(50代女性)

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
ツル切面積	老木剪定	県内	計
1ha	2ha	200人	200人
樹種：ツツジ			
実施場所：栃木県鹿沼市			



ツル切り作業

# ふるさとの桜山救助活動

## 群馬県樹木診断協会

前橋市苗ヶ島町

### ●事業概要

群馬県藤岡市三波川「桜山公園」のフユザクラの樹勢回復のため、土壌改良・施肥・害虫駆除作業を行った。

作業は、参加募集に応募して参加した地域住民主体の一般市民と、群馬県樹木診断協会会員が協力し、平成28年10月に土壌改良・施肥作業150本、平成29年4月に害虫駆除作業405本を実施した。

### ●事業成果

サクラの樹勢回復措置は短期間で結果が現れるものではないので、目に見える結果は出ていない。しかし、地域住民は「桜山」の保全管理に100年以上の長期にわたり携わっており、サクラの手入れの必要性和重要性を認識しており、会員や一般市民と協働作業を実施できたことを大いに喜んでいて、今後の保全対策の弾みになったものと確信している。

### ●自己評価

「桜山公園」は面積47ha、サクラ植栽本数7000本という広大な区域であり、一時的なイベントで状況が変わるものではないが、今後も引き続き協力し合って効果的な保全活動を行っていく必要がある。

そのためには、高齢化と無関心層の増で活性化を失いつつある地域住民に「ふるさとの桜山を自分たちの手で守る」ことを再認識してもらい、行動力のある組織づくりに貢献していきたい。

### ●参加者の声

- ・多くの方々に協力してもらい、心強い。
- ・みんなでしっかり守っていかなくてはと思った。

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
土壌改良・施肥	害虫駆除	県内	計
150本	405本	78人	78人
実施場所：群馬県藤岡市鬼石町			



土壌改良、施肥などを行った

## 睦沢町ひと・もり・さと再生事業

### 妙楽寺林業振興会

千葉県長生郡睦沢町

#### ●事業概要

目的は、ふるさとのシンボルとなる「湖水に森を映す」里山の原風景の創出と再生であり、そのための活動として①サクラを主とする花樹の苗木植樹、植栽と施肥などの生育管理 ②植栽予定地の整地・土壌改善、地拵え ③周囲部の藪掃除、草刈などの保全管理を適時実施することである。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等（平成26年事業）

ダム湖周囲の既存のサクラに生育不良が発生したため、地起し、客土、暗渠排水などの土壌改良を行い、サクラ120本の植樹と既存樹の移植を行った。

##### ②今年度新たに得られた成果等

前回未実施地域の整地・地拵えを行い、サクラ120本を植樹した。

早春の河津桜から順次開花していき思川で春咲きが終え、秋には十月桜、冬桜が湖畔に色を添える。

苗木が成長する3～4年後の開花期が期待される。

#### ●自己評価

ダム堤下の保安広場および客土など仮置き部位の整地・地均し後の植栽完了、ダム側道脇のくぼ地斜面の地拵え後の植栽も完了。ダム尻部への配置も完了。ただし側道の並木形成は一部地盤の関係で植栽できない部位発生。対岸法面側は傾斜がきつく、整備に限界があった。

#### ●参加者の声

・苗木からの植栽であり、満開の開花を何時になれば（何年後）眺められるか…楽しみ。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	地拵え面積	県内	計
0.4ha	132本	0.4ha	123人	123人
樹種：サクラ				
実施場所：千葉県睦沢町				



サクラに施肥

## 桜の弘法山、森林再生事業

### 市民による森林づくり実行委員会

神奈川県秦野市桜町

#### ●事業概要

はだの一世紀の森林づくり構想の推進に当たり、市民主体の植樹・育樹・活樹事業を実施することにより、市民の森林・里山の循環及び保全に対する理解を深めることを目的に毎年植樹事業を実施している。森林を市民共有の財産としてとらえ50年かけて再生し、さらに50年かけて適正に維持管理することにより、人と自然が共生した秦野らしさのある森林づくり目指していく。

#### ●事業成果

・平成元年～平成19年度 照葉樹の森づくり事業

・平成20年～ 秦野市植樹祭として実施

・昨年度は山に手が入らなくなり荒廃した弘法山の再生を目指し、植樹祭を開催し、今年度も引き続き植樹祭を開催した。伐採木は、登山道の補修などに活用し、資源の循環に努めた。昨年度の植樹地は、整備後、日が入り稀少植物（キンランなど）が見られるようになった。

・今回の植樹地は整備前、鬱蒼としていた森林が、整備後は、日が入り明るくなり、植樹地内にも人が入れるようになり、自然に散策路ができた。

#### ●自己評価

・昨年度の反省点が改善できた。（植樹地区分、指導配置、自然観察会の開催）

#### ●参加者の声

・様々な野草の花を見ることができ、自然観察会ができて良かった、楽しかった、植えた木が生長することが楽しみ。

#### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	間伐面積	県内	県外	計
0.2ha	120本	0.2ha	0.2ha	233人	9人	242人
樹種：ヤマザクラ、イロハモミジ、コナラ						
実施場所：神奈川県秦野市						



ヤマザクラ、イロハモミジ、コナラを植樹



## 六国見山森林公園の里山再生プロジェクト

### 北鎌倉湧水ネットワーク

神奈川県鎌倉市高野

#### ●事業概要

目的は、六国見山森林公園を人と自然が共生できる里山として再生し、後世に伝えることであり、①下刈り②形状不良木の伐採、過密箇所の間伐③保水力保持、景観向上を目的とした落葉樹を中心とした苗木の植樹④里山再生の必要性を訴える写真展と小さなマルシェの開催⑤間伐材の有効活用を推進するためのワークショップの開催などである。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成23～27年度)

下刈り、形状不良木の伐採、過密箇所の間伐の継続により日当たりが良くなり、山野草が続々復活した。同時に眺望が回復し、鎌倉市内外から散策に来る人が増えた。

##### ②今年度新たに得られた成果等

累計植樹本数が300本を突破した。間伐材の有効利用をさらに進めるため、(1)「北鎌倉の間伐材を一本100万円で売るプロジェクト」を立ち上げ、割れないヒノキの輪切り皿を開発したLa-Muga(ラムガ)に間伐したヒノキを提供、(2)NPO法人游風へ使い捨て和器用の間伐材を継続提供、(3)災害備蓄・土壌改良を目的に間伐したスギを炭化し、活用実験—などに取り組み、一定の成果を収めた。

#### ●自己評価

- ・植樹本数に関してはほぼ目標を達成した。今後は植樹した苗木をいかに育てていくかが大きな課題だ。
- ・若い世代の後継者を育てる必要がある。

#### ●参加者の声

- ・幼児たちを安心して連れて来られる。(20代保母)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	間伐面積	県内	県外	計
0.03ha	79本	4ha	350人	50人	400人
樹種：イロハモミジ、クスギ、コナラ					
実施場所：神奈川県鎌倉市					



間伐したヒノキ材で割れないお皿を使った

## 慈光寺のスギ並木樹勢回復事業

### 慈光寺スギ並木を守る会

新潟県五泉市蛭野

#### ●事業概要

慈光寺の参道沿いに樹齢300年以上のスギ136本の並木がある。しかし並木は長年の車両等の通行で衰退が著しい状態である。このため樹勢回復作業を実施した。①樹幹上部の枯死枝の切除・殺菌処理。作業は高所作業で危険を伴うので森林組合に委託。選木調査、作業指導は樹木医にお願いした。②スギ並木の山側に開設された間伐作業道で環境が改善し、土壌乾燥、水分不足等が懸念される。これらを回避することと後継樹としてスギ苗を植栽した。

#### ●事業成果

①スギ並木樹幹上部の枯死枝の切除・殺菌処理の実施。これにより枯死枝の落下は回避される。②スギ苗植栽の実施。植樹式を開催し、参加者は総勢135名であった。参加者は地元以外に新潟市など遠くから参加された方もおられた。

#### ●自己評価

樹勢回復事業として、①達成状況：樹高24m付近までの枯死枝の切除・殺菌処理は、調査診断本数136本の内危険木60本の処理ができた。植栽も計画の350本を植栽した。②反省点：植樹式イベントでは降雨対策が十分とはいえなかった。③今後の課題：通常の参道の草刈、清掃に加え植栽木の保育管理を徹底したい。

#### ●参加者の声

- ・早く大きくなるよう丁寧に植えました。(小学生女子)
- ・雨で大変でしたが、植穴が掘られてあったので植えやすかった。(70代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	樹勢回復	県内	計
0.14ha	350本	136本	135人	135人
樹種：スギ				
実施場所：新潟県五泉市				



スギの植樹

## 阿賀町中ノ沢地区 天然スギ巨木の森整備事業

### (特非) お山の森の木の学校

新潟県東蒲原郡阿賀町

#### ●事業概要

目的は、阿賀町中ノ沢渓谷森林公園「天然スギ巨木の森」の整備・活用を通しての森林公園及び山村中ノ沢の活性化であり、主な活動は、①事業イベントを通しての「天然スギ巨木の森」のPR、②既存遊歩道の再整備、③「天然スギ巨木の森」までの新たな作業道整備、④森林公園内の植生調査である。

#### ●事業成果

- ・周辺の作業道が見違える様に整備が進んだ。
- ・特に今年度の活動で、沢を渡る箇所に橋を架け、急斜面で滑りやすい場所でのステップ作りが進み、安心して歩くことができるようになった。

#### ●自己評価

- ・特にボランティア組織「裏五頭の天然スギに集う会」メンバーによる、自然と人に優しい道作りは、そのコンセプト及び出来映えは高く評価できる。
- ・また、橋架け・岩場での刈払い作業を地元林業経験者の方に依頼することより、実践を通しての体験交流ができ、非常に親睦が深まった。

#### ●参加者の声

- ・最初は藪の中であった「天然スギ巨木の森」が、灌木伐採・刈払い・橋架け・ステップ作りが進む中で、四季折々の森の変化も加わって素晴らしい森へと変っていく様子が体験できた。(70代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
草刈り	作業道づくり	計
500m	300m	115人
実施場所：新潟県阿賀町		



作業道づくり

## カタクリと動物たちの森づくり

### 矢環境緑化実行委員会

福井県大野市矢

#### ●事業概要

高度成長期以来、集落を取り囲む里山が荒廃して景観も悪くなっていた。そこで農作物への獣害を減らし、美しい里山のある集落を目標に里山の整備に着手した。

最初に年間を通して人の集まる寺の周囲の整備から始めた。タケの伐採・間伐。スギ林、雑木林も倒木枯れ木の伐採、伐った木は作業道、遊歩道に使った。余った木材は薪用とした。里山整備の過程で集落を取り囲む里山はカタクリ群生地であることに気付いた。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等

里山整備の過程で発見したカタクリの群生地とその後カタクリの群生地の整備と保全活動によって事業が継続できた。里山整備の活動を通じて地域コミュニティの活性化ができた。

##### ②今年度新たに得られた成果等

里山に整備を始めて10年が経過したが、過去にはいなかったイノシシ、シカが現れるようになった。今年はカタクリの群生地を守るべくカタクリの群生地の一部にシカ除けネットを張り巡らした。

#### ●自己評価

食害防止ネットは目標通り約600m張ることができた。今後5年間ぐらいは雪による植樹苗被害も心配される。今後の一番の問題は高齢化です。

#### ●参加者の声

- ・山間地の群生地の森を整備するのは大変だけれど、森とカタクリを大事に守っていきたい。

#### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	計
2ha	100本	3ha	2ha	57人	57人
樹種：オオヤマザクラ、イロハモミジ					
実施場所：福井県大野市矢					



シカ除けネットを設置

## 越前おおの・九頭竜花桃回廊

### 越前おおの・九頭竜花桃回廊実行委員会

福井県大野市朝日

#### ●事業概要

当地域に花桃苗木を植樹し、「花桃回廊」を作りふるさとの森づくりと森の魅力アップ、そして当地域の観光拠点づくりを目的とした事業である。平成22年からスタートし、植樹したハナモモの苗木は1600本余りとなり毎年年間を通して草刈り・枝打ち・薬剤散布等育成管理をしている。

#### ●事業成果

##### ①昨年度までの成果等(平成22～28年度)

平成22年からスタートした「花桃回廊」づくりも現在1600本余りとなり、沢山の見事な花を咲かせ、来場者には感動を与え「いこいの場」として大変喜ばれている。

##### ②今年度新たに得られた成果等

一昨年より当地区でとれた花桃の実を植付、実生から苗木の育成に取り組み、本年より若干植樹や捕植などに役立っている。今後は荒地の活用を考え当地区全体で実生からの苗木を育成し販売も可能となり、十分な成果をあげている。

#### ●自己評価

花桃の花が咲くのが多くの人に感動を与えており、観光拠点として成果をあげつつある。反面豪雪地帯だけに樹木の倒木、枯れ木なども多々あり、雪対策に苦慮しており、これらの管理が大切である。

#### ●参加者の声

・荒地が、こんなに美しくなり「いこいの場所」として充分活用できるようになりうれしい。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	計
55本	4.0ha	9.0ha	194人	194人
樹種：ハナモモ				
実施場所：福井県大野市				



ハナモモを植樹

## 岩窪のヤツブサウメ樹勢回復事業

### 甲府市岩窪自治会

甲府市岩窪町

#### ●事業概要

目的は、武田信玄公墓所内にある山梨県の天然記念物「ヤツブサウメ」の樹勢回復事業であり、主な活動は、①根周りの土壌改良、②枯死した枝の剪定、③保護柵の設置である。

#### ●事業成果

- ・幹周りの土壌改良が行われたことで、新たな根の発根・活性化が見込まれる。
- ・枯死した枝を切ったことで、周囲からの全体的な景観が良くなった。
- ・環境に優しいタケの保護柵を従前より広めに設置したことにより、根周りの土の踏み固めがなくなった。

#### ●自己評価

達成状況：

- ・数年前から枝の枯死が多く発生していたが、今回の事業により枝の活性化が図れた。

反省点：

- ・事業を進める中で、根張りのための土壌改良面積をもう少し増したほうが良かった。
- ・幹の東側は墓所参拝者の通路になっているため、改良土の上を歩行できる広めの対策が必要。

#### ●参加者の声

- ・甲府市開府500年、武田信玄生誕500年には、県内外・国外の観光客がここを訪れると思う。この事業により、素晴らしい梅花が咲き、皆様をお迎えできることを期待する。(40代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
樹勢回復	県内	計
1本	71人	71人
実施場所：甲府市		



住民参加で改良材埋め戻し

## 小那比地域環境保全活動

### 小那比自治会

岐阜県郡上市八幡町

#### ●事業概要

過疎化、高齢化が進む小那比地域の街道沿いにサクラなどを植樹することで、美しい自然環境の維持と地域住民の活力の向上並びに来訪者の多い地域づくりを行うことを目的に、地域住民により、植樹及びシカ食害防護柵の設置を実施。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成24～27年)

地域の街道沿いを中心に植樹を行い、地域の緑化意識の高まりと美しい村づくりを進めることができた。

##### ②今年度新たに得られた成果等

シカの食害防護柵の設置では、専門家の指導を受けたことにより、防護柵設置時の注意事項などを学び、農作物の防護柵へも活かせるなど、効果的な防護柵の設置方法を習得した。

#### ●自己評価

- ・毎年の地域の行事として、定着しており、目的の一つである地域住民の活力向上は図られている。
- ・当初、二日で計画していた作業も、地域住民の協力しあった作業により、半日で植樹、防護柵の設置まで終了することができた。

#### ●参加者の声

- ・毎年の地域行事として、地域全体で取り組んでおり、地域が活性化している。(70代男性)
- ・毎年、地域に桜が増えており、特に春は地域が華やかになる。(70代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.07ha	50本	88人	88人
樹種：サクラ、モミジ			
実施場所：岐阜県郡上市			



サクラ、モミジを植樹

## 彦谷の里 里山保存継承事業

### 自治会二本木区

岐阜県高山市清見町

#### ●事業概要

昔より里山として利用されてきた森林が戦後薪炭林として利用された後、そのまま人手が入らない森林となり生態的にも生産機能からも不健全な林となっている。そのため森林の持つ多面的機能の向上を図るうえには、どのような施業や人のかかわり方が必要であるかを検証するため、試験区を設定し、調査比較及び森林施業を行い、地域の3分の2を占める広葉樹林の見本林やガイド林の整備により多くの人が入山し関心を持つ山として整備した。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(昭和59年～)

モデル林整備後、30数年経過し設置、当時は林業技術者等の研修場所として利用されていたが近年は、活用されていない状態であった。

##### ②今年度新たに得られた成果等

道路の整備、など一般の人々が入山できる、環境整備を行ったことにより、広葉樹の整備の必要性や里山に親しむ活動場所としての位置づけが確立され、多くの方に親しんでいただくことができる環境整備が整った。

#### ●自己評価

今年度は、活動の場所の整備が中心であったが、次年度からは多くの方に、入山して活動できる場所としたい。このような活動箇所があることのPRにも力を入れたい。

#### ●参加者の声

- ・ブナの原生林から湧き出す水に感動した。(60代男性)
- ・大きな木に登り眺めたら、鳥の気分になった(ツリークライミングを体験)。(小学生)

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
下刈面積	除伐面積	間伐面積	県内	県外	計
2ha	1.5ha	8ha	104人	105人	209人
実施場所：岐阜県高山市					



下刈り

## 学校のシンボル「メタセコイヤ」の樹勢回復

### 愛知県知立市立知立中学校PTA

愛知県知立市広見

#### ●事業概要

樹勢が衰えた理由に、校庭という立地条件に基づく水の浸透性や地盤の固さがあげられる。ここ数年、初夏における葉の繁茂状況が少なく、さらに7月下旬には葉が枯れて落ちてしまう状況にあり、抜本的な改善を早急に図る必要がある。しかし、本校および本校PTA単独で行うには、十分な技術や資金がないため、今回、樹木医や造園業者による土壌改善工事を行った。

主な活動は縁石撤去・トレンチ土壌改良・縦穴式土壌改良である。

#### ●事業成果

縁石を撤去したため、根が広がっていくことが期待できる。また、根の周りの土壌改善を図ったため、水の浸透性の向上や成長に必要な栄養の効率的な摂取が期待できる。

#### ●自己評価

計画通り、実施することができた。限られた期間や資金を適切に活用し、精一杯の樹勢の回復のための活動ができたと評価している。

#### ●参加者の声

PTA、および、教職員も今回の取り組みが樹勢回復の第一歩となるであろうことに満足している。今回の工事を実際に行った樹木医や造園業者からは、来年以降も土壌改善のエリアを広げていき、根の成長や、水の浸透性の向上や成長に必要な栄養の効率的な摂取ができるように土壌改善を進めていくべきとの声をいただいている。

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
樹勢回復		
1本	100人	100人
樹種：メタセコイヤ		
実施場所：愛知県知立市（知立中学校）		



水の浸透性を改善

## 小面積皆伐による里山再生モデル事業

### 四日市自然保護推進委員会

三重県四日市市采女が丘

#### ●事業概要

ナラ枯れが進む里山でナラ枯れ防止と生物多様性の維持のため、毎年小面積を皆伐し、かつての里山のモデルを作ることを目的に活動している。主な活動は、①雑木林の一定面積（1000～1500㎡）の皆伐、②伐採木のチップ化、搬出、活用、③伐採跡地の下刈り、④市民への啓発などであるが、本年度は若い世代の参加を促すことに重点を置いた。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等（平成25～27年）

当初に皆伐した区域は、すでに若いコナラやアカマツの林になっており、ササユリが戻ってきた場所も見られる。春にはヤマツツジやコバノガマズミなどの花も多く見られるようになっている。

##### ②今年度新たに得られた成果等

天候不順で、予定を何度も変更しなければならなかったが、協力者もあり、何とか予定区域の伐採、搬出を終えることができた。また、親子を対象とした講座で里山を楽しむ体験も行うことができ、新たな層の参加者が増えた。

#### ●自己評価

会員の経験も蓄積され新たな協力者もあって、活動を進めることができた。今後は、機器の搬入や伐採木の搬出が困難になる。打開策を考える必要がある。また、伐採跡地の管理については、所有者との協議が必要になる。

#### ●参加者の声

・大径木を伐採する場面を見て、自分もチェーンソーが使えるようになりたいと思った。（40代男性）

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
皆伐面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.1ha	30本	0.35ha	298人	298人
樹種：クリ				
実施場所：三重県四日市市				



伐採跡地にクリを植樹

## 正法寺のフジ樹勢回復事業

### 日野町緑化推進委員会

滋賀県蒲生郡日野町

#### ●事業概要

多くの人に広く愛され親しまれている正法寺のフジ（樹齢300年以上）が、近年樹幹部の腐朽や枝の枯損等の影響により、樹勢の衰えが目立ち始めており、樹勢の回復を図るために、樹木医が中心となり、土壌改良、不定根誘導、樹幹腐朽部の処置、枝葉の剪定などを行った。またフジ棚が腐朽しており、十分なフジの成長と安定した開花に支障をきたしていたため、樹木医と地域住民の協働により、フジ棚の改修を行った。フジの正しい知識と今後の地域住民による保全意識の向上を目的に、樹木医によるフジの勉強会を開催した。

#### ●事業成果

土壌改良、不定根誘導、樹幹腐朽部の処置、枝葉の剪定により樹勢回復が図られた。また、棚の改修により棚の強度が増し、樹木全体を保護することができるようになった。

#### ●自己評価

- ・計画した事業内容は実施できた。
- ・フジ勉強会は、多数の地域住民の参加により地域全体で保全意識を高める結果となった。

#### ●参加者の声

- ・正法寺のフジ樹勢回復事業に参加してフジ勉強会で学び、地域全体での保全意識が高まりました。また今シーズン以降これまで以上の立派なフジが咲くことを期待しながら楽しく作業しました。

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
樹勢回復	44人	44人
17本		
樹種：フジ		
実施場所：滋賀県日野町（正法寺）		



棚も改修

## 地域とともに育む鎮守の森

### 美具久留御魂神社しめなわ会

大阪府富田林市宮町

#### ●事業概要

美具久留御魂神社には照葉樹林の鎮守の森があり、回遊路が整備され、日々訪れる人もいる。

今般、専門業者に依頼せざるをえない大きな枯損木の伐採、ならびに回遊路の排水整備を行った。

#### ●事業成果

枯損木については台風などで路中の鳥居や隣接する建物を壊しかねない状況だったが、専門業者による高所作業で無事に処理できた。

排水路についても、路面の土の流出防止などが期待できる。

#### ●自己評価

森や回遊路の整備はこれまでも季節ごとに実施してきたが、今回は防災の目線で区域をみてメンバーで相談し、事業を実施できた。

地域で集まり大切にしていきたい神社、鎮守の森なので、これを機会に地域の若手にも参加を呼びかけ、活動を継続していきたい。

#### ●参加者の声

- ・台風などで神社の内外に被害が出る前に、皆で整備をする機会があってよかった。(70代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
危険木伐倒	作業路の整備	府内
2本	50m	25人
実施場所：大阪府富田林市		



鎮守の森を整備

## ふるさとの森林再生事業

### 新野里山を守る会

兵庫県神崎郡神河町

#### ●事業概要

目的は、兵庫県神河町は人工林率県内1位、山を見渡せばその3分の2が針葉樹という我が町において、町の玄関口である新野地区で、町花・町木であるサクラとモミジを植栽することにより「ふるさとの森林」を再生し、あわせて町合併10周年を迎えた記念として次世代にも残る里山林の整備を行うことである。

#### ●事業成果

県立山の学校の研修生と一緒に植栽体験ができ、林業の大切さや厳しさ、楽しさを実感できた。また、里山の整備体験により樹木の種類や生き物の足跡など、森林にあるすべてのものに興味が沸き、里山のすばらしさを学んだ。地元住民の方々もハイキングコースとして訪れるようになり、四季を通じて里山に触れ合える場所ができたことにすごく感激している。

#### ●自己評価

- ・固定作業をせず全員が里山整備の経験ができるように工夫した。
- ・植栽区域内は転石が多いことから、高齢者も散策できる歩道整備が必要であった。
- ・年間スケジュールを作成し、会員やボランティアを募って維持管理を行った。専門的な知識が必要な作業は、地元森林組合などに指導をお願いし安全作業に努めたい。

#### ●参加者の声

- ・はやく満開のサクラと紅葉の里山を眺めたい。(60代男性)
- ・ハイキングコースを歩くのが楽しみだ。(60代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
0.4ha	52本	0.4ha	31人	31人
樹種：サクラ、モミジ				
実施場所：兵庫県神河町				



獣害防止柵を設置

## 境港市竹内西緑地マツ林復元・整備事業

### 竹内マツ植樹隊

鳥取県境港市竹内町

#### ●事業概要

目的は、荒廃した竹内西緑地を美しいマツ林に復元させ、子どもたちの世代に残すことである。現在も雑木林化した同地を開墾・整備して、マツを植樹し、白砂青松を取り戻す作業を継続中である。また、整備した緑地も利用し散策やサイクリングもできるような樹木の配置をする。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成25～27年)

平成25～27年度の3年間に約1万7000㎡の荒廃地を開墾・整備し、2550本の耐性クロマツの苗木を植樹し整備した。

##### ②今年度新たに得られた成果等

開墾・整備・植樹・草取りも3年実施し、年々整備面積が増え、草を刈り取る面積が広がり、人手不足になって来たが、その西緑地の整備そのものが、地域の人々に認知されるようになってきた。

#### ●自己評価

現在までは、ほぼ計画通りに進んでいる。今後の課題としては、大型の重機を入れての開墾作業が、事業認定の決定時期の関係で8月以降になり、開墾対象の部分の雑草が繁茂期に入っており、開墾に手間がかかる。自前の機材の活用と事前作業の検討が必要。

#### ●参加者の声

- ・白砂青松の環境を取り戻すため頑張りたい。若い層の会員を増やす必要がある。(60代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	草刈面積	県内	計
0.6ha	1000本	1.2ha	477人	477人
樹種：マツ				
実施場所：鳥取県境港市				



マツを植樹

## 国指定天然記念物 「玉若酢命神社の八百スギ」再生事業

### 隠岐の島町下西区(自治会)

島根県隠岐郡隠岐の島町

#### ●事業概要

「玉若酢命神社」にある国指定天然記念物「八百スギ」は、隠岐の島のシンボルであり住民の心の拠り所ともいえる樹木として親しまれてきた。近年その樹勢の衰えが明らかであり、老弱化の進行を遅らせる必要が指摘されていた。直近では、平成28年に上部の樹幹の剥落と大枝の崩落により大きな損傷を受けた。幹中心部の腐朽が大きく進行し、落下防止処置が急務であった。そのため、地元下西区と玉若酢命神社、隠岐の島町とが協力し、事業を計画し実施した。

#### ●事業成果

木の長寿命化と安全対策を図ることができ、観光客はもとより住民が再び安心して訪れることができるようになった。また、「八百スギ」が町にとって、如何に重要であるかを再認識することができた。

#### ●自己評価

落下防止対策事業で使用したワイヤーなどの資材は、耐用年数が概ね10年～15年であることから、今後、計画的に資材などを交換する事業計画を立てる必要がある。

また、「八百スギ」の樹勢モニタリングで樹木医の意見を伺い相談しながら、今後も関係者で協力し、「八百スギ」の長寿命化と安全対策に取り組んでいく。

#### ●参加者の声

- ・再び安心して「八百スギ」を間近で見ることができるようになり良かった。(地元住民)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
大枝落下防止工事	樹勢モニタリング	県内	計
1本	1回	13人	13人
実施場所：島根県隠岐の島町			



施工後の「八百スギ」

## 緑の景観事業による里山再生

### 「鹿野の風」プロジェクト

山口県周南市大字大潮

#### ●事業概要

地域全体のカフェや事業所・空き地にコナラなどを植え続ける事で地域に木立のある原風景をつくっていく。都会に住む人々に対し、特に里山資源に付加価値が生まれ、やがて地域の賑わいを創出していく。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成26～27年)

地域に雑木を植える活動は、初年度2ヶ所に10本の雑木を植えた。一般の人々がその景観に好反応され2度目の7ヶ所の雑木を植える事で活動に確信を得た。

##### ②今年度新たに得られた成果等

今回は、6ヶ所に植えるが、特に5本植えた箇所の反応は絶大な成果、特に地域内の人々にコナラの木立ち風景は高感度、この成果は後に大きな波及効果を生むはずだ。

#### ●自己評価

3ヶ所に11本植え、複数植えた場所は、視覚的に成果大だった。

#### ●参加者の声

参加者全員が木立の姿を見て木の力に感動、さらにこの活動を続ける事で地域の再生に大きな確信を得る。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	県内	計
0.002ha	15本	24人	24人
樹種：コナラ、シャラ			
実施場所：山口県周南市			



コナラ、シャラなどを植樹



## 「国指定名勝 毛利氏庭園」 サクラ保全保護活動

### (特非) 山口県樹木医会

山口県防府市大字下右田

#### ●事業概要

目的は庭園内のサクラが著しく衰退しているため樹勢回復の処置などを行い、サクラの名所としての再生であり、主な活動は、①枯れ枝・テングス病の枝の除去剪定、幹等の腐朽部の処置、②根系発育促進の土壌改良、施肥、③普及啓発用の案内看板の設置、④樹木医が主催する毛利氏庭園の散策会で活動の報告を行い普及啓発することである。

#### ●事業成果

園路沿いにある倒木などの危険性があるサクラを処置できたことで、安全に歩行できるようになった。枯れ枝などを撤去することで、景観が良くなった。固結した土壌に施肥などを行うことで根系の発育効果が現れた。

#### ●自己評価

- ・土壌改良は高齢者には厳しい作業だった。若い世代の参加が作業の能率と深く関わっている。
  - ・園路から離れた場所のサクラの土壌改良は見合わせた。
  - ・定期的な啓もう活動を行うことで一般参加者を広く呼びかける必要がある。
- #### ●参加者の声
- ・樹木医の参加者と一緒に作業ができて勉強になった。(60代男性)
  - ・庭園にはいろいろな樹木があることを知って勉強になった。(10代女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
樹勢回復	剪定作業	県内	計
126本	119本	75人	75人
実施場所：山口県防府市			



サクラの樹勢回復

## みんなの高森山 花咲かそうプロジェクト

### 高森山花咲か爺さんの会

高知県吾川郡仁淀川町

#### ●事業概要

目的は、地域のシンボルである高森山のうっそうとした森から、かつての桜並木の様に花の咲く山の復活であり、①椎木などの危険木の伐採(仁淀川町助成) ②作業道の整備 ③花木の植栽 ④子どもたちの森林環境教育である。

#### ●事業成果

危険でうっそうとした森が、山の地肌が見える清々しさと作業道が安全な散歩道と映り、明るい参道が復活した。また、子どもたちにとって自分の植えた木が成長していく楽しさを心に刻み、森林の良さを学ぶ良いきっかけとなった。相乗効果として近隣住民の家々の陽当たりが良くなって、高森山が花の咲く山に変貌していくのが住民の楽しみとなった。

#### ●自己評価

花咲か爺さんの会では、植栽計画図を作成し、植栽の目印杭を打っていく段階で、複雑な地形があって変更を余儀なくされた。また、人手不足で、植栽の工期ぎりぎりまで、作業道の工事に手間取ってしまい、小学校の行事日程に変更が生じた。今後は、公園化に向けて住民の参加を積極的に求め、工期にゆとりをもって実行していきたい。

#### ●参加者の声

- ・古木の運搬はベテランのおじさんの指導が勉強になった。(参加住民)
- ・子どもたちが木に触れ、森林に興味を持ったことが嬉しい。(保護者)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	除伐面積	県内	計
0.3ha	149本	0.3ha	210人	210人
樹種：ミツバツツジ、サルスベリ、イロハモミジ、モクレン				
実施場所：高知県仁淀川町				



ミツバツツジ、サルスベリほかを植樹

## 岡垣町（一丁溜池周辺地区）の放置 竹林伐採・植樹プロジェクト事業

### 岡垣緑のまちづくりの会

福岡県遠賀郡岡垣町

#### ●事業概要

岡垣町が所有する土地を作業の場所として活動している。元々この場所は、この団地を開発する業者が購入した土地であるが、30数年前に岡垣町が取得し、放置されていた。侵入竹などで荒廃した場所となっていたため緑化と美化のため活動場所として整備し植樹している。

1. 放置竹林の全伐採 2. 荒地（雑木伐採）整備 3. 植樹後の下刈り 4. 景観を考慮した樹種の植樹（3月19日に植樹祭を行い300本の苗を植樹）

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等

平成26年から平成29年までの作業で、全く人が入れなかった荒地に植樹し、2年目を過ぎると美しい景観と植樹した木々の緑が生き返った土地の価値を見出した。

##### ②今年度新たに得られた成果等

近くに住んでいる町民が親子で植樹をした。近隣の住民から「見違えるように綺麗に整備していただいて感謝しています」との感想を寄せられた。

#### ●自己評価

達成度は100%に近い成果を上げられたが、会員の多くは60歳を超えるメンバーで、今後の活動が継続できるか不安である。また、植樹するための苗木購入にかかる費用（助成金）が継続できるかが不安である。

#### ●参加者の声

- ・とても楽しかった。（小学生女子）
- ・来年の植樹祭にも参加します。（50代男性）

#### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	県内	計
0.3ha	300本	0.3ha	0.3ha	300人	300人
樹種：ウメ、ミツマタほか					
実施場所：福岡県岡垣町					



ウメやミツマタほかを植樹

## 大園地区 棕の木保存整備事業

### 水俣市五区自治会

熊本県水俣市大園町

#### ●事業概要

目的は、「荒神神社」境内にある地元で御神木として親しまれているムクノキの老化による傷みなどの再生事業である。主な活動は①樹木医による診断②枯枝・折れ枝の剪定及び補修、③断ち割れ防止の補強対策、④根周りの樹勢強化のための柵整備及び環境改善作業である。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等

昨年度までは大園地区住民のボランティア作業として月1回ほど、落ち葉などの清掃作業、樹木の観察を実施し、500年ともいわれる老木の保全に努めており、地域一体となり樹木を愛する心を培った。

##### ②今年度新たに得られた成果等

今回、樹木医による診断及び樹勢回復のアドバイスを受け、今まで手の施せなかった部分の補修及び保全作業を実施することができた。また、根周りの環境改善作業として根本の砂を除去することが望ましいとの樹木医の診断を受け、地域住民らにより砂の撤去及び清掃作業を実施した。

#### ●自己評価

- ・高齢者が多い中、若い人たちが積極的にボランティアに参加してくれたことが収穫であった。
- ・今後も、御神木を後世に残せるよう維持管理をしていかなければならない。

#### ●参加者の声

- ・地元住民が一体となって作業をしたため御神木が生き生きとなったように見えた。（50代女性）

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数	
	県内	計
樹勢回復	112人	112人
1本		
実施場所：熊本県水俣市大園町「荒神神社敷地内」		



清掃及び根回り柵の整備

## 一本松ふれあいの森林(もり)づくり

### かどがわ一本松来楽部

宮崎県東臼杵郡門川町

#### ●事業概要

目的は、手入れされず、風倒木などにより荒廃した人工林を、自然豊かな広葉樹林に再生することであり、主な活動は、①平成23年から継続している苗木植栽、②育林のための下刈り及びツル切り、③作業の効率化のための作業路の改良、④森林環境講習会の実施である。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成23年～27年)

荒廃した人工林を伐採後、毎年100～200本の広葉樹の苗木を植栽しており、下刈りなどの育林活動により順調に成育している。また、森林環境講習会を開催し、参加者が森林の大切さや自然環境の保全などを学んだ。

##### ②今年度新たに得られた成果等

今年度も、苗木の植栽や、下刈りなどの育林作業により、里山づくりが進展した。また、従来の急勾配の作業路を緩勾配に改良し、作業効率が格段に向上した。さらに、森林環境講習会を実施し、幼稚園児から大人まで幅広く森林の大切さを学んだ。

#### ●自己評価

作業路の改良が計画どおりできて、里山づくりの各作業が容易になり、植栽や管理作業が計画どおりに取り組めた。

#### ●参加者の声

・自分が植えた苗木が大きくなるのが楽しみで、今後度々訪れてみたい。(50代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	県内	計
1.4ha	110本	4.2ha	119人	119人
樹種：クヌギ、ツツジほか				
実施場所：宮崎県門川町				



クヌギ、ツツジほかを植樹

## 高座神社の杜再生事業

### 清水地区毛梨野自治会

鹿児島県霧島市国分川原

#### ●事業概要

高座神社境内には国内最大級のナギノキと県内最大級のイチイガシの巨木が林立している。また、神社参道の隣接地には湧水池があり、当地が高台にあるにも関わらず水が涸れたことはない湧水として、地域の人々が鎮守の杜と同様に大切に守ってきた。

昨今、巨木周辺の樹木(スギ)が成長したため、2本の巨木の一部に日光が届きにくく枝の枯死が見られるようになった。そこで、巨木の枝の枯死を防ぐとともに、歳月をかけて針葉樹(スギ)の森から照葉樹の森に変え、より豊かな森にすることを目的に、巨木周辺のスギの間伐を行う。また、地域住民参加の作業を通じて、自然を大切にする心を醸成させたい。

#### ●事業成果

スギの間伐することで、日差しが入るようになった。隣接地から侵入してきていた竹を伐採し、土砂の流失防止に再利用した。間伐した所には広葉樹を植栽した。

その結果、日差しが入ることで全体的に明るくなり、また風通しも良くなり、スギの風倒木防止にもなった。

#### ●自己評価

- ・当初の計画通り進めることができた。
- ・住民に、鎮守の杜や自然の大切さに気付いてもらった。
- ・境内や杜が明るくなった分、定期的な除草などが必要となってきたので、定期的に作業を続けていきたい。
- ・高齢化が進むなか、今後の管理のあり方について協議していきたい。

#### ●参加者の声

- ・鎮守の杜がきれいに整備されてよかった。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数	
植付面積	植付本数	間伐面積	県内	計
0.07ha	60本	0.07ha	23人	23人
樹種：スタジイ、ツバキ、モミジ、アラカシ、シラカシ、マテバシイ				
実施場所：鹿児島県霧島市				



間伐後にツバキ、スタジイほかを植樹

---

# 国 際 協 力

---

## 地域住民による アフリカの里山の再生と保護事業

### (特非) サヘルの森

東京都町田市原町田

#### ●事業概要

地域住民が利用できる林づくりを行い、里山を再生して生活の安定化を図ることが目的である。①78カ村に苗木配布、植栽協力などを行った。②篤農家研修では、4カ村10人の村人を対象として接ぎ木技術などを計3回実施した。里山再生モデルの実践では、研修生が苗畑を設置し、育苗体制を整えた。③試験地・見本林では、荒廃地でのアカシアセネガルの補植と野火防止のために草刈り管理を行った。④里山の保護では、森林資源が残る地域の視察を行った。⑤有用樹の育成では、雨期の除草と乾期の乾燥を抑える草本類による被覆などを行った。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成25～28年)

多くの村人に苗木を配布できた。選出された村人の研修・交流体制が整い、技術研修が実施できた。

##### ②今年度新たに得られた成果等

78カ村の村に2万本余の苗木を配布、植栽協力できた。技術研修を受けた10人の村人は、苗木の植樹や苗畑の設置に取り組むことができた。

#### ●自己評価

苗木の配布で緑づくりの興味は広がっているが、いかに苗木づくりに参加させるかが課題である。技術研修を受けた村人は、苗木の育成に着手している。

#### ●参加者の声

・バオバブの葉は毎日食べるので、苗木はうれしい。(女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
植付本数	マリ
2万1548本	7000人
樹種：ユーカリ、バオバブ	
実施場所：マリ・バマコ北部、バマコ南部、ファナ地域	



篤農家研修・接木の実習

## 日本ーラオス友好の森 展示林造成事業

### 日本山岳会「高尾の森づくりの会」

東京都八王子市宇津木町

#### ●事業概要

ラオスは国土の約半分が焼畑利用の森林であり、ラオス政府は今後焼畑を縮小し、森林を7割にまで増やす計画である。このプロジェクトは、地元樹種による展示林を造成してかつての自然林を復元するとともに、共同で植樹祭を行い植林を通じた国際交流と森林保全の普及啓発を行うこと、及び植栽が行われた若い森林を対象に間伐し、その展示林を造成して熱帯地域での森林管理手法を検証することを目的としている。

#### ●事業成果

バンビエン市所在の森林研修センター所管の森林を対象に、10種類の郷土樹種を植樹して展示林の造成を行った。植樹祭は7月4日、日本から14人が参加、ラオス側から166人が参加して、共同で1000本の植樹を行うとともに、中高校生を対象に森林講座を行うなど交流を深めた。1月の間伐は、間伐の意義、選木の方法、伐木技術などについての討議と現地での実技講習会を行った。

#### ●自己評価

年度計画どおり実施できた。特に間伐については、ラオスでは初めての試みであり、ラオス大学林学部の学生を受け入れ、その実習も兼ねて実施した。今後、大学と共同で間伐の効果を検証していくことにしているが、熱帯地域の森林管理の参考データとなることが期待されている。

#### ●参加者の声

子どもたちに森林の大切さを教えるいい機会になった。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	ラオス	計
2.5ha	2777本	17.5ha	135人	944人	1079人
樹種：トンキンチク、シタン、アフゼリア、コウエンボクほか					
実施場所：ラオス・ビエンチャン県					



トンキンチク、シタン、アフゼリアなどを植樹

# カンボジア国クラチェ州における 生物多様性の保全を目指した植林事業

## (特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

### ●事業概要

カンボジア国クラチェ州スヌール地区では、近年大規模な森林伐採が進み、森林資源および生物多様性の減少が著しい。そこで、地域の森林と生物多様性の再生に寄与するため、現地在来樹種の苗木8640本を6.2haの規模で地域住民と協働で植栽した。さらに、地域住民の森林管理に必要な知識や技術の向上を目指し、ワークショップや研修、パンフレットの配布、森林管理住民グループの形成支援指導を行った。

### ●事業成果

地域住民の森林管理・保全に関する意識が高まり、今後地域の森林の持続的な管理を目指す契機となった。現地の森林局を活動に招いて実施し、事業地のコミュニティフォレストが政府によって公式に承認されるプロセスに進むこととなった。荒廃していたコミュニティフォレストの森林・生物多様性の再生が今後進むことが期待される。

### ●自己評価

多くの地域住民が積極的に参加し、事業計画を達成することができた。しかし、雨期の洪水の規模と回数が近年増加しており、本事業でも植栽した苗木が洪水による影響で枯死した。今後は、管理体制の向上が課題である。

### ●参加者の声

- ・我々のコミュニティを支援してくれて本当にありがとう。  
(スヌールカート村村長)

### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	カンボジア	計
6.2ha	8640本	5.5ha	17人	437人	454人
樹種：メンガ、ケランジ、ヤンナー、インドセンダンほか					
実施場所：カンボジア・クラチェ州スヌール地区					



地域の小学生による植樹

# 平成28年度 緑の国際ボランティア 研修 (カンボジア国)

## (特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

### ●事業概要

本事業では9日間の緑の国際ボランティア研修をカンボジア王国にて実施した。研修員は主にクラチェ州およびモンドルキリ州において緑の募金事業による植林地の視察、植樹体験や植林地の整備、現地小学生への環境教育などのボランティア活動、現地村人との交流などを行い、現地の森林保全に係る問題について理解を深めた。

### ●事業成果

#### ① 前年度までの成果等 (平成21年～27年)

これまでに7回の緑の国際ボランティア研修を東南アジア諸国にて開催し、何れも研修員のみならず現地の住民にとっても有益となる事業の実施を目指すことにより、有意義な研修を開催することができた。

#### ② 今年度新たに得られた成果等

クラチェ州とモンドルキリ州の植林地を初めて訪問し、各州の現地住民と交流し、ボランティア活動を行えたことで、現地住民との関係を深めることができた。

### ●自己評価

多くの研修員から有意義な研修だったとの声が聞かれ、緑の募金や国際緑化活動の重要性についての理解を深めたことが確認できた。今後は、本研修を継続することにより、国際緑化活動に対する理解をさらに普及していきたい。

### ●参加者の声

- ・植林や小学校での授業等初めての経験がたくさんあり有意義だった。(研修員)

### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	カンボジア	計
0.05ha	64本	0.8ha	26人	166人	192人
樹種：シンドラシアメンシス、メンガ					
実施場所：カンボジア・クラチェ州、モンドルキリ州					



小学生と一しょに植樹

# 地球温暖化防止と 日中友好の森づくり事業

## (特非) 地球緑化センター

東京都中央区八重洲

### ●事業概要

植林地の内モンゴル自治区エジンホロ旗小ホロ地区は、阿鎮より30km、新街より8km離れ、エジンホロ旗からウシン旗への幹線道路に面しており、緑化拠点地は、「沙蒿」や「沙米」が植生している半固定砂丘地帯となっている。今年度も、協力企業植林ツアーと現地林業局による障子松の植林作業で、地球温暖化防止と日中友好の森づくりを実施した。

### ●事業成果

土の付いた大苗を移植する方式により、活着率と保存率を高めた。今年度は、全体計画5年間の4年目。今まで植林した苗木は順調に生育している。

### ●自己評価

地球温暖化防止とそれに伴う緑化活動は継続して取り組まなければならない重要な課題であり、国の「国民参加の森林づくり」はその重要な推進手段の一つとして位置づけられている。その意味では、この事業が日中両国の国民が環境意識の高まりと両国民の交流と相互理解に一定の貢献を果たしている。一方で、日本人ツアー参加者が依然、減少傾向にあるなど課題もあげられる。地球温暖化防止、環境緑化活動は今後も重要な活動であり、両国の国民がより一層、環境意識を高め両国民の交流を深める為に普及拡大を進めていきたい。また、継続してきたこの活動の意義を国内へ伝え、社会へ広めていくことも考えたい。

### ●参加者の声

・苦労して穴を掘り植林するという体験を通じて、自然を再生することの大変さ、守ることの大切さを実感した。

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
0.7ha	500本	17人	120人	137人
樹種：マツ				
実施場所：中国・内モンゴル自治区エジンホロ旗				



マツを植樹

# インドネシア 森林と水保全のための の学校地域連携プロジェクト

## (公財) オイスカ

東京都杉並区和泉

### ●事業概要

マドゥラ島は、島の多くを平坦な地形が占め、また緑化が進んでいないことが主な原因となっており、乾季の水不足や雨季の大洪水といった深刻な水に関する問題を抱えている。このようなマドゥラ島において地域住民の地域の水環境保全に関する知識や意欲、技術を高めながら植林活動を促進し、根本的な環境改善に向けて持続的に行動できる地域体制を構築・定着させることを目的とし、コミュニティーの中心であり、次世代の育成の場である学校において、植林活動及び環境教育・啓発活動を実施する。

### ●事業成果

事業最終年となる今年度は、これまでの植林地の管理を行いながら、13校が植林活動に参加するなか、年間目標を大きく上回る植林ができた。マングローブ植林や苗木づくり、ゴミの分別、有機農業、エコキャンプなどの環境教育も行い、3年間の事業で最大となる2200人が活動に参加した。学校での自主的な取り組みが見られるなど、環境保全への意識を高めることができた。

### ●自己評価

継続的な活動を通じて、自主的な取り組みを行う学校が増えてきている。こうした活動の成果が認められ、今年3つの学校が環境賞 Adiwiyata (環境省が認定) を受賞した。

### ●参加者の声

・活動が他の学校にも広がり、同じように緑を愛する子どもたちが増えることを願っている。(小学校教師)

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	インドネシア
2ha	3168本	2200人
樹種：マングローブ		
実施場所：インドネシア・東ジャワ州マドゥラ島スメネブ県、パメカサン県		



乾燥に強い樹種、子どもたちの栄養改善につながる果樹等を植樹

# ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒廃造林事業

(特非) むさしの・多摩・ハバロフスク協会

東京都武蔵野市吉祥寺東町

## ●事業概要

地球温暖化防止およびアムール川の溶存鉄保全とチョウセンゴヨウ林復活を目的として、ロシア・ハバロフスク地方シカチアリャン地区とハバロフスク市内アムール川のほとりの公園にチョウセンゴヨウを日本人と現地市民と共に植え、その緊急性・重要性を啓発した。

## ●事業成果

シカチアリャン地区は戦前からコルホーズによるチョウセンゴヨウの伐採が行われ、そのほとんどが失われ、二次林であるシラカバ林となっている。そこにチョウセンゴヨウの森を復活させるべく3000本の苗木を植えた。また太平洋国立大学における環境フォーラムに参加し、持続可能な社会をめざす提案を行い、ロシア人学生とともにアムール川のほとりで記念植樹を行った。さらに継続で研究をしているエゾヤマザクラとフジザクラの生育は順調で、しっかり根付いていることが確認できた。

## ●自己評価

両地区とも計画通りに行うことができた。今後の課題としては、さらに植林場所を増やして、ツアーの最中に2～3回の植林活動を行うように計画をたてたい。

## ●参加者の声

・普段、議論することの少ないロシアの方々の発表を聞き勉強になった。また、植林ボランティアをとおし、ロシアの森林が危機的状況であることを理解することができた。

## 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	ロシア	計
1.1ha	3020本	44人	60人	104人
樹種：チョウセンゴヨウ				
実施場所：ロシア・ハバロフスク地方シカチアリャン地区、ハバロフスク市内				



チョウセンゴヨウを植樹

# モンゴル森林火災被災地再生事業

(特非) GNC Japan

東京都港区南青山

## ●事業概要

目的は、モンゴルの森林火災被災地において豊かな生態系を持つ森林の早期復元と維持であり、主な活動は①森林火災被災地（セレンゲ県）にて在来アカマツの植林の実施。②2004年愛・地球博モンゴル国際植樹祭における植林地において、大苗による再植林、保育、保護（灌水作業等）等の活動を実施。③山火事の延焼による被害を抑えるため、セレンゲ県及びアルタンボラグ村との調整を行い、通行車両に対する注意喚起やパトロールの体制を調整。①②の植林は春季に地域住民ボランティアの協力を得て行う。

## ●事業成果

2haのセレンゲ県の土地に5250本を植林した。雨が少なかったが、今年度の植林地の活着率は90%で良く育っていた。その他の植林地も活着率70%～80%と良好だった。地元住民と協力して家畜が苗を食べないようにしている。

## ●自己評価

計画どおりの本数を植林でき、また再植林も行えたので良かった。今後も植林・再植林を継続して豊かな森を広げていきたい。課題は森林の管理をすること。樹齢10年以内を目安に間伐を行い、良好な成長を維持したい。そのための知識や技術の向上も目標としている。

## ●参加者の声

・順調に森が育っていることを感じられて嬉しい。ただ、近年干ばつが深刻なので心配もある。もっと植林を増やし、生態系を維持することが重要だと感じる。(30代男性)

## 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	モンゴル	計
12ha	5250本	2ha	6人	54人	60人
樹種：ヨーロッパアカマツ					
実施場所：モンゴル・セレンゲ県アルタンボラグ村					



ヨーロッパアカマツを植樹



# モンゴルにおける北方型生活環境 保全林の造成事業

## 蒼いウランバートル技術支援実行委員会

札幌市中央区北4条西

### ●事業概要

モンゴルでは、温暖化や乾燥化などの気候的要因に加え、過放牧や都市化による森林減少が深刻化し、植生の劣化や消失、土地生産力の低下、黄砂現象の頻発化などによる被害が深刻化している。このため、国をあげて緑化に取り組もうとしているが、植樹に対する知識や技術が極端に乏しく、専門家がないことから、緑化がうまく進んでいない現状にある。

このため、緑化の実践的な技術の向上を図るための技術講習会などを開催するとともに、住民参加による生活環境保全林の造成に取り組み、植林技術者の養成及び住民の緑化意識の醸成を図る。

### ●事業成果

今回のワークショップ、植樹を実施したことにより、参加者に、樹木を植え、育てていくことを大切に思う意識が芽生え始めた。

### ●自己評価

計画どおりの植栽を行うことができた。ただ、木を植栽して育てていくという意識があまり育まれていない国民であるので、生活環境保全林の造成事業ではあるが、人材育成をおぎなりにはできない。観察することの大切さを伝えていかなければならない。

### ●参加者の声

モンゴル人が定住するようになったのは最近。これまで木を植え育てることは頭の中にあまりなかった。人的・資金的な協力をしてくれることに心から感謝している。

### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	日本	モンゴル	計
植付本数			
300本	15人	93人	108人
実施場所：モンゴル・ウランバートル			



親子で植樹

# 泰安市日中友好経済型 生態造林プロジェクト

## (公社) 秋田県林業育成協会

秋田市東通

### ●事業概要

成長が速く、各種抵抗性に優れたニセアカシアと油松を植栽し、動・植物及び微生物の種類を豊かにして、砂漠化の防止や環境の改善を図るとともに、現地の森林観光業を発展させ、経済的効果を促進させる。また、リンゴを植栽し、農家が実益を得られるように配慮しながら植林を実施していく新しいタイプのプロジェクトの推進を図る。

### ●事業成果

#### ①前年度までの成果等（平成27年）

5haにニセアカシアとヤナギとリンゴを植栽。黄河支流の渭河の河岸段丘の一部を、階段状に整地して部分的ではあるが緑化することにより、侵食と砂漠化を防止している。

#### ②今年度新たに得られた成果等

新たに豊かな生態系造成を考えながら、油松、ニセアカシア、リンゴを植栽している。砂漠化防止のほか、一部では昆虫等が見られ、生態系が大幅に改善されてきた。また経済林として植栽しているリンゴの木に、地域住民が興味を示し始め、剪定や歪化について積極的に取り組んでいる。

### ●自己評価

生物も棲む環境が創生されつつある。また、経済林として導入したリンゴ植栽については、2年目に当たって大分理解が深まってきた。

### ●参加者の声

・広大な渓谷が少しずつでも緑化されていることに感動した。（ボランティア参加者）

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
5ha	6700本	40人	80人	120人
樹種：ニセアカシア、油松、リンゴ				
実施場所：中国・甘粛省天水市泰安市				



ニセアカシア、リンゴほかを植樹

## 苗木生産・供給をベースとした住民主体のコミュニティ完結型緑化事業(継続)

### (特非) フー太郎の森基金

福島県相馬市尾浜

#### ●事業概要

ラリベラでは燃料に炭や薪を使い、年々目減りする緑に危機感を持ちながら、苗木確保の難しさから植林の実行には至らない。本事業では住民自ら苗木を生産し、自分の家や畑の周りに植樹することを促した。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等

2地区10家庭が苗木のための畑を庭の一画に造成。町中の住民らは、250本の街路樹を植え、水遣りを自ら行った。山岳地帯の住民に関しては、延べ750人参加して、6万5000本植林をした。

##### ②今年度新たに得られた成果等

新たに2地区10家庭がプロジェクトに参加。各家庭ではTOLの専門家の指導の下、苗畑で、7種類3万5000本の苗木を育てた5000本は市場で売り収益にもつなげた。山岳地帯の住民は、ラリベラの中に苗畑を集中管理、13種類1万1000本の苗木を育てた。アシュッテン山の住民が参加し6万本植林をした。11家庭にリンゴの木も配布した。

#### ●自己評価

昨年と違う10家庭にプロジェクトに参加してもらった。苗木の本数から見えてくる成果は230%と、住民らが意欲的に取り組んだ様子がわかる。TOLはラリベラ市の農業局から緑化活動について表彰を受けた。

#### ●参加者の声

・資材や水道代が提供され、講習会や巡回指導などで、順調に苗木作りができた。しっかり育てていきたい。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	エチオピア
6.2ha	6万本	729人
樹種：オリーブ、ジャカランダ、リンゴほか13種		
実施場所：エチオピア・アムハラ州		



苗畑

## 小学校周辺の防風、防寒を目的とした植林事業

### (特非) エクアドルの子どものための友人の会

埼玉県飯能市中山

#### ●事業概要

目的はカヤンベ県、コンパニア・ロテ・2地区 グスタボ・アドルフ・ベッケル校と、同じくカヤンベ県ブエナ・エスペランサ地区オット・シャルノウ校において小学校教室、菜園の防風、防寒を目的とした植林の実施であり、主な内容は以下の通りである。

①実施校の生徒、先生、保護者、地域住民が参加し、地域の環境緑化に努める。

②苗木の植林とその後の育成作業実施。

#### ●事業成果

生徒100人と、その家族、教師、地域住民も参加したことから、総勢200人で活動することができた。

5年生以上の生徒が中心となり、植林作業前に地面に穴をあける作業から、樹木の世話までを実施。

2校あわせて2000本の苗木を植林することができた。

専門家を招き講習会を行い技術面での向上を図った。生徒たちはこの取り組みを通して、環境に対しての意識を高めると同時に、地域社会の緑化にも貢献する事ができた。

#### ●自己評価

植林を実施した場所で、継続して樹木の世話ができるような仕組み作りをする必要がある。また、現地の活動内容がより分かるように、植林現場の写真だけではなく、生徒や住民が作業している様子を記録していく必要がある。

#### ●参加者の声

植林事業に参加した生徒たちは、取り組みを通して地域社会に貢献できたという達成感を得ることができた。

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
植付本数	エクアドル
2000本	200人
実施場所：エクアドル・カヤンベ県	



2000本を植樹

## インドネシア北マルク州南モロタイ県ダルバ郡におけるポンガミアの植林事業

### (特非) アジア植林友好協会

東京都西東京市田無町

#### ●事業概要

モロタイ島ではこれまで産業の育成が行われてこなかった。このために慢性的に就労機会がほとんどない環境にある。道路、水道、電気などの基本的なインフラはそろっているが、発電にかかる燃料や車両用の燃料も島の外から仕入れる必要がある。一方で戦中戦後を通じて破壊された森林の手入れがされず、未利用な用地が散見される。この荒廃地に非食用の油脂植物であるポンガミアを植林し、島の発電燃料に供給できるように育てる目的で事業を実施。実の収穫までには4年かかるため、その間の収入源として成長性に優れたモリンガをポンガミアの間に植林した。

今後はもっと自主的に参加して取り組んでもらえる仕組みを模索して継続したい。

#### ●事業成果

これまで全くの接点のなかったモロタイ島で「植林」を行ったのは終戦後において、駐留米軍の指導が短い時間少しあっただけで、植林そのものについて例がなかった。

#### ●自己評価

費用的に長期滞在することもできないために8月に訪問して通信によるコミュニケーションをはかりながら進めた。

#### ●参加者の声

現地の参加者は木を植えることの大切さを感じてくれたが、まだ手探り状態なので指導を続けたい。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	除伐面積	日本	インドネシア	計
1ha	800本	3ha	5人	33人	38人
樹種：ポンガミア、モリンガ					
実施場所：インドネシア・南モロタイ県					



ポンガミア、モリンガを植樹

## セレゲレン苗木生産センターにおける育苗及び砂漠化防止のための植林普及事業

### (特非) エコアライアンス 21

東京都世田谷区上祖師谷

#### ●事業概要

モンゴル国テブ県セルゲレンにおいて苗木生産基地を設立し、苗木の安定供給を目的としている。モンゴルでは地球温暖化や過放牧による砂漠化に対し、『国民1人1本植林運動』を推進しているが、①文化的に植栽に関心が薄いこと、②まだ、自主的な行動には繋がっていない。主幹木の苗木とともに換金性の低灌木の苗木の安定的調達を容易にするための苗木生産センターのインフラを整備する。

#### ●事業成果

##### ① 前年度までの成果など（平成27~30年）

苗木センターの基盤の整備、モデル防風林の造成、苗木生産体制の確立。

##### ② 今年度新たに得られた成果など

植樹の保護柵としてカラガナを試験栽培し、無事発芽を確認した。今後その利用方法を確立する計画である。

#### ●自己評価

カラガナの栽培については専門家を雇用する計画であったが、種の入手先及び自生地調査で対応することになった。すでに発芽を確認しており、栽培には支障なかった。

#### ●参加者の声

7月に日本人6人に栽培支援に参加いただいた。植樹は1本のみに制限し、水かけ、下刈りを実施した。また、モンゴルの参加者も植樹に関心を持ちだしている。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	挿木作業	カラガナ播種	日本	モンゴル	計
0.4ha	400本	1万粒	18人	14人	32人
樹種：ポプラ					
実施場所：モンゴル・テブ県					



ポプラを植樹

## パレスチナ自治区ナブルス県における 耕作放棄地へのオリーブの植樹事業

### (特非) パルシック

東京都千代田区神田淡路町

#### ●事業概要

目的は、採石場やゴミ集積場の建設などにより地域の緑地・農地が縮小されている当該地域の緑化と土壤保全、農業生産増加であり、主な活動は①耕作放棄地となっている農地へのオリーブの苗木の植樹、②農地の保水性確保のための石垣の建設である。

#### ●事業成果

- ・耕作放棄地に計1045本のオリーブの苗木を植樹し、地域の緑化と土壤保全に貢献した。
- ・オリーブ農地の周囲への石垣1154㎡の設置を行い、農地の保水性向上に貢献した。
- ・農家24人とボランティア49人が植樹に参加し、緑化への関心を高めた。

#### ●自己評価

- ・1月14日に行った植樹の参加ボランティア数49人は、募集人数を上回るものであった。
- ・夏季に当該地域で例年にない水不足が発生し、植樹した1045本のうち48本の枯死が確認された。果樹専門家が農地を訪問し、対策を指導した。

#### ●参加者の声

- ・オリーブの木は、この土地に根を張って生きてきた私たちのアイデンティティに深く関わるものである。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	パレスチナ、インド	計
5ha	1045本	5人	44人	49人
樹種：オリーブ				
実施場所：パレスチナ自治区・ナブルス県ジャマイン町				



オリーブを植樹

## ジャカルタ湾岸 マングローブ林再生プロジェクト

### (公社) 日本環境教育フォーラム

東京都荒川区西日暮里

#### ●事業概要

ジャカルタ西部湾岸地域におけるマングローブ林の回復事業。放棄されたエビ養殖池跡地4haの森林回復を目的とし、オオバヒルギ1万本を植林した。

植林事業により将来的に自然生態系の回復が見込まれ、特に天然のエビ・カニなどの漁業資源の回復が期待できる。

#### ●事業成果

- ・放棄されたエビ養殖池跡地でのマングローブ林回復。
- ・優先種であるオオバヒルギの植林。
- ・計4haのエビ養殖池跡地で、2×2m間隔に植付。
- ・林業公社の技官による技術指導を通じて、政府が定める基準に則った植林を実施。
- ・植付に際しては、植付区画と畦との間に5mほどの水路部を設け、マングローブ林回復に伴うエビ・カニの収穫など、漁業活動における地域住民の生計向上の一助となることが期待されている。

#### ●自己評価

事業は計画通りに実施できた。当地域はインドネシア政府によって自然保護区に指定されているが、一方で政府公認のエビ養殖事業が盛んであり政策上の矛盾が見られる地域である。これまでに広範な森林が破壊されたしまったことへの反省から、政府も緑化に重点を置くようになっており、本事業はその先駆事業として高い価値を得られている。

#### ●参加者の声

マングローブ林が回復することに伴ってエビ・カニなどの漁業資源が増加することに大きな期待を抱いている。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	インドネシア
4ha	1万本	80人
樹種：オオバヒルギ		
実施場所：インドネシア・西ジャワ州ブカシ県		



マングローブを植樹

## カンボジア国モンドルキリ州の 里山再生を目指した緑化推進事業

### (特非) 環境修復保全機構

東京都町田市小野路町

#### ●事業概要

本事業は、収奪的な森林開発により森林減少・劣化が進むカンボジア最東部に位置するモンドルキリ州において、子ども達を含む地域住民と協働で荒廃地に植林し、人と自然が共生する里山の再生を目指すことを目的とした。主な活動は以下の通りである。(1)地域住民と協働で実施する在来樹種：の植林、(2)地域住民の持続可能な森林管理に関する知識・技術向上を図る研修の実施、(3)森林管理住民グループの形成支援・植林地管理指導、(4)小学生(70人)を対象としたワークショップの実施、(5)持続可能な森林管理に必要な知識・技術と里山再生の重要性を記したパンフレットの作成・配布(1000部)。

#### ●事業成果

地域住民や小学生の森林保全に対する意識が高まった。研修やワークショップ、植林地の管理に関する指導などを通して、持続可能な森林管理に関する知識を得たことにより、事業後も植林地の管理をしていただけることになった。

#### ●自己評価

事業計画を達成することができたが、今後の植林地における継続的なモニタリングが必要となる。

#### ●参加者の声

- ・苗木と植林活動に感謝しています。(20代女性)
- ・子どもに森林管理に必要な知識を与えてくれてありがとう。(30代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	カンボジア	計
4.1ha	5785本	0.6ha	17人	307人	324人
樹種：メンカ、ケランジィ、ヤーンナー、ビルマローズウッドほか					
実施場所：カンボジア・モンドルキリ州					



地域住民と植樹

## モンゴル・ウランバートル市学校 緑化モデル事業

### (一社) 国際善隣協会

東京都港区新橋

#### ●事業概要

小中高一貫の学校教育において緑化活動の実践と植物の育成の経過を体験認識させるため、日本の無償資金協力により、建設したモデル校を本年は1校選択し、そこでモンゴルの自然条件に合致した樹種を選び、校庭に植林した。これにより幼少の頃から、緑化意識を育み、また植物の生育過程を体験することにより、息の長い植林活動に貢献する。

#### ●事業成果

##### ① 前年度の成果等(平成27~28年)に得られた成果など

第121学校で1663本、面積2500㎡、第122学校で1007本、面積2200㎡を植林した。幅広い人々に植林に対する認識を深めることができた

##### ② 本年新たに得られた成果

52学校の校庭に植林した。本校は他の2校と異なり、市の中心部に位置し、交通の便が良く、また生徒もホワイトカラー家庭の子弟が多く、入学の際の競争が激しいといわれる。植栽本数は4968本植栽面積は948㎡、当初計画に比し、25%に減少し、他方植栽本数は計画より増加した。ここでの植林の成否が今後のモンゴル植林の鍵と思われるため、今後長期にわたって注視していきたい。

#### ●自己評価

昨年7月末から8月初めに現地を視察したが、植林は計画通り実施されていた。2年目から本格的に除草予定という。除草した場所を見ると一応活着しているようであったが、実際、後2,3年の観察期間が必要であろう。

#### ●参加者の声

息長く植林意識や環境意識を育むことは良いことだ。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	モンゴル
0.095ha	4968本	40人
樹種：ポプラ、ライラック、エルムほか		
実施場所：モンゴル・ウランバートル市		



ポプラ、ライラック、エルムほかを植樹

## カンボジア世界遺産プレアビヒア 周辺地区での植林活動

### アジアの誇りプレアビヒア日本協会

東京都千代田区神田駿河台

#### ●事業概要

目的は、遺跡周辺の森林と眼下に広がるモザイク状森林の回復と保全である。6年度目の事業では、2年前から実施している植林方針を継承して、「花の咲く木」「実のなる木」を中心に地元住民・児童、日本人学生が参加して植林と下刈りなどを実施した。また、カンボジア農民の自立化と日本人ボランティア学生の育成を目指す視点を重視した。さらに、活着率向上に向け、住民の生活地域への植林を行った。

#### ●事業成果

住民意識の中に植林活動が定着化しつつある。また、日本人ボランティア学生の中には複数回目の参加者がみられるようになってきた。彼らは植林の方法を身に付け、現地小学生を指導することもできるようになり、事業継続の成果が着実に表れている。

#### ●自己評価

植林活動がこの地域の緑化に直結するわけではないことを意識して、地域住民の日常生活の中に「花の咲く木」「実のなる木」の植林に重点を置いた植林方法への転換が実を結び始めている。この成果を公共施設や道路周辺での植林活動に結び付けるための活動が今後必要とされる。

#### ●参加者の声

この植林活動は現地住民に歓迎されている。植林地域が拡大して、当協会の土地「エコパーク」が少し荒れ気味であるが、地域住民が日常生活の中で利用している光景が見られる。

#### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	除伐面積	日本	カンボジア	計
5ha	2150本	12ha	5ha	74人	200人	274人
樹種：チリー、シャクトウほか						
実施場所：カンボジア・プレアビヒア州						



チリー、シャクトウほかを植樹

## マダガスカル、アンジアマングラナー 監視森林とその周辺地域での植林

### 日本アイアイ・ファンド

東京都文京区本郷

#### ●事業概要

目的は、植林によって地域住民の水資源を確保し、地域産品を作って地域開発に寄与し、同時に保護区の生物多様性を保全することである。主な活動は、①固有樹種のラミー、バオバブ、ラフィアヤシの苗床整備と植樹の指導、②有用樹種のアカシア、マンゴーなどの苗床整備と植樹の指導、③植林地の整備、防火帯、防護柵の設置、④小学校など周辺住民への植林意義の啓蒙活動である。

#### ●事業成果

##### ① 前年度までの成果など（平成27年度）

アンジアマングラナー監視森林南端3haに植林。

##### ② 今年度新たに得られた成果など

前年度より拡大し、5haにラミー800本など合計3000本の苗を植林した。樹種により牛による食害が見られたため、植林地の外周に1650mの柵を設置した。「緑のマダガスカル」祭には2000本の苗を寄付した。植林は村をあげての事業として定着し、住民から植林用地10haの提供が提案された。

#### ●自己評価

本年のラミーとアカシアの活着率はそれぞれ61%(昨年度42%)、39%(昨年度51%)だった。苗の活着率をあげ、牛の食害を防ぐことが今後の課題である。

#### ●参加者の声

苗生産者からは「継続的な植林を望む」との声があり、村長も継続を強く希望している。住民がアイアイの生息する川辺林の近辺の植林用予定地を案内してくれた。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	マダガスカル
5ha	3000本	5ha	250人
樹種：ラミー、シトロン、アカシア、マンゴーほか			
実施場所：マダガスカル・マジュンガ州			



植林地への牛侵入を防ぐ防護柵づくり

## タイ北部チェンライ県 森林再生プロジェクト

### (公財) オイスカ

東京都杉並区和泉

#### ●事業概要

目的は、無計画な焼畑農業によって森林が減少した地域での環境保全、災害防止、生物多様性の維持。主な活動は①植林による森林再生、②地域住民への啓発活動、③植林後の管理作業による成長促進、④乾期の森林火災対策としての防火帯づくり、住民による見回り。

#### ●事業成果

##### ① 前年度までの成果等 (平成26~27年)

14haの植林・管理と環境啓発ワークショップなどを実施。啓発活動だけでなく植林・管理などの作業を地域住民に主体となって行ってもらうことで彼らの環境への理解が深まり、また郡などからの協力も得られた。

##### ② 今年度新たに得られた成果等

住民自ら活動への工夫や作業時期の提案をするなど、積極性がさらに増した。森林火災の被害経験により、今年度は乾期の見回りを徹底。隣接する土地での焼畑における適切な火の管理への監視にもなった。

#### ●自己評価

植林地での毎日の見回り、注意喚起の看板設置など、森林火災の頻発する乾期の対応に注力。こうした対策が功を奏し、生存率は全体で約90%。初年度植林地は既に樹高3m程に成長した。

#### ●参加者の声

- ・火事から森林が再生できてうれしい。(40代女性)
- ・森をどうやって生かしていくか考えたい。(30代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容				参加者数
植付面積	植付本数	樹勢回復	下刈面積	タイ
7ha	8800本	3200本	21ha	745人
樹種：チーク、メンガ、クリサナー、タキアン、マホガニーほか				
実施場所：タイ・チェンライ県チェンコン郡				



チーク、メンガ、クリサナーほかを植樹

## 第2期モンゴル国セレンゲ県における 人材育成を伴う村民参加型生態混交林 再生事業

### (一社) 地球緑化クラブ

東京都日野市日野

#### ●事業概要

モンゴル・トングリ村にて、違法伐採により失われた森林の再生及び生態系の回復を目的として複数自生種の高木と低木を植栽し、生態混交林を造成する。並行して育苗施設を整備していく。

また、村民に対し植林及び育苗事業の実践による人材育成を行うことで、事業の自立化と継続性を図る。

将来的には対象地コミュニティグループを事業の中核として機能させ、本活動地及び近隣地域への生態混交林拡大の拠点としての役割を担うことを目指している。

#### ●事業成果

今期の事業としては在来種である高木や低木の植栽をした。高木の苗木はポット苗利用で活着率向上を図った。

植栽作業にはおもにトングリ村村民が参加し、団体スタッフが苗木の扱いや植栽方法など丁寧に説明した。前年度の活動に参加した村民が多くいたため、前年度よりも作業効率及び植栽技術の向上が見られた。

#### ●自己評価

前年度からの干ばつが影響し、植林地全体の地中水分量が低下している。このため、植栽用の穴を掘っても乾き気味の場所が多くみられた。

#### ●参加者の声

村民の緑化に対する意識は確実に向上している。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	モンゴル	計
6ha	2万4000本	9人	130人	139人
樹種：カラマツ・シベリアマツ・ニンティアオほか				
実施場所：モンゴル・セレンゲ県トングリ村				



現地小学生が参加しての植樹

## ガーナ植林・日本式炭焼普及プロジェクト

### (特非) ガーナ農林工芸振興協会

東京都豊島区駒込

#### ●事業概要

森林減少が進むガーナ中部で、植林により森林の再生を図り、砂漠化防止、農地の地力維持に貢献するため、ニーム（インドセンダン）を中心に、在来樹種等を密植するとともに、今後間伐木や製材工場のオガクズを炭にするため、前年度に作設した日本式炭窯で、森林に関心をもつ人々の炭焼実演講習を行った。また、ニームの成長量の測定を開始し、その結果を林業試験場と情報交換している。

#### ●事業成果

- ・ニームの植栽が進み、地元民の関心が高まってきた。
- ・日本式の炭焼について、地元の人々を始め林業試験場の研究者や大学教授が関心を持ち、デモンストレーションに参加したり、現地を訪れるようになってきた。

#### ●自己評価

- ・ニームの密植植樹を引き続き行い、種子の採取、育苗、直播などがスムーズに行われ、木の成長記録を継続して行い、今後役に立つデータの蓄積ができつつある。
- ・日本式の炭焼き窯は関係者の関心を集め、展示効果が大きいと感じられた。
- ・ヤムイモの樹下植栽によるアグロフォレストリの試験を開始、今後が期待される。

#### ●参加者の声

- ・林業試験場の研究者からは、効率的な炭焼きが、森林保全につながることを期待する声が聞かれた。

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	ガーナ	計
0.5ha	5000本	1.8ha	2人	15人	17人
実施場所：ガーナ・マンクランソ村					



ニームを密植

## インドネシア・東スンバ県における環境保全および住民の所得向上のための植林事業

### (特非) 地球の友と歩む会

東京都千代田区富士見

#### ●事業概要

目的は、自然環境の回復と住民の現金収入を増やすことである。主な活動は、①沿岸にはマングローブ、内陸部には換金できる樹木を植林、②植林後の世話をするメンバー育成、③盗伐防止の見回り、④子どもたちへの環境保全教育である。

#### ●事業成果

前年の植林で住民が廃棄したごみなどで育たない苗木があった。今回は地元のキリスト教会に植林の協力をお願いした。参加者が大幅に増えた他、教会の指導者から自然環境を守ることの大切さを話してもらったり、ごみ拾いや見回りを分担してもらった。

#### ●自己評価

- ・熱帯なので夜明けと同時に植林作業を開始した。日本からの参加者は朝食休憩の大分前から空腹で作業が遅れた。
- ・沿岸の植林は靴が泥で脱げるので裸足で作業したため足裏を切った。今後は足袋を用意すべきである。

#### ●参加者の声

- ・外国でその人たちの役に立てたことが良い体験だった。（日本人・40代女性）
- ・日本人と一緒に植林をしてすごく興奮しました。（住民・小学生女子）

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	インドネシア	計
10ha	7000本	10人	300人	310人
樹種：マングローブ、バナナ				
実施場所：インドネシア・東スンバ県				



バナナの植樹



## バングラデシュ国モヘシュカリ島ドルガタ地区におけるサイクロンシェルター型学校区などでの生態系アプローチに沿った住民参加型植林

### ラムサールセンター

東京都目黒区目黒

#### ●事業概要

バングラデシュ国モヘシュカリ島の劣化・消失した沿岸環境の再生および気候変動等に対する地域の適応力強化を目的に、学校区等を拠点に5つのグループを組織し、植林の技術研修、気候変動・環境教育を集中的に実施し、マングローブの植林、学校の構内への植林、生態系回復をテーマとしたワークショップなどを実施した。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果等(平成27~28年)

本事業は第2年度で、初年度は、学校など15か所に計1万2500本の植林、沿岸に1万本のマングローブを植林した。

##### ②今年度新たに得られた成果等

5つのグループを組織し、環境・気候変動教育、育苗研修を集中的に実施、11の学校に1万本(4.08ha)を植林、7000本の強塩耐性タイプのマングローブ苗を育て4haに植林、地域レベルワークショップによって知見と経験を共有し、生態系回復に向けた住民の能力向上を図った。

#### ●自己評価

植林活動で環境が再生されたのは大きな成果だが、地域の人々が環境の保全と管理に強い参加意識を持たせたことが大きな成果である。

#### ●参加者の声

・樹木は、果実、酸素、日蔭を提供してくれる。身の回りの樹木の世話は私たちの役目だ。(参加した女子学生)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	バングラデシュ
9.28ha	2万7050本	3.17ha	481人
樹種：モンキーボッド、グアバ、ユーカリ、マングローブほか			
実施場所：バングラデシュ・モヘシュカリ島モヘシュカリ地区			



指導を受けながら植樹

## 中国内モンゴル自治区錫林郭勒盟正蘭旗烏日図巡査フィサンダクー沙地地域における沙丘からの流沙防止のための植林

### 日本沙漠緑化実践協会

東京都千代田区外神田

#### ●事業概要

沙漠化の防止、砂丘の移動、拡大の防止を目的とする植林である。植林地での具体的な活動は植林と草方格の作成である。草方格は沙地に碁盤目状に草を埋め込み、砂の移動を止めるもので、この碁盤目状の中に植林することで、砂丘の移動を防止することができる。灌木は病気やシカなどからの被害に堪えて、生き延びる力が強く、植林で、10haの地域が沙漠化から守られた。植林した樹木が成長するには、当分の間、定期的に水をやる必要がある。

#### ●事業成果

##### ①前年度までの成果など(平成8~29年)

当協会としては、この場所では初めての植林である。しかし当協会は、内モンゴル自治区の別の場所では多くの実績があり、ポプラを中心に植林経験は多い。

##### ②今年度新たに得られた成果など

沙丘が波状に続く寒冷地に適した灌木中心の植林で、安定した植林のノウハウが得られた。

#### ●自己評価

灌木を中心とすることで、植林総本数は多くすることができた。また、地形に対応して樹種を選ぶことができた。

#### ●参加者の声

・来年も行ってほしい。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	台湾	中国	計
10ha	3万3000本	20人	30人	50人
樹種：楊柴、寧条、サージほか				
実施場所：中国・内モンゴル自治区				



碁盤の目状に植樹

# ヒマラヤ山麓伐採荒地に「笑顔は じける環境を子供たちへ！未来の 緑の森づくり」

## (特非) ヒマラヤ保全協会

東京都新宿区西早稲田

### ●事業概要

目的は、ネパールのヒマラヤ山岳部、現地住民集落周辺の後退した自然林の緑化再生をすること。また現地住民に森林保全活動の重要性を繰り返し伝えると同時に種の収穫、育苗、植樹の技術を指導し、ハンドオーバー後も現地住民によって自ら継続して保全活動ができる体制づくりをすること。実際の活動は以下の通り。①各村で苗畑管理委員会 で植樹計画を立てる。②苗畑整地(新規事業地は苗畑予定地の整地→苗畑管理人の選出→育苗技術指導を含む。)③苗畑備品の購入→運搬。④苗畑での苗の管理育苗。⑤国際環境デーでの環境を学ぶイベント開催。⑥事業地住民の全世帯参加の植樹活動と振り返りミーティング。

### ●事業成果

年間をかけての技術指導とモニタリング調整の甲斐あって、整地、育苗、植樹までなんとかやりきることができた。

今年度新たに得られた成果は、レスパル村に新たに苗畑を建設、管理人の育成が始められた。

### ●自己評価

苗畑管理人はどのように苗を守るか少しずつ身につけている。住民の本事業に対する協力が前向きになってきた。目標植樹本数もクリアし、合計約24haに植樹できた。

### ●参加者の声

・世界中の天候変動とここにある木々が関係していると聞いて不思議な気がした。(学生)

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	ネパール	計
24.41ha	4万8060本	12人	940人	952人
樹種：パインスベチュラ、ロツツサラ、ウティス、トウニ、オカル(クルミ)ほか				
実施場所：ネパール・ダウラギリ地方ミヤグディ郡				



植樹には女性も多く参加した

# ブルキナファソ国コングシ郡におけるバム湖周辺地での生活改善のための植林プロジェクト

## (特非) 緑のサヘル

東京都千代田区神田紺屋町

### ●事業概要

目的は、地域住民の家計収入や薪材確保の助けとなるよう、未利用地として残されているバム湖周辺地に生活林を造成することであり、主な活動は5村において植林を希望する住民に対する苗木の配布と、1村の実施者に対する灌水用具の配布である。

### ●事業成果

#### ①前年度までの成果など(平成23~27年)

家計収入や薪調達に有用な生活林が、複数の村で造成された。この間、各村では、新たに植林を希望する住民が増えた。生活林造成への関心や意欲は村内で広まっている。

#### ②今年度新たに得られた成果など

生活林造成に取り組む村が増えた。1村のみであったが、対象地域内の複数の村の住民が参加を希望している。

### ●自己評価

当初の計画どおりに活動を実施でき、資金面でも問題はなかった。課題としては、新しい村で植栽を希望する住民がいたものの、家族の同意が得られず植栽地を用意できないケースがあった。

### ●参加者の声

近隣で用材販売を開始した植林実施者がいると、現行の実施者は村を超えて刺激を受ける。「早く販売を開始して、現金収入を得たい」という意見をよく聞いた。

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	ブルキナファソ
18.65ha	1万本	558人
樹種：ユーカリ		
実施場所：ブルキナファソ・コンディビト村、クルベレ村ほか		



ユーカリを植樹

## ネパール・カブレパランチョコク郡 バネパ市における住民参加型の植 林活動を通じた都市緑化

### (特非) ラブグリーンジャパン

神奈川県鎌倉市小袋谷

#### ●事業概要

バネパ市において、住民参加型の植樹活動を実施した。

(1)植樹は、市内で住民が日常的に利用する場所を選定し、その周辺を対象に実施した。(2)持続性確保の観点より、①維持管理が比較的容易、②成長が早い、③生存率が高い1.5m以上の苗木438本を購入して植樹した。(3)作業は作業スタッフを雇用して、植樹場所の選定及び現状把握、植樹場所の掘削、肥料の施肥、植樹、支柱での保護を実施した。(4)住民や子どもたちに、正しい管理育成方法を啓発するとともに専属の管理人を雇用し苗木の管理、育成を実施した。(5)環境上の効果、必要性、事例などを掲載したリーフレットを作成、配布した。

#### ●事業成果

植林事業は本支援によって事業が具体的に計画され、木の管理者雇用で木を日常的に管理することができ、家畜による被害や住民による無関心な被害を未然に防ぐことが可能となった。また、事業を進める中で、住民の積極的な参加も徐々に増えてきている。

#### ●自己評価

年間を通じて雇用(苗木の管理要員)によるフォローアップで、苗木の育成管理が充実した。市内において、環境教育を実施して、緑の重要性を認識する機会となった。

#### ●参加者の声

・緑豊かな美しい市にすることができるでしょう。(男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数
植付本数	ネパール
528本	156人
樹種：サクラ、ジャカランダ、イチョウ	
実施場所：ネパール・カブレパランチョコク郡バネパ市	



サクラ、ジャカランダほかを植樹

## インドネシア 中央カリマンタンの 森林火災で消失した森林を再生す るための植樹事業

### F.C Manis マニスファンクラブ

神奈川県三浦郡葉山町

#### ●事業概要

2014年に違法な野焼で天然林300haが消失。さらなる森林の消失を防ぐためには周辺地域住民が防災意識を持って環境保全を行うことが必要であるため、周辺の小中学校で環境教育を行い防災を市民へ呼びかける。

#### ① 森林火災跡地で植樹を通じた環境教育活動の実施。

小中学校2校と郊外学習を実施。植樹(0.5ha)を通じた環境教育を実施。

#### ② 防災意識、森林保全の意識向上と知識の定着を促すため、周辺住民と共に7.5ha(3000本)の植樹を行う。

#### ●事業成果

#### ① 前年度までの成果など(平成27~28年)

15ha、6000本の植樹を行い緑化が進める。森林火災の現場を実際に見て、環境保全の意識が高まった。

#### ② 今年度新たに得られた成果など

近郊の小中学生が初めて現地を訪れ、植林を通じた環境保全の意識、知識の定着が向上した。

#### ●自己評価

周辺地域の小中高等学校を10校でアンケート調査を実施。その中から2校を選び遠足を取り入れた環境教育を行った。環境保全意識の向上、知識の定着が進んだ。

#### ●参加者の声

・燃えた森に苗木を植えられて嬉しい。(小学6年男子)

#### 実績とりまとめ表

作業内容			参加者数
植付面積	植付本数	下刈面積	インドネシア
7.65ha	3060本	8ha	270人
樹種：ガハルほか14種			
実施場所：インドネシア・中央カリマンタン西コタワリンギン県			



植樹について学ぶ

## モンゴル国DRHADYN盆地ツァガンノール村の植林と中央ゴビ県の森林公園造成支援

### (特非) モンゴル環境情報センター

福井県坂井市三国町宿

#### ●事業概要

ゴビツンベル県がチョイル市に造成している森林公園30haに、当地で組織した中学生を中心とした青年植林協力隊や地域住民で植樹することを目的に、森林公園30haの内3haに植樹した。同時にモンゴルでの15棟目の温室の設営および挿種を行った。

#### ●事業成果

##### ① 前年度までの成果など(平成7~15年)

モンゴルの荒廃草原地の緑化と砂漠化を防止する目的で、当該地の中学校に温室を設け、地域の環境に適した樹木を栽培中。本事業は2007年からモンゴルの各村立中学校において、森林植林チームを作り、環境教育を推し進めながら、樹木の育苗と植林を行っている。

##### ② 今年度新たに得られた成果など

公園造成後判断される。

#### ●自己評価

課題は人である。特に、温室を管理する中学教員が夏季に職場を離れることにある。これはモンゴルの教員は学校休暇中は無給になることに起因する。中学校以外で設営された各温室全てで本システムが順調に稼働している。

・ゴビの砂漠化を克服する手法を当法人が独自に開発して、世に問うてほしい。(大学教授)

#### ●参加者の声

・子どもたちを早く公園で遊ばせたい(30代女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	モンゴル
3ha	2500本	180人
樹種：マツほか		
実施場所：モンゴル・ゴビツンメル県チョイル市		



マツほかを植樹

## 岐阜県と江西省との友好を未来へつなぐ森林づくり事業

### 岐阜日中協会

岐阜県関市巾

#### ●事業概要

岐阜県と中国江西省は1988年に友好協定を締結して以来、学術・文化、農業、林業など様々な分野で友好を深めてきた。両県省の友好関係を親から子へ、子から孫へと深化・発展させていくため、「紅谷湿地公園(江西省南昌市)」の一角に両県省の市民が協働で友好の森を造成するものである。

#### ●事業成果

両県省の市民、日本語を学ぶ学生が協働で植樹活動を行った結果、「紅谷湿地公園」の一角に岐阜県と江西省の友好の森が造成された。当公園の周辺には、ベッタウンとしてマンションが整備され、贛江のほとりにあることから多くの市民が散歩に訪れるなど、市民の憩いの場となることが期待される。

#### ●自己評価

「紅谷湿地公園」は贛江のほとりで土壌水分が多いことから、専門家の指導の下、客土をしてから苗木を植樹した。その後の生育状況については、逐次江西省から情報をもらい、必要に応じてアドバイスをを行うこととしたい。

#### ●参加者の声

・国レベルでの交流も重要であるが、記念植樹などを通じた市民レベルでの交流を継続していくことが必要。(60代女性)

・緑化に対する意識の高い南昌市ではあるが、まだまだ都市部の緑地は不足しているので、継続して植樹活動に取り組み、友好の絆を深めたい。(40代男性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容	参加者数		
	日本	中国	計
植付本数	23人	50人	73人
9740本			
樹種：サクラ、クスノキ、ツツジ			
実施場所：中国・江西省南昌市			



サクラを記念植樹

# タジキスタン国における森林および草地生態系保全のための植林

(特非) 中央アジア森林草地保全研究所

静岡市駿河区大谷

## ●事業概要

過放牧などにより荒廃した生態系を修復するため調査研究を実践し、森林と草地生態系の持続的に利用可能なシステムを地域住民と共に構築する。具体的には、一定期間植栽地や各種生態系への放牧を禁止するため柵を設置し、その内側に成長の早い野生種バラを植栽する。こうしたことにより森林面積や草地面積の減少を食い止め、生態系の質・生物多様性の向上に貢献する。

## ●事業成果

### ①前年度までの成果など(平成26~27年)

リンゴは花芽を付けており、30kgの収穫があった。住民の生活レベル向上に貢献可能。

### ②今年度新たに得られた成果など

電気柵管理については十分指導することが必要。苗木は、将来自分たちで生産できるように、育苗技術を指導することになった。

## ●自己評価

①電気柵の管理は地元住民には容易ではないが十分時間をかけ、指導すれば運用可能だろう。通常の柵を利用した方法との比較も重要。②地元NGOと共同で苗木を自主生産できるよう制度づくりを企画した。③地域の婦人たちとコミュニティを作り、育苗、蜂蜜、野菜、薬草など現金収入の道が深られた。

## ●参加者の声

感謝の言葉と支援の継続を期待する声が強く寄せられた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	タジキスタン	計
20ha	635本	80人	80人
樹種：アプリコット、マツ、ブドウ、ピャクシン、リンゴ、チェリーほか			
実施場所：タジキスタン			



アプリコット、マツほかを植樹

# フィリピン西ネグロス州における少数民族の組織化と水源の森再生活動(第3年次)

(特非) イカオ・アコ

愛知県東海市大田町

## ●事業概要

本事業の目的は、西ネグロス州の山間部の先住民が住む村、シバト村の森林再生である。主な活動はサトウキビ畑が放置され、はげ山になっている土地への植林である。この地域の人たちに環境教育を行い、住民組織が主体となって森林再生を行う活動を支援した。

## ●事業成果

### ①前年度までの成果等(平成26~27年)

植林活動や環境学習などを行い、興味のある住民たちを組織化し、SAFAという団体を立ち上げた。彼らと共にナーサリーを整備し植林を行った。定例ミーティングを開き、植林に関する共通の課題について話し合った。

### ②今年度新たに得られた成果等

新たに5500本の植林と、前年度までの植林地の林床にコーヒーとバナナの植栽を行った。

## ●自己評価

計画通りに事業を進めることができた。前年度までの植林地の整備を行うことを条件に、コーヒーとバナナの植林を行ったので、植林地のメンテナンスも行うことができた。また、今年度は地元の高校生やボランティアが参加した。

## ●参加者の声

・子どもたちの将来のために少しでも役立てたとすべうらしい。(30代女性)

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	フィリピン
33ha	1万1000本	380人
樹種：ラワン、マンゴー、アボカド、サントル、ジャックフルーツほか		
実施場所：フィリピン・西ネグロス州シライ市		



果樹などを植樹

## マダガスカル北部の山岳地帯の土砂流失防止のための植林による整備事業

### (特非) アイユーゴー

大阪府泉南郡熊取町

#### ●事業概要

日射と風雨による浸食・風化作用を受けた準平原では、地肌をむき出した崩落部さらに強い日差しを受け真っ赤に酸化し雨期になると崩落を繰り返す恐れがある。主な活動は、①共有地（4ha）に植樹し、②作業道（約1500m）を造設し、乾期の山火事防止としての働きも兼ねるようにした。③住民たちに土壌の崩壊を防ぎ、森林の再生の必要性を説明する環境教育も行った。

#### ●事業成果

今年度新たな事業として、植栽の経験のない住民たちと地肌が多く見られる現場で苗木を植える作業を行った。①山の現状を知ることができたことが大きな成果である。②苗木を持って現場に向かい専門家に植え方などの指導を受けた。③植栽後、これからどうするのかという問いかけが生まれた。次年度に向けた心の準備ができたかと思われる。

#### ●自己評価

予定通り、事業を行った。住民の多くは、大勢の住民たちとの共同作業がうれしかったようだ。しかし、①植栽する周辺の草木の整備が十分できていなかった。②専門家は植樹することに集中していたので、次年度は現地での担当を明確にする必要がある。③小中学校の生徒たちが協力したのは大きな成果だった。

#### ●参加者の声

・自分たちで植樹し森林を取り戻すことができ感動した。  
(40代女性)

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	マダガスカル	計
4ha	1万2010本	2人	1480人	1482人
樹種：アカシア・モング、カエデ、ユーカリ				
実施場所：マダガスカル・アナラマンガ地方				



アカシア、ユーカリほかを植樹

## ブラジル国パラ州トメアス郡におけるアグロフォレストリーを活用した水源涵養植林事業

### (特非) 野生生物を調査研究する会

神戸市北区東有野台

#### ●事業概要

当会はトメアス総合農業協同組合と共に、アグロフォレストリーによって小農家の生計を向上させながら植林地域を拡大させることを目的に、2005年度から小農家の組織化を図り、苗畑整備と苗づくり等の指導を行ってきた。その結果トメアス郡に12か所の小農家生産者協会ができ、アグロフォレストリー農法・植林が普及されつつある。一方、河畔が森林で被覆されていない地域が依然として多く、水源涵養林の整備を目的に、苗畑施設で育成した苗木を活用したアグロフォレストリーによる水源涵養植林を実施した。

#### ●事業成果

本年度は2つの生産者協会の協会員を対象に12haの植林を実施した。これまで、苗畑を整備した後、小農家の協会員がそれぞれに植栽を実施していたが、植栽時に肥料やpH調整のための石灰を投与することに対して、資金的余力がないこととその効果（費用対効果）に対して懐疑的であることから、肥料や石灰なしでアグロフォレストリー植林を実施してきており、成績が必ずしも芳しくなかった。今回は肥料と石灰を植栽時に投入することで、その違いが鮮明となり、小農家の意識改革につながった。

#### ●参加者の声

・苗木の配布だけのプロジェクトではなく、肥料や石灰があることで、より効果が早く現れる。

#### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	ブラジル	計
12ha	1万2000本	43人	43人
樹種：バナナ、カカオほか			
実施場所：ブラジル・パラ州トメアス郡			



バナナ、カカオほかを植樹

## 世界遺産の棚田を守るための植林事業 「NIWAKAT PUNTANUMAN (小規模多地域植林法)」 ～2年目は観光客と一緒に木を植え続けるために～

(特非) NEKKO

兵庫県三木市福井

### ●事業概要

イフガオ州の棚田景観は世界文化遺産として登録されている。しかし、生活用材の乱伐等で森林荒廃が進み、灌漑のための湧水が激減するなどの打撃を受けている。

当団体は、この地に残る古来からの森林保護法を阻害しない形で、より短期かつピンポイントで棚田や水源を保護する新しい植林技術を開発している。それが「NIWAKAT PUNTANUMAN (小規模多地域植林法)」である。この新技術を普及させたい。

### ●事業成果

地域住民との連携も安定して事業運営をしている。

本事業では植林が厳しい作業でなく、レジャーやピクニックの延長でできる軽作業というイメージを地域住民らが持つように運営している。あくまでも彼ら自身が気付き、自発的に動ける余地を多くとっている。

本年度の最大の盛り上がりは11月に実施した小学校、幼稚園、PTA、村自治会が参加した植林だった。

### ●参加者の声

よく聞かれた地域住民のコメントは「私の棚田にもぜひ苗木を植えてほしい」というものだった。収益を生み出すナツメヤシがほしいというだけでなく、弱くなった法面や畔道などの補強を考えてのこと。

実績とりまとめ表

作業内容			参加者数		
植付面積	植付本数	下刈面積	日本	フィリピン	計
7ha	8700本	7.5ha	11人	770人	781人
樹種：ナツメヤシ					
実施場所：フィリピン・イフガオ州バナウエ、ウハ村					



ナツメヤシを植樹

## ケニア半乾燥地の世帯を対象にしたMelia Volkensii (現地名：ムカウ) 普及による緑化推進事業

(特非) アフリカ児童教育基金の会 ACEF

奈良県天理市西長柄町

### ●事業概要

地域住民の環境意識改革及び継続的緑化推進による「地域の森造成計画」の実現を目的に、地域世帯住民100人対象の環境教育と植林樹ムカウの贈呈、以後巡回視察にて経過確認及び調査を行い、最終的にエココンテストという形での最終報告会を実施。

### ●事業成果

① 前年度までの成果など (平成23~26年)

子どもの環境意識向上及びエコクラブの発足に貢献。

② 今年度新たに得られた成果など

地域世帯住民を対象に、環境意識向上及び活着率の安定化に貢献でき最終的に平均活着率約60%を実現。

### ●自己評価

“環境意識の向上” — 環境教育時の理解度や活着率からも意識向上が見られた。

“活着率の安定化” — 平均活着率約60%を達成し割合として高い水準を維持できたと言える。

“雨季依存の改善” — 雨季雨量減が未活着の主な原因であり、今後水確保の対策の導入も要検討。

“低活着率への対策” — 早期の対象世帯個別ケアなどによる活着率低下の事前予防が必要。

### ●参加者の声

自主的な植林意欲や環境意識の定着化が見られた。

実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	ケニア
92ha	6000本	100人
樹種：ムカウ		
実施場所：ケニア・エンブ郡マキマ地区		



各世帯への巡回調査

# タイ北部山岳地域 ホイドウア村の 森林再生と農村開発

## (特非) シャンティ山口

山口県周南市

### ●事業概要

大地を守り安定した収入を得るために、「遺伝子組み換えトウモロコシ畑」を「果樹林」に転換し持続可能な森林農業と共に荒廃した大地を緑豊かな農地にすることにより森林を甦らせる。自立と持続可能で安定した豊かな生活の向上をめざすと共に環境保全型森林農業と循環型社会形成のモデルとして地域に波及することを目的とする。

### ●事業成果

#### ①前年度までの成果など(平成27年度)

目標をトウモロコシ栽培地の全面積の半分100haを設定し3年均等分割で30haを目標とし、103%達成できた。

#### ②今年度新たに得られた成果など

前年度同様30haを目標とした。物価変動で苗木も20～30%高騰し資金不足で68.8%と減少した。当団体の事業に注目が集まり波及効果で苗木の需要が増え他県からの苗木調達が始まった。

### ●自己評価

1. 全事業目標達成はできなかったが、村人は、「我慢」、「節約」、「もったいない」、「頑張る」、「丹誠込める」などの気持ちを身につけるチャンスとなっている。
2. 道路が悪く雨が降ると乾くまで通行できず、村人自らの協働作業により補修を行っているが根本解決にはならず、来年から自己資金を投じて補修を行いたい。

### ●参加者の声

- ・苗木は、とても元気よく育っている。マンゴーが早く実がなり食べて味を確かめたい。

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数
植付面積	植付本数	タイ
50.73ha	1万693本	690人
樹種：ラムヤイ(リュウガン)、マンゴー、ゴム、ドリアン		
実施場所：タイ・バヤオ県		



苗木植え付け

# 徳島烏雲の森植林事業

## (特非) 烏雲の森沙漠植林ボランティア協会

徳島市佐古五番町

### ●事業概要

中国・内モンゴル自治区内で過剰な開墾や無計画な放牧などにより、急激に草原が沙漠化し住民は貧困に苦しんでいる。我々は長年にわたり、沙漠化を防止する目的で長年植林作業を行って来た。

植林予定地に過剰な放牧を防止する目的で周囲に柵を立てて、金網を張り、ウシ、ヒツジ、ヤギの侵入を防止して、塩害に強いポプラの樹種を選定して、植林を行っている。

### ●事業成果

#### ①前年度までの成果など(平成19年～28年)

植林を通じて草原が回復しつつあり、土壌が改善され環境の保全・民生の改善に少しずつ貢献してきている。作物の収穫量が増大して家畜の取引金額も増加して、現地農牧民の生活向上にも貢献している。

#### ②今年度新たに得られた成果など

現地の農牧民の意識変革が感じられた。植林したポプラも順調に成長しているのも確認できた。将来は成長したポプラを伐採して、売却できる目処もついたと実感した。

### ●自己評価

植林してきたポプラも順調に生育しているのを確認できた。植林地を管理している農牧民からは日本の植林隊の皆さんのお陰と感謝されている。

今後は植林地周辺の小中学生に参加してもらいたい。

### ●参加者の声

- ・沙漠地にポプラを植林して、成長するのが疑問だったが、過去の成果等も確認して植林の重要性を実感した。

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数		
植付面積	植付本数	日本	中国	計
50ha	4万本	2人	40人	42人
樹種：ポプラ				
実施場所：中国・内モンゴル自治区阿古拉鎮				



ポプラを植樹



# ミャンマー連邦共和国シャン州(南部) シャン地域におけるアグロフォレスト リーモデル化事業

## (認特) 地球市民の会

佐賀市高木町

### ●事業概要

目的は、移動式焼畑が残り、生活用の薪伐採が多く見られる事業予定地において持続可能な「アグロフォレストリーモデル地域」を確立すること、及び地域住民に森林減少の問題及び問題の解決方法を理解してもらうことである。

主な活動は、①地域に合った果樹及び種子を活用できる樹木の植林、②地域住民対象のアグロフォレストリーに関する教材の作成、③アグロフォレストリー及び循環型農業研修4回実施、④専門家による指導である。

### ●事業成果

#### ①前年度までの成果など(平成23~27年)

事業で整備した緑化委員会が事業としての関与(資金投入)なしで継続的な植林が実施できている。

#### ②今年度新たに得られた成果など

フィリピン人専門家の指導により、当事業地に適した植林方法が理解でき、モリンガ植林マニュアルを作成することができた。また、地域住民がアグロフォレストリーの技術を習得することができた。

### ●自己評価

計画通り実施できた。果樹は苗が高価なので、地域住民が自ら苗づくりをすることが必要である。

### ●参加者の声

・アグロフォレストリーの利点が理解できた。(30代男性)

### 実績とりまとめ表

作業内容		参加者数	
植付面積	植付本数	下刈面積	ミャンマー
8ha	1万1015本	5ha	160人
樹種：モリンガ、アボガド、タマリンド、マンゴーほか			
実施場所：ミャンマー・タウンジー県ポーミヤ村			



モリンガ、アボガドほかを植樹

## 平成 28 年度 中央事業実施状況一覧

### 【森林の整備】

交付決定 番号	事業名	事業地	交付先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
28SC-01	緑のボランティアの森記念造成事業 「フォレスト21さがみの森」	神奈川	フォレスト21さがみの森連絡協議会	東京	1,500	10
28SC-02	「キリン千歳水源の森」整備の森づくり	北海道	北海道林業技士会	北海道	730	10
28SC-03	岡山水源の森整備事業	岡山	グリーンOB会	岡山	420	11
28SC-04	地球温暖化防止のための北海道の森づくり事業	北海道	北海道林業技士会	北海道	518	11
28SC-05	原村あゆみの森整備事業	長野	原村あゆみの森実行委員会	長野	1,300	12
28SC-06	アドプト フォレスト仏並エネオスの森づくり活動	大阪	いずみの森の会	大阪	400	12
28SC-07	玖珠町ふれあいの森づくり事業	大分	玖珠郡森林組合	大分	1,900	13
28SC-08	日本リスの森整備事業	岡山	グリーンOB会	岡山	200	13
28SC-09	湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業	神奈川	(公財)かながわトラストみどり財団	神奈川	1,800	14
28SC-10	栗原市のジオパーク崩壊跡地の植生復元事業	宮城	(特非)森林との共生を考える会	宮城	1,000	14
28SC-11	積水化学・水源の森づくり事業	北海道	(公社)北海道森と緑の会	北海道	1,300	15
28SC-12	「積水化学の森・木津川」生物多様性保全の森づくり	京都	木津川市地域連携保全活動応援団	京都	1,200	15
28SC-13	「積水化学の森・うきは」生物多様性保全の森づくり	福岡	うきは市森林セラピー実行委員会	福岡	1,200	16
28SC-14	山の日記念・減災の森づくりに向けた、 全国協働による苗木づくり事業	宮城	つながる森づくり実行委員会	東京	170	16
28SC-15	いのちの森づくり植樹祭IN 奥沢水源地 VOL.4	北海道	“北海道”千年の森プロジェクト	北海道	1,400	17
28SC-16	緑のESDの森づくり事業	宮城	(特非)宮城県森林インストラクター協会	宮城	900	17
28SC-17	「赤西溪谷・水源の森」保全事業	兵庫	(特非)ひょうご森の倶楽部	兵庫	1,000	18
28SC-18	日本の緑化の原点を守る森普請プロジェクト	茨城	つながる森づくり実行委員会	東京	300	18
28SC-19	富士山緑の募金の森造成事業	静岡	富士山緑の募金の森造成事業実行委員会	静岡	3,000	19
28SC-20	水源地保全活動	茨城	美和木材協同組合	茨城	200	19
28SC-21	いのちを守る森づくり植樹祭 in 時ノ寿	静岡	(特非)時ノ寿の森クラブ	静岡	850	20
28SC-22	学校教育環境向上のための緑化事業 (魚津市清流小学校)	富山	魚津市立清流小学校	富山	1,000	20
28SC-23	筑波山森育ワークショップ(苗作り、植樹、 伐倒見学、木彫り体験から木の循環を学ぶ)	茨城	(特非)地球の緑を育てる会	茨城	1,000	21
28SC-24	海の森育樹プロジェクト	東京	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	738	21
28SC-25	「みたけ木曾川水源の森づくり」活動	岐阜	みたけ木曾川水源の森づくり実行委員会	岐阜	1,000	22
28SC-26	学校教育環境向上のための緑化事業(まんのう町立 長炭小学校)	香川	まんのう町立長炭小学校	香川	1,000	22
28SC-27	学校教育環境向上のための緑化事業(まんのう町立 満濃南小学校)	香川	まんのう町立満濃南小学校	香川	1,000	23
28SC-28	和木町協働の森づくり事業	山口	和木町里山研究会	山口	180	23
28SC-29	さいたまの森林づくり支援事業	埼玉	(特非)埼玉森林サポータークラブ	埼玉	1,000	24
28SC-30	奈良県吉野山の森づくり事業	奈良	(公財)奈良県緑化推進協会	奈良	484	24
28SC-31	木曾川・やおつ水源の森づくり活動	岐阜	やおつ水源の森づくり実行委員会	岐阜	1,000	25
28SC-32	地域と製紙会社、自治体との協働、地域就業を 創出するモデル事例化づくり	鹿児島	持続可能な環境共生林業を実現する 自伐型林業推進協会	東京	2,000	25
28SC-33	多摩動物公園 豊かな里山の森づくり	東京	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	380	26
28東震SC-01	浦安絆の森整備事業	千葉	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	1,500	26
28東震SC-02	旭復興事業2016	千葉	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	800	27
28東震SC-03	山武市制施行10周年復興植樹祭	千葉	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	1,200	27
28東震SC-04	3.11復活の森づくり ～千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業	千葉	(特非)森のライフスタイル研究所	長野	1,800	28

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
28東震SC-05	「岩沼潮除須賀松の森」植樹事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	4,884	28
28東震SC-06	松川浦海岸防災林(相馬市大洲国有林)植樹事業	福島	(特非)D055	東京	362	29
28S-01	森と街を繋ぐ森の循環プロジェクト	北海道	(公社)北海道森と緑の会	北海道	1,780	29
28S-02	札幌市澄川環境林に於ける 外来種ニセアカシア侵入地域の復興事業	北海道	北海道森林ボランティア協会	北海道	850	30
28S-03	ふらの森と人づくり事業	北海道	(特非)C・C・C富良野自然塾	北海道	1,390	30
28S-04	活樹祭 in 新郷村	青森	三八みらいの森づくり協議会	青森	160	31
28S-05	森林の整備(森の回復事業)	宮城	森のなかま	宮城	220	31
28S-06	里山整備事業と子どもの里山体験活動	茨城	(特非)こが里山を守る会	茨城	440	32
28S-07	茨城県民の森「スギ採種園の跡地」及び 他フィールドの森林整備活動	茨城	いばらき森林クラブ	茨城	440	32
28S-08	地域の子供たちを森へ誘う事業	埼玉	(特非)NPO埼玉ネット	埼玉	1,620	33
28S-09	東日本大震災復興支援緑化木苗育苗	千葉、宮城	東日本大震災復興緑化支援 100万本植樹活動	千葉	2,030	33
28S-10	「玉原高原ブナ林の復元を目指した ボランティアによる森林整備」事業	群馬	(特非)玉原高原の自然を守り育てる会	東京	670	34
28S-11	長野県北信地域森林整備活動	長野	(特非)国際ボランティア学生協会	東京	2,060	34
28S-12	アースデイいのちの森	東京ほか	いのちの森	東京	900	35
28S-13	広葉樹林帯における「自伐型林業」の森林整備と 新たな流通開拓プロジェクト	全国	(特非)持続可能な環境共生林業を実現する 自伐型林業推進協会	東京	1,990	35
28S-14	森林ボランティアの森林再生活動 (植栽・下刈・間伐など)による健全な森づくり事業	千葉	(公財)Save Earth Foundation	東京	1,130	36
28S-15	住居周りの緑の環境改善および森の緑の再生 (災害に強い)事業	東京	サンシティ管理組合	東京	400	36
28S-16	富士山休養林の森林整備	静岡	富士緑化応援隊	神奈川	690	37
28S-17	里山保全ボランティアの若手現場リーダー育成研修	神奈川	(特非)よこはま里山研究所	神奈川	550	37
28S-18	水源林の保全・整備と森林の多目的利用の推進	神奈川	(特非)かながわ森林インストラクターの会	神奈川	330	38
28S-19	山からの間伐材を活用した町の公園整備	栃木、東京、 群馬	森林を楽しむ会	神奈川	370	38
28S-20	南高尾風景林の整備活動と森林体験スクール事業	東京	高尾グリーン倶楽部	神奈川	580	39
28S-21	森林公園生物多様性復元事業	石川	(特非)世界の砂漠を緑で包む会	石川	480	39
28S-22	京都とかわだを結ぶ未来への森づくりプロジェクト	福井	越の郷地球環境会議	福井	1,300	40
28S-23	昆虫の住める森づくり	山梨	(特非)自然とオオムラサキに親しむ会	山梨	1,520	40
28S-24	森林イノベーション～住民参加の自伐林業で ヤマ(森林)から地域を復活させる。	長野	林業研究グループ 大岡森林塾	長野	1,160	41
28S-25	沼津市千本浜クロマツ林を主体とした樹勢調査及び 樹勢回復	静岡	静岡県立田方農業高等学校造景部	静岡	930	41
28S-26	水源地支援間伐作業	愛知	とよはしきこり隊	愛知	480	42
28S-27	森林整備による地域貢献プロジェクト	静岡、愛知	親林会	愛知	350	42
28S-28	森の健康診断全国出前事業	全国	森の健康診断出前隊	愛知	1,300	43
28S-29	緑の森公園づくりと齋王竹利道里山整備保全	三重	(特非)うへの郷クラブ	三重	630	43
28S-30	森林施業・林業生産等の体験と森林整備	京都	府民の森ひよし森林倶楽部	京都	590	44
28S-31	下ノ加江川水系の森里川海のつながり再生 プロジェクト	高知	(特非)いきいきみはら会	高知	2,460	44
28S-32	里山保全振興活動	熊本	(特非)いろね	熊本	1,200	45
28災S-01	金華山の倒木・流木整備事業	宮城	(一社)ブッシュ・クローバ・コミュニティ	宮城	600	45
28災S-02	三宅島復興森林づくり交流事業	東京	(特非)地球緑化センター	東京	1,360	46
28災S-03	緑の遺産「胎内」災害に強い森づくり	新潟	四季を愛する会	新潟	2,900	46
28災S-04	国民参加による災害強い森づくり事業	新潟	(特非)里山クリーン新潟	新潟	1,370	47

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
28災S-05	山村と都市住民の交流・協働による海岸防災林やスキー場跡地等の森林整備事業	千葉、長野	(特非) 森のライフスタイル研究所	長野	2,290	47
28災S-06	「銀林の恵み森活プロジェクト」で山林災害を無くそう！事業	島根	銀林の恵み森活プロジェクト実行委員会	島根	1,330	48
28災S-07	みやぎ山元地区海岸防災林再生活動	宮城	(特非) 生命と環境保全	宮城	640	48
28災S-08	宮城県名取市「海岸林再生プロジェクト10か年計画」	宮城	(公財) オイスカ	東京	1,810	49
28災S-09	上下流連携による継続可能な循環型森づくり事業	群馬	やまづくりくらぶ	東京	560	49
28災S-10	山村住民と中京圏・都市住民との協働による森林ボランティア活動	岐阜	森林・山村を守る中京圏都市住民の会	愛知	1,570	50
28災S-11	徳島県那賀町木沢 森林整備事業	徳島	(特非) 鳥雲の森沙漠植林ボランティア協会	徳島	570	50
28災S-12	永続的な森林整備で豊かな森と災害に強い森を目指す収入を得る森業	高知	(特非) 土佐の森・救援隊	高知	2,000	51

## 【緑化の推進】

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
28RC-01	獅子吼 森のふれあい音楽会	石川	「つたえよう 美しき森」推進委員会	石川	1,500	54
28RC-02	エコキャンプ2016	岡山	エコキャンプ2016実行委員会	岡山	1,300	54
28RC-03	日豪環境ボランティアプログラム2017 in松代ー森林保全で蘇る、里山の暮らしー	新潟	(特非)十日町地域おこし実行委員会	新潟	2,000	55
28RC-04	げんきの森づくりと森の学習活動	北海道	(特非) 森林遊びサポートセンター	北海道	351	55
28RC-05	みんなでつくる・未来へつなげる森と水辺の里山づくり事業	北海道	(特非) 登別自然活動支援組織 モモンガくらぶ	北海道	472	56
28RC-06	新たな市民協働の森づくり	北海道	帯広の森を育む会	北海道	577	56
28RC-07	こどもからお年寄りまで元気になる森づくり事業	北海道	羽幌みんなでつくる自然空間協議会	北海道	400	57
28RC-08	地域の暮らしに根づいた「フォークロアの森づくり」の推進	新潟、千葉、愛知、福岡	(認特) 共存の森ネットワーク	東京	2,500	57
28東震RC-01	震災地域における学校教育環境向上のための緑化事業（壬生町立壬生北小学校学校林）	栃木	(公社)とちぎ環境・みどり推進機構	栃木	1,000	58
28東震RC-02	震災地域における学校教育環境の向上のための緑化事業等（松島町立松島第五小学校）	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	910	58
28東震RC-03	震災地域の学校教育環境向上のための緑化事業（白子町立白濁小学校）	千葉	白子町みどりの少年団育成協議会	千葉	758	59
28東震RC-04	震災地域における学校教育環境向上のための緑化事業（南相馬市立大甕小学校）	福島	(公社)福島県森林・林業・緑化協会	福島	1,200	59
28東震RC-05	東日本大震災・被災地に緑と心の復興を！Project-D	岩手、宮城、福島	(公財)日本環境協会	東京	1,450	60
28東震RC-06	「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業（米川地区）	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	2,328	60
28東震RC-07	第五次緑と木を通じた子供たちのふれあい事業	青森	(公社)青森県緑化推進委員会	青森	900	61
28東震RC-08	震災地域における学校教育環境の向上のための緑化事業等（陸前高田市米崎小学校）	岩手	(公社)岩手県緑化推進委員会	岩手	1,000	61
28熊震RC-01	間伐材等の組立て什器（組手什）を用いた熊本地震復興支援事業	熊本	(特非)ふるさと創生	熊本	1,800	62
28熊震RC-02	緑の絆づくりプロジェクト	熊本	熊本県樹芸農業協同組合	熊本	1,792	62
28熊震RC-03	間伐材等の組立て什器（組手什）を用いた熊本地震復興支援事業	熊本	九州森林インストラクター会	熊本	700	63
28熊震RC-04	熊本地震復興支援事業（学校等緑化推進）	熊本	(公社)熊本県緑化推進委員会	熊本	2,480	63
28熊震RC-05	熊本地震復興支援事業（学校等木製品提供）	熊本	(公社)熊本県緑化推進委員会	熊本	6,060	64
28熊震RC-06	熊本地震復興支援事業（仮設住宅団地等緑化推進）	熊本	(公社)熊本県緑化推進委員会	熊本	2,380	64

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
28熊震RC-07	熊本地震復興支援事業（仮設団地等木製品提供）	熊本	(公社)熊本県緑化推進委員会	熊本	1,030	65
28熊震RC-08	木育拠点を通じた森づくりによる 共存共生の復興モデルづくり	熊本	板倉の家ちいざいおうちプロジェクト	熊本	655	65
28熊震RC-09	熊本地震被災地支援 「仮設住宅×緑のカーテン」プロジェクト	熊本	(特非)緑のカーテン応援団	東京	2,350	66
28熊震RC-10	熊本市等応急仮設住宅及び みんなの家グリーンカーテン設置事業	熊本	(特非)くまもと温暖化対策センター	熊本	2,547	66
28熊震RC-11	益城町等応急仮設住宅及び みんなの家グリーンカーテン設置事業	熊本	(特非)くまもと温暖化対策センター	熊本	2,569	67
28R-01	森と緑と湖のマチ、 そらの森づくりプロジェクト事業	北海道	釧路湿原・阿寒・摩周 シーニックバイウェイ運営代表者会議	北海道	720	67
28R-02	八幡山桜（はな）の森整備事業 「新・深緑の森」整備事業	山形	手ノ子地区協議会	山形	2,190	68
28R-04	宇宙から見える森づくりの一步	福島	(一財)ワンアース	茨城	1,100	68
28R-05	どんぐりの木植樹会	茨城	(特非)森の自然学校助川山保全くらぶ	茨城	320	69
28R-06	渡良瀬川源流の荒地緑化事業	栃木	(特非)足尾に緑を育てる会	栃木	750	69
28R-07	沖縄県国頭村“やんばるやんわり”プロジェクト	沖縄	(公財)オイスカ	東京	1,520	70
28R-08	25年後を見据えた 青少年森林ボランティア養成活動	東京	(特非)花咲き村	東京	410	70
28R-09	次世代につなぐ里山づくり	福井	(特非)里豊夢わかさ	福井	400	71
28R-10	日本百名山 荒島岳カドハラ桜坂建設	福井	荒島愛山会	福井	800	71
28R-11	コミュニティ・フォレスト活動及び 富士山麓の自然現地調査実施	静岡	(特非)土に還る木森づくりの会	静岡	820	72
28R-12	猿投山北西山麓斜面の環境林整備	愛知	猿投の森づくりの会	愛知	860	72
28R-13	豊かな自然の復元を願って	兵庫	(一社)ブナを植える会	兵庫	450	73
28R-14	国民の祝日「山の日」記念植樹祭	広島	(特非)ひろしま人と樹の会	広島	1,190	73
28R-15	「永遠（とわ）の森」づくり	奈良	(特非)森づくり奈良クラブ	奈良	670	74
28R-16	香川県満濃池森林公園「みんなの森」整備事業	香川	香川県造園事業協同組合	香川	1,800	74
28災R-01	住民参加による災害被害林の森林再生事業	北海道	公園の森・里山の会	北海道	1,560	75
28災R-02	苗木2016本プロジェクトforいわき	福島	Motto	栃木	1,890	75
28災R-03	平成28年度斐伊川流域荒廃林等再生整備 住民交流会	島根	斐伊川流域林業活性化センター	島根	1,060	76
28災R-04	三宅島復興支援緑化再生プロジェクト	東京	日本山岳会「高尾の森づくりの会」	東京	490	76
28災R-05	A-WASS循環と共生の森づくりinときがわ	埼玉	木と建築で創造する共生社会実践研究会 (A-WASS)	東京	860	77
28災R-07	グリーンベイOSAKA	大阪	(特非)グリーンベイOSAKA	大阪	1,880	77
28災R-08	蘇る熊野の森・大日山プロジェクト2016（5番区）	和歌山	NPO三つの森	和歌山	1,290	78
28災R-09	「地球に緑を 桜島を緑に」どんぐり照葉樹の 森づくり第16回桜島どんぐりころころ植樹祭	鹿児島	桜島どんぐりころころ植樹祭実行委員会	鹿児島	1,380	78
28災R-10	大浦干拓防風林保全事業	鹿児島	(特非)森と木の研究所	鹿児島	740	79
28ふR-01	「百年かけて百年前の自然の浜を」 お魚殖やす植樹運動促進事業	北海道	北海道漁業協同組合連合会	北海道	500	79
28ふR-02	小鳥のさえずりが聞こえる河畔林づくり事業	北海道	河川愛護団体リバーネット21ながぬま	北海道	500	80
28ふR-03	サケの上る森づくり記念植樹祭事業	北海道	サケの上る森づくり実行委員会	北海道	300	80
28ふR-04	下田公園湿性花園間伐事業	青森	おいらせ町緑化推進委員会	青森	500	81
28ふR-05	「下関のエゾエノキ」樹勢回復事業	岩手	青笹町6区自治会	岩手	460	81
28ふR-06	希望と期待と試練のみどり道整備事業	宮城	みやぎ里山整備クラブ	宮城	460	82
28ふR-07	気仙沼波路上地区の緑化による生活環境改善事業	宮城	(特非)海への森をつくろう会	宮城	530	82
28ふR-08	西長野古米沢の森林再生事業	秋田	(株)花葉館・植栽グループ	秋田	500	83

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
28ふR-09	癒しの森づくり	山形	(特非)斜平山保全活用連絡協議会	山形	500	83
28ふR-10	健康の森ブナ林整備事業	山形	小国町観光協会	山形	1,000	84
28ふR-11	川内ふるさと触れあいの森づくり	福島	川内村商工会	福島	550	84
28ふR-12	外大野しだれ桜樹勢回復と周辺森林整備事業	茨城	外大野しだれ桜を守る会	茨城	820	85
28ふR-13	佐久の大スギ樹勢回復と周辺環境整備事業	茨城	佐久の大スギ保存会	茨城	750	85
28ふR-14	百年生美林散策と関東ツツジ山復活を目指す事業	栃木	城山を守る会	栃木	850	86
28ふR-15	ふるさとの桜山救助活動	群馬	群馬県樹木診断協会	群馬	730	86
28ふR-16	睦沢町ひと・もり・さと再生事業	千葉	妙楽寺林業振興会	千葉	500	87
28ふR-17	桜の弘法山、森林再生事業	神奈川	市民による森林づくり実行委員会	神奈川	500	87
28ふR-18	六国見山森林公園の里山再生プロジェクト	神奈川	北鎌倉湧水ネットワーク	神奈川	500	88
28ふR-19	慈光寺のスギ並木樹勢回復事業	新潟	慈光寺スギ並木を守る会	新潟	1,000	88
28ふR-20	阿賀町中ノ沢地区天然スギ巨木の森整備事業	新潟	(特非)お山の森の木の学校	新潟	1,000	89
28ふR-21	カタクリと動物たちの森づくり	福井	矢環境緑化実行委員会	福井	1,000	89
28ふR-22	越前おおの・九頭竜花桃回廊	福井	越前おおの・九頭竜花桃回廊実行委員会	福井	500	90
28ふR-23	岩窪のヤツブサウメ樹勢回復事業	山梨	甲府市岩窪自治会	山梨	650	90
28ふR-24	小那比地域環境保全活動	岐阜	小那比自治会	岐阜	500	91
28ふR-25	彦谷の里 里山保存継承事業	岐阜	自治会二本木区	岐阜	750	91
28ふR-26	学校のシンボル「メタセコイヤ」の樹勢回復	愛知	愛知県知立市立知立中学校PTA	愛知	500	92
28ふR-27	小面積皆伐による里山再生モデル事業	三重	四日市自然保護推進委員会	三重	380	92
28ふR-28	正法寺のフジ樹勢回復事業	滋賀	日野町緑化推進委員会	滋賀	1,000	93
28ふR-29	地域とともに育む鎮守の森	大阪	美具久留御魂神社しめなわ会	大阪	500	93
28ふR-30	ふるさとの森林再生事業	兵庫	新野里山を守る会	兵庫	500	94
28ふR-31	境港市竹内西緑地マツ林復元・整備事業	鳥取	竹内マツ植樹隊	鳥取	700	94
28ふR-32	国指定天然記念物「玉若酢命神社の八百スギ」再生事業	島根	隠岐の島町下西区(自治会)	島根	1,000	95
28ふR-33	緑の景観事業による里山再生	山口	「鹿野の風」プロジェクト	山口	500	95
28ふR-34	「国指定名勝 毛利氏庭園」サクラ保全保護活動	山口	(特非)山口県樹木医会	山口	1,000	96
28ふR-35	みんなの高森山 花咲かそうプロジェクト	高知	高森山花咲か爺さんの会	高知	500	96
28ふR-36	岡垣町(一丁溜池周辺地区)の放置竹林伐採・植樹プロジェクト事業	福岡	岡垣緑のまちづくりの会	福岡	1,000	97
28ふR-37	大園地区 椋の木保存整備事業	熊本	水俣市五区自治会	熊本	910	97
28ふR-39	一本松ふれあいの森林(もり)づくり	宮崎	かどがわ一本松来楽部	宮崎	500	98
28ふR-40	高座神社の杜再生事業	鹿児島	清水地区毛梨野自治会	鹿児島	440	98

## 【国際協力】

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
28KC-01	地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業	マリ	(特非)サヘルの森	東京	1,500	100
28KC-02	日本-ラオス友好の森展示林造成事業	ラオス	日本山岳会「高尾の森づくりの会」	東京	3,200	100
28KC-03	カンボジア国クラチェ州における生物多様性の保全を目指した植林事業	カンボジア	(特非)環境修復保全機構	東京	2,400	101
28KC-04	平成28年度 緑の国際ボランティア研修(カンボジア国)	カンボジア	(特非)環境修復保全機構	東京	3,000	101
28KC-05	地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業	中国	(特非)地球緑化センター	東京	1,600	102
28KC-07	インドネシア 森林と水保全のための学校地域連携プロジェクト	インドネシア	(公財)オイスカ	東京	2,000	102

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
28KC-08	ロシア極東・ハバロフスク地域における地球温暖化防止のための寒帯林保全及び荒廃造林事業	ロシア	(特非)むさしの・多摩・ハバロフスク協会	東京	3,000	103
28KC-09	モンゴル森林火災被災地再生事業	モンゴル	(特非)GNC Japan	東京	1,000	103
28K-01	モンゴルにおける北方型生活環境保全林の造成事業	モンゴル	蒼いウランバートル技術支援実行委員会	北海道	1,870	104
28K-02	泰安県日中友好経済型生態造林プロジェクト	中国	(公社)秋田県林業育成協会	秋田	1,200	104
28K-03	苗木生産・供給をベースとした住民主体のコミュニティー完結型緑化事業(継続)	エチオピア	(特非)フー太郎の森基金	福島	1,930	105
28K-04	小学校周辺の防風、防寒を目的とした植林事業	エクアドル	(特非)エクアドルの子どものための友人の会	埼玉	520	105
28K-05	インドネシア北マルク州南モロタイ県ダルバ郡におけるボンガミアの植林事業	インドネシア	(特非)アジア植林友好協会	東京	1,020	106
28K-06	セレゲレン苗木生産センターにおける育苗及び砂漠化防止のための植林普及事業	モンゴル	(特非)エコアライアンス21	東京	810	106
28K-07	パレスチナ自治区ナブルス県における耕作放棄地へのオリーブの植樹事業	パレスチナ	(特非)バルシク	東京	1,390	107
28K-08	ジャカルタ湾岸マングローブ林再生プロジェクト	インドネシア	(公社)日本環境教育フォーラム	東京	1,140	107
28K-09	カンボジア国モンドルキリ州の里山再生を目指した緑化推進事業	カンボジア	(特非)環境修復保全機構	東京	1,270	108
28K-10	モンゴル・ウランバートル市学校緑化モデル事業	モンゴル	(一社)国際善隣協会	東京	1,070	108
28K-11	カンボジア世界遺産プレアピヒア周辺地区での植林活動	カンボジア	アジアの誇りプレアピヒア日本協会	東京	900	109
28K-12	マダガスカル、アンジアマングラナ監視森林とその周辺地域での植林	マダガスカル	日本アイアイ・ファンド	東京	1,130	109
28K-13	タイ北部チェンライ県森林再生プロジェクト	タイ	(公財)オイスカ	東京	1,800	110
28K-14	第2期モンゴル国セレンゲ県における人材育成を伴う村民参加型生態混交林再生事業	モンゴル	(一社)地球緑化クラブ	東京	1,070	110
28K-15	ガーナ植林・日本式炭焼普及プロジェクト	ガーナ	(特非)ガーナ農林工芸振興協会	東京	500	111
28K-16	インドネシア・東スンバ県における環境保全および住民の所得向上のための植林事業	インドネシア	(特非)地球の友と歩む会	東京	960	111
28K-17	バングラデシュ国モヘシュカリ島ドルガタ地区におけるサイクロンシェルター型学校区などでの生態系アプローチに沿った住民参加型植林	バングラデシュ	ラムサールセンター	東京	1,410	112
28K-18	中国内モンゴル自治区錫林郭勒盟正蘭旗鳥日図巡査フィサンダクー沙地地域における沙丘からの流沙防止のための植林	中国	日本沙漠緑化実践協会	東京	1,080	112
28K-19	ヒマラヤ山麓伐採荒地に「笑顔はじける環境を子供たちへ!未来の緑の森づくり」	ネパール	(特非)ヒマラヤ保全協会	東京	1,910	113
28K-20	ブルキナファソ国コングシ郡におけるバム湖周辺地での生活改善のための植林プロジェクト	ブルキナファソ	(特非)緑のサヘル	東京	760	113
28K-21	ネパール・カブレランチョク郡バネバ市における住民参加型の植林活動を通じた都市緑化	ネパール	(特非)ラブグリーンジャパン	神奈川	780	114
28K-22	インドネシア 中央カリマンタンの森林火災で消失した森林を再生するための植樹事業	インドネシア	F.C Manis マニスファンクラブ	神奈川	1,200	114
28K-23	モンゴル国DRHADYN盆地ツァガンノール村の植林と中央戈壁県の森林公園造成支援	モンゴル	(特非)モンゴル環境情報センター	福井	1,210	115
28K-24	岐阜県と江西省との友好を未来へつなぐ森林づくり事業	中国	岐阜日中協会	岐阜	1,040	115
28K-25	タジキスタン国における森林および草地生態系保全のための植林	タジキスタン	(特非)中央アジア森林草地保全研究所	静岡	1,250	116
28K-26	フィリピン西ネグロス州における少数民族の組織化と水源の森再生活動(第3年次)	フィリピン	(特非)イカオ・アコ	愛知	1,080	116
28K-27	マダガスカル北部の山岳地帯の土砂流失防止のための植林による整備事業	マダガスカル	(特非)アイユーゴ	大阪	1,110	117

交付決定 番 号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	掲載頁
28K-28	ブラジル国パラ州トメアス郡におけるアグロフォレストリーを活用した水源涵養植林事業	ブラジル	(特非)野生生物を調査研究する会	兵庫	1,590	117
28K-29	世界遺産の棚田を守るための植林事業「NIWAKAT PUNTANUMAN (小規模多地域植林法)」～2年目は観光客と一緒に木を植え続けるために～	フィリピン	(特非)NEKKO	兵庫	1,300	118
28K-30	ケニア半乾燥地の世帯を対象にしたMelia Volkensii (現地名：ムカウ) 普及による緑化推進事業	ケニア	(特非)アフリカ児童教育基金の会ACEF	奈良	1,370	118
28K-31	タイ北部山岳地域 ホイドウア村の森林再生と農村開発	タイ	(特非)シャンティ山口	山口	1,170	119
28K-32	徳島烏雲の森植林事業	中国	(特非)烏雲の森沙漠植林ボランティア協会	徳島	1,510	119
28K-33	ミャンマー連邦共和国シャン州(南部) シャン地域におけるアグロフォレストリーモデル化事業	ミャンマー	(認特)地球市民の会	佐賀	1,410	120
28K-34	タンザニア国モロゴロ州キロサ県における村落林業	タンザニア	(特非)地球緑化の会	熊本	1,240	未掲載

(注1) 本表は、緑の募金法第14条に基づき森林整備等のために交付した交付先等である。

(注2) 交付額は、交付先への交付決定額である。

区 分	最終交付件数	交付額(千円)
森林整備	83	90,616
緑化推進	90	93,439
国際協力	42	58,700
直接・公募計	215	242,755



## 「緑の募金」事業報告集 ー平成 29 年度版ー

---

発行所 公益社団法人 国土緑化推進機構  
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4  
砂防会館別館  
TEL 03-3262-8457 FAX 03-3264-3974  
URL <http://www.green.or.jp>  
E-mail [bokin@green.or.jp](mailto:bokin@green.or.jp)

---

編 集 一般社団法人 全国林業改良普及協会